

令和7年度

事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

北九州市社会福祉協議会

目 次

令和7年度事業報告

事業の総括	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
事業報告	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
基本目標Ⅰ 福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう ～見守りのしくみの充実～		
<目標達成のための取組>		
1 福祉の心を広げよう	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 福祉を学び、福祉の仲間を育もう	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3 見守る力を高めよう	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4 困りごとを受け止める場をつくろう	・・・・・・・・・・・・・・・・	6
基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～		
<目標達成のための取組>		
1 困りごとを話し合う場をつくろう	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2 住民、関係機関・団体でつながろう	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3 困りごとを解決するしくみをつくろう	・・・・・・・・・・・・・・・・	10
4 未来に向けた活動を考えよう(調査・研究・提言)	・・・・・・・・	10
基本目標Ⅲ 一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～		
<目標達成のための取組>		
1 生活の困りごとを助け合おう	・・・・・・・・・・・・・・・・	12
2 ボランティア・市民活動をすすめよう	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
3 安心な暮らしを守ろう(権利擁護)	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
4 社会参加・自立をすすめよう	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
5 災害時に備えよう	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
6 活動のための財源をつくろう	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
常設委員会及び組織体制の強化	・・・・・・・・・・・・・・・・	21

令和 7 年度 事業報告【資料編】

【総務企画部】

法人運営事業	2 2
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	2 5
子どもの居場所づくり応援基金事業	2 6
ウェルとばた運営事業	2 7
ウェルとばた管理事業	3 0

【地域福祉部】

住民福祉活動による地域づくり事業	3 1
重層的支援体制整備事業	3 7
生活支援体制整備事業	3 8
地域生活支援活動推進事業	4 1
民間社会福祉事業従事者共済事業	4 3
各施設協議会等との連携	4 4

【生活支援部】

民生委員互助共励事業	4 6
生活福祉資金貸付事業	4 7
生活困窮者自立相談支援事業	4 9
潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業	5 2
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	5 3
認知症サポーターキャラバン事業	5 4
高齢者見守りサポーター派遣事業	5 6
高齢者地域交流支援通所事業	5 8
介護サービス相談員派遣事業	6 2
権利擁護・市民後見センター事業	6 5
終活相談事業	7 3

【ボランティア・市民活動センター】

ボランティア振興事業	7 5
ボランティア育成・啓発事業	8 2
介護支援ボランティア事業	8 5
ボランティア・市民活動者の研修・養成事業	8 7

【北九州シニアネットワークアカデミー】

年長者研修大学校等運営事業	9 0
高齢者の健康づくり事業	9 9

【区事務所】

門司区事務所運営事業	1 0 0
小倉北区事務所運営事業	1 0 2
小倉南区事務所運営事業	1 0 4
若松区事務所運営事業	1 0 8
八幡東区事務所運営事業	1 1 1
八幡西区事務所運営事業	1 1 5
戸畑区事務所運営事業	1 1 8

【常設委員会】

1 2 1

事業の総括

令和 7 年度は、本会の活動指針となる北九州市地域福祉活動計画第六次計画の最終年度にあたり、地域活動者をはじめ、関係機関・団体及び行政などで構成された総合企画委員会において協議を重ね、これから 5 年後の本市のふくしのまちづくりを見据えた新たな第 7 次計画を策定しました。

昭和 40 年に地域福祉推進の中核組織として発足した本会は、今年度で創設 60 周年の節目の年を迎えたため、各部署において様々な記念事業に取り組みました。

なかでも、北九州市社会福祉大会の記念式典では、60 周年のあゆみとして作成した記念動画を上映したほか、北九州市出身の俳優 光石 研氏によるトークショーを開催し 60 周年にふさわしい記念すべき大会となりました。

基幹事業である「ふれあいネットワーク活動」も 31 年目の新たなスタートを切り、時代に合った活動の一層の充実に向けて 7 区社協及び 155 の校(地)区社協の連携により、子どもから高齢者、障害者を支援するための様々な活動が進められました。

課題となっている次世代活動者育成と社協活動への関心を高める取り組みでは、急速に進む I T 化や D X 推進に併せて、SNS による情報発信を積極的に行ったほか、2 年目を迎えた「ふくしの出前授業」が多くの学校等で受け入れられ、子どもたちの「共に生きる力」を育むことができました。

8 月の豪雨では、市内各地で災害が発生し、若松区、八幡東区、八幡西区において災害ボランティアの皆さんの力を借りて、被災された方の生活の場の復旧を支援しました。

また、誰もが安心して自分らしい最期を迎えるための終活を支援する取り組みでは、ウエルとばた内に新たに「終活あんしんセンター」を開設し、終活相談支援事業の充実を図りました。

年長者研修大学校及びウエルとばたの指定管理事業においては、今期管理運営の初年度にあたり、提案した新規事業を計画的に進めるための取り組みに着手しました。

時代や働き方の変化が著しい昨今、職員の確保や組織体制の強化が重要です。

そのため、具体的な戦略を持った経営の実現を目指すために昨年、策定した「中期経営計画」と、第 7 次計画とを活動指針の両輪として、引き続き「地域共生社会」の実現に向けた地域福祉の一層の推進に努めてまいります。

令和7年度 事業報告

基本目標 I

福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう
～見守りのしくみの充実～

◆基本項目1 福祉の心を広げよう

(1) 北九州市社会福祉大会の開催 【全部署】

永年にわたり社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表し、社会福祉に関する課題の解決に向けた決意を新たにするため毎年開催しています。

創設60周年を迎えた今年度は、記念事業の一環として、本会の発展に尽力された歴代会長への特別感謝状の贈呈及び記念動画の上映並びに地元出身の俳優 光石 研 氏をゲストとしてお招きした記念トークショーを実施しました。

- ① 北九州市社会福祉協議会会長表彰 記念式典及び北九州市社会福祉協議会創設60周年 記念式典
(令和7年10月18日、ウエルとばた 大ホール、参加者584人)
- ② 北九州市社会福祉協議会 創設60周年 記念動画の上映
「一地域福祉活動の要―北九州市社会福祉協議会60年のあゆみ」
- ③ 北九州市社会福祉協議会 創設60周年 記念トークショー
テーマ：『一人ひとりが地域の主役～「できること・やりたいこと」が地域を創る～』
ゲスト：俳優 光石 研 氏

(2) 広報紙やSNSを活用した情報発信 【全部署】

広く市民に福祉情報を届けるため、「北九州市社協だより」及び「区社協だより」を発行しました。

また、公式LINEやインスタグラム等を活用し随時、情報発信を行いました。

- ① 「北九州市社協だより」公式LINEにて月2回配信(延べ24回)
- ② 「区社協だより」(各区2～4回、延べ14回発行)
- ③ ホームページによる情報発信(適宜)

(3) 北九州ゆめみらいワーク2025への参加 【全部署】

若手職員が中心となってゲームを通じて本会のPRをするためのブースを設置し、2日間で延べ703人の中高生などの訪問がありました。

(4) ボランティア啓発事業の開催 【活動推進課】

<資料編：P83～84 参照>

地域共生社会の実現に向けて、「ボランティアフェスティバル2025」を開催しました。北九州市社会福祉大会やウエルとばた秋まつりと一体的に運営し、誰もがボランティア活動できる社会、誰も排除されない共生文化の創造に向けたつながりづくりを目指し、日頃から取組んでいるボランティア活動の発信を行いました。(令和7年10月18日、ウエルとばた、講座・イベント延べ参加者971人)

(5) ウェルとばたでの福祉情報の発信

【ウェルとばた管理課】

<資料編：P28 参照>

地元の音楽家を迎え、交流プラザで開催するウェルカムコンサートや毎月5日に発行する『ウェル新聞』などにより、音楽イベント及び福祉関連の情報提供を行いました。(ウェルカムコンサート6回・来場者460人、ウェル新聞12回発行)

また、福祉の意識を高め、親しみやすい内容の映画上映会を市民会館中ホールで実施し、今年度はヤングケアラーをテーマにした「猫と私と、もう1人のネコ」を上映するなど、福祉と文化の融合に努めました。(1回、来場者98人)

◆基本項目2 福祉を学び、福祉の仲間を育もう

(1) 地域福祉人材の育成

【地域支援課・活動推進課・区事務所】

<資料編：P87～89 参照>

基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上を目指し、関係機関・団体と連携し、延べ867人に対し研修を実施しました。

また、入門講座と併せて、ボランティア活動体験講座を実施し、スムーズに活動へつなぐ支援を行いました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
開催回数	42	39	39	23	19
延べ開催日数	63	57	59	36	30
延べ参加人員	1,781	1,853	1,956	1,263	867

(2) 関係団体主催の研修企画支援と情報発信、受講者の活動意向に関する調査

【活動推進課】

研修企画のノウハウを活かし、校(地)区社協、区主任児童委員研修会をはじめとした団体へ講師紹介等の支援や、様々な立場でボランティアや市民活動を育成・支援している中間支援組織への情報提供等を行いました。(6件、8回)

また、研修終了後には受講者アンケートの中で、今後の活動意向の有無も調査し、研修目的の達成度合いを測りました。

(3) 出前講演の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P34 参照>

地域住民や地域の関係機関・団体への、本会事業を中心とした福祉に関する理解促進を図るため、様々な福祉分野のテーマをとりあげた出前講演を128回実施し、3,613人が受講しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
出前講演回数	78	105	140	111	128
受講者数	1,923	2,765	4,098	3,532	3,613

(4) ウェルクラブ活動の実施支援

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P32～33 参照>

子どもたち（主に小学4～6年生）が、「ふれあいネットワーク活動」等の小地域福祉活動を体験する取組みを55校(地)区社協と連携して実施し、2,392人の児童が参加し福祉の心を育みました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
取組校(地)区社協数	18	33	44	50	55
参加児童数	788	1,192	1,766	1,887	2,392

(5) 小・中学生向けの福祉教育プログラム実施

【活動推進課・地域支援課・区事務所】

<資料編：P77～79 参照>

施設や企業等と協働し、小・中学校やウェルクラブ活動等の32団体に対して福祉教育プログラムの「ふくしの出前授業」を実施しました。学校と地域がつながる機会をつくとともに、子どもたちの共に生きる力を育て、地域の福祉力を高めました。

年度	R6	R7
ふくしの出前授業実施校(団体)数	31	32
ふくしの出前授業実施メニュー数	52	73

また、車いす体験や高齢者疑似体験などの福祉教育を行い、学校や地域で取組む際の支援を18カ所で実施しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉教育支援実施件数	14	23	18	15	18

(6) 研修受講者とNP0・ボランティア団体とのコーディネート 【活動推進課】

<資料編：P87 参照>

研修受講者が受講後にボランティア活動につながるよう、受講者とNP0・ボランティア団体等とのコーディネートを行いました。(7人、11回)

(7) 認知症サポーター養成講座の実施

【生活福祉課】

<資料編：P54～55 参照>

市民が認知症についての正しい理解と接し方を学び、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらうために認知症を学ぶ講座を基礎編112回(4,301人)、応用編16回(484人)、計128回開催し、延べ4,785人が受講しました。

また、全区において一般市民向け講座を基礎編8回、応用編7回実施し、延べ466人が受講しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
基礎編受講者数	1,776	2,962	4,199	5,833	4,301
累計	97,199	100,161	104,360	110,193	114,494

(8) 「学びと活動のマッチング事業」との協働 【活動推進課】

生涯学習等を受講した後、学んだ成果の活用を希望する人にボランティア・市民活動のコーディネートを行いました。

(9) 中・高校生向けのボランティア体験学習や講座の実施 【活動推進課】

＜資料編：P77～80 参照＞

夏休み期間中に中・高校生を対象とした「保育所での夏ボランティア体験学習」を実施しました。(18施設、31人)

また、新たに北九州市近郊の3つの大学と協働し、高校生に福祉を身近に感じてもらうことを目的とした講座を開催しました。(2回、8人)

(10) 年長者研修大学校の運営による高齢者の社会参加支援 【周望・穴生】

＜資料編：P90～98 参照＞

周望学舎に17コース、穴生学舎に15コースの年間コースを開設し、高齢者の「生きがい・健康・仲間づくり」を進め、両学舎に27,177人が登校しました。

また、研修生が学舎で学んだ成果を地域社会で活かせるよう様々な地域・ボランティア活動の情報と機会を提供しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
延べ周望学舎研修生数	10,807	15,820	14,839	14,040	16,204
延べ穴生学舎研修生数	8,209	12,710	12,653	13,757	10,973
計	19,016	28,530	27,492	27,797	27,177

※R3は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休館。

(11) 穴生ドームの運営 【穴生】

＜資料編：P97～99 参照＞

指定管理者として施設の環境整備に努めるとともに、高齢者をはじめとした市民の施設利用促進のほか、体育指導員による研修生に対する体育授業や、健康増進や生活習慣病予防に資するイベントや大会などの事業を実施し、年間利用者が102,173人を達成しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
年間利用者数	10,436	3,752	25,471	92,234	102,173

◆基本項目3 見守る力を高めよう

(1) ふれあいネットワーク活動における「見守り活動」の支援

【地域支援課・区事務所】

＜資料編：P31～32 参照＞

校(地)区社協の見守り活動の充実に向け、近隣圏域の設定や民生委員・児童委員との連携体制づくりに加え、基本台帳の整備等における個人情報保護の理解の促進を図るなど、校(地)区社協の活動状況に応じた支援を行いました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
福祉協力員数	6,652	6,450	6,328	6,203	5,981
見守り対象世帯	135,812	132,844	133,382	131,547	122,138

(2) 市・区民児協事務局の運営

【自立支援課】

<資料編：P46 参照>

民生委員・児童委員活動を行う上での課題解決や情報共有のための各種役員会の開催を支援するとともに、活動歴に応じた研修会を開催しました。

- 市民児協事務局の運営（会議 31 回、研修会 4 回）
- 民生委員互助共励事業（甲慰金・見舞金等支給 287 件、指定地区民児協事業 2 地区）

(3) 高齢者見守りサポーター派遣事業の実施

【生活福祉課】

<資料編：P56～57 参照>

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、その居宅に「見守りサポーター」を派遣し、利用者に寄り添った見守りや話し相手等を行いました。また、新規サポーターを 5 人養成しました。

- 利用登録者 25 人、延べ利用者 58 人、サポーター 50 人、延べ派遣回数 222 回

◆基本項目 4 困りごとを受け止める場をつくろう

(1) 地域でつながるサロン活動の運営支援 【地域支援課・活動推進課・区事務所】

<資料編：P32, 76～77 参照>

132 の校(地)区社協等が取り組むサロンの新規開設や運営支援のため、社会福祉施設等関係機関・団体と連携し、講師派遣や会場確保などを行いました。

また、「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業」の実施によるサロン運営費の助成金の交付を 485 団体に対して行いました。

- 校(地)区社協実施のサロン

年度	R3	R4	R5	R6	R7
校(地)区社協数	118	122	127	129	132
サロン数	395	430	480	500	537

- 住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

年度	R3	R4	R5	R6	R7
助成団体数	305	369	410	468	485
助成額(円)	7,360,906	8,904,319	10,395,467	9,799,559	9,697,686

(2) 人と人がつながるコーナーづくり、他団体との協働 【ウエルとばた管理課】

<資料編：P27～30 参照>

音楽や植物を通じ、人と人が緩やかにつながるコーナーとして交流プラザを活用したイベントや入居団体の協力により「ウエル花壇」を設置しました。

また、学生（主に中学生・高校生）が自由に集える「若者のたまりば」としての場所を無料で提供するとともに、「ウェルカム地域食堂」の運営支援や「障害者芸術祭」の参画等、他団体との連携、協働を推進しました。

○「ウェル・まちかどピアノ」の実施（全 23 回、延べ 195 人）

○多目的ホールや休憩スペースの提供（全 40 回、延べ 187 人）

（3）子どもの居場所づくり応援基金の運営

【財務企画課・活動推進課】

<資料編：P26 参照>

市内の子ども食堂を支援するために設置した基金を原資として、子ども食堂の開設・運営等に対する助成を、関係機関と連携して実施しました。

また、食材確保や運営協力者についての情報提供による支援を行いました。

○寄付受付（155 件、11,910,459 円）、助成（76 カ所、6,450,603 円）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
寄付受付件数	89	137	115	121	155
寄付金総額	7,050,321	36,388,558	34,851,329	49,030,085	11,910,459

※寄付件数は延べ数（地域限定寄付による重複助成も含む）。寄付件数には、寄付物品も含む。

（4）介護サービス相談員派遣事業の実施

【生活福祉課】

<資料編：P62～64 参照>

介護サービスの質の向上を図ることを目的に、相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービスの疑問や不安、不満等を聞き、相談者に代わり事業所にサービス向上、改善に結びつく提案等を行いました。

○登録 89 事業所のうち 80 事業所に 1,039 回訪問



社会福祉大会 創設 60 周年記念トークショ



福祉教育プログラム「ふくしの出前授業」



ウェルクラブ活動「歳末たすけあい募金」
(門司区社協)



小学生向け認知症サポーター養成講座

基本目標Ⅱ

住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～

◆基本項目1 困りごとを話し合う場をつくろう

(1) ふれあいネットワーク活動における「話し合い活動」の開催・運営支援

【地域支援課・区事務所】

校(地)区社協が実施する連絡調整会議の定例開催に向けた支援や関係機関・団体、専門職等の参加を促進しました。

また、住民の困りごとの共有や解決に向けた協議が行われるよう、校(地)区社協会長会議や研修等の開催を通して連絡調整会議の運営支援を行いました。

○月1回または2ヵ月に1回定期的に連絡調整会議を開催する校(地)区社協

年度	R3	R4	R5	R6	R7
校(地)区社協数	127	131	126	126	123

(2) 生活支援体制整備事業の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P38～40 参照>

各区事務所に地域支援コーディネーターを配置し、各区保健福祉課いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター職員等と連携し、担当校(地)区における活動状況や課題、地域資源の把握・情報共有を行い、小地域福祉活動計画の策定や推進に関する話し合いの場を「第2層協議体」と位置づけ、運営支援及び支援状況の可視化を図りました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
地域会議などへの参加回数	1,794	2,534	3,053	2,876	2,541
協議体への運営支援回数	294	436	359	423	296

◆基本項目2 住民、関係機関・団体でつながろう

(1) 「地域における公益的な取組」の推進

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P44 参照>

各種別社会福祉施設協議会に対し、公益的な取組の必要性を働きかけ、取組事例を SNS 等で広く市民へ発信を行いました。

○校(地)区社協と社会福祉施設の連携した取組

年度	R3	R4	R5	R6	R7
校(地)区社協数	31	37	43	44	46
社会福祉施設数	37	42	48	47	49

新 (2) 第65回大都市社会福祉施設協議会(北九州市大会)の開催【地域支援課】

<資料編：P44～45 参照>

市内の各種別社会福祉施設協議会の代表者や実務者が集まる会議を開催し、種別を超えた社会福祉施設間の連携体制づくりを進めるとともに、大都市社会福祉施設協議会の実行委員会として位置づけ、開催に向けて協議しました。

また、当日は、大都市の社会福祉施設関係者や行政、社会福祉協議会が一堂に会し、社会福祉施設としてのあり方について情報交換及び交流を行いました。

○社会福祉施設協議会連絡会(大都市社会福祉施設協議会実行委員会 3回)

○大都市社会福祉施設協議会開催(令和7年7月3日、参加者254人)

(3) 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 【地域支援課】

<資料編：P43 参照>

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、脱退一時金の支給等の共済事業と、給付事業やスポーツ観戦、優待食事券等の福利厚生事業を実施しました。

また、申請事務の効率化を図るために電子申請システムを導入し、手続の迅速化と業務の効率化を実現しました。(共済加入207団体、4,820人)

(4) 北九州市社会福祉法人地域協議会の運営 【地域支援課】

「地域公益事業」を実施するための「社会福祉充実計画」を策定した社会福祉法人はなかったため、地域住民その他関係者から地域における福祉ニーズの意見聴取を行うとともに、地域福祉課題の共有とその解決に向けた協議を行いました。

(5) 地域生活課題解決に向けたソーシャルワーク研修の開催 【地域支援課】

<資料編：P37 参照>

ソーシャルワークの基本的な考え方の理解を深め、事例を通じて個別支援から地域づくりの展開について学ぶとともに、「地域福祉」における「地域」や「地域住民」とは何かを考える研修を実施しました。(1回、33人)

また、研修後の参加者の連携状況や実践状況の調査を実施しました。

(6) 校(地)区社協プラットフォーム強化学業の実施 【地域支援課・区事務所】

地域での活動を希望するNPO法人について、NPO法人を掌握する中間支援組織から情報収集し、防災体制づくりの推進や地域食堂開設を図るため3校(地)区社協と連携した取組をモデル的に実施しました。

また、取組を行った校(地)区社協とNPO法人、中間支援組織が一堂に会した報告会を行い25人が参加しました。

(7) 市・区域でのボランティア・市民活動ネットワークの構築

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P75・83～84 参照>

区ボランティア連絡協議会の支援や各区のボランティアから選出された委員によって企画・運営を行う「ボランティアフェスティバル」の開催などを通じ、市・区域で活動するボランティアグループや市民活動団体同士をつなぎ、活動の活性化を図りました。

(8) 企業・事業所の社会貢献活動のPRと促進

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P82～83 参照>

社会貢献活動をしたい企業・事業所からの相談を受け、市内の様々な活動に
つなげるとともに、「北九州市社協だより」やボランティアフェスティバルで、
企業等の社会貢献活動をPRしました。

◆基本項目3 困りごとを解決するしくみをつくろう

重 (1) 小地域福祉活動計画の策定・推進支援

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P32～34 参照>

地域住民が地域の様々な福祉課題を見つけて解決していくため、校(地)区社協
に小地域福祉活動計画の策定を呼び掛け、新規策定や計画推進の支援を行い、約
93%となる144校(地)区で計画書が整備されました。

○小地域福祉活動計画を策定済の校(地)区社協数

年度	R3	R4	R5	R6	R7
校(地)区社協数	59	95	123	137	144

新 (2) コミュニティソーシャルワーカーの配置

【地域支援課・区事務所】

各区事務所の主任・主事をコミュニティソーシャルワーカー(以下、CSWという)と
位置づけ、住民に身近な支援者として包括的な支援に取組み、相談・支援体制の強化
を進めました。(7区、14人)

◆基本項目4 未来に向けた活動を考えよう(調査・研究・提言)

(1) 総合企画委員会の開催

【地域支援課】

<資料編：P121 参照>

「北九州市地域福祉活動第六次計画」(令和3年度～7年度)の最終年次にあ
たり、次期計画への円滑な移行を見据えた進捗状況の点検・評価を行いました。

また、新たな方針となる「北九州市地域福祉活動第7次計画」(令和8年度～
12年度)の策定について協議を重ねました。

(2) 地域福祉計画と連携した地域福祉活動第7次計画の策定

【全部署】

総合企画委員会での協議を中心に、関係機関・団体や地域住民からの意見聴
取を行い、「北九州市地域福祉活動第7次計画」(令和8年度～12年
度)の策定を行いました。

(3) ボランティア・市民活動実態調査

【活動推進課】

ボランティアグループがボランティア活動保険加入時に記入するボランティア
グループ調査票を基に、市内のグループの情報を管理するシステム「きたきゅう

プチボラねっと」を新たに立ち上げました。(グループ数 629 団体)

(4)「希望のまちプロジェクト」への参画

【地域支援課】

認定 NPO 法人「抱樸」が取り組む地域共生社会の拠点施設開設に向けた「希望のまちプロジェクト」に参画し、各種団体との連携、協働による取組に向けた協議を行いました。



小地域福祉活動計画策定の様子
(生活支援体制整備事業)



小地域福祉活動計画書 (冊子版)



第 65 回大都市社会福祉施設協議会
(北九州市大会)



ボランティアフェスティバル 2025



校(地)区社協プラットフォーム強化事業
(LINE のオープンチャットを使った
認知症捜索模擬訓練)

基本目標Ⅲ

一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～

◆基本項目1 生活の困りごとを助け合おう

(1) ふれあいネットワーク活動における「助け合い活動」の支援

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P32 参照>

校(地)区社協が行っている日常簡易な助け合い活動のしくみづくり等の支援を行うとともに、福祉協力員やニーズ対応員の人材育成・確保に努めました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
ニーズ対応員数	7,144	6,874	6,614	6,369	6,489
助け合い活動件数	614,417	655,875	701,956	739,641	708,299

(2) 地域生活支援活動推進事業の実施

【地域支援課・区事務所】

<資料編：P41～42 参照>

生活支援ニーズと生活支援活動の需給調整や校(地)区社協活動の充実支援を行う地域生活支援相談員を配置し、地域生活課題に対応しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
相談員配置校(地)区数	11	15	15	14	14
相談受付件数	867	1,222	1,415	1,477	1,401
生活支援活動とのマッチング件数	1,102	1,634	2,056	2,596	2,644

(3) シルバーひまわりサービス（送迎）の実施

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P82 参照>

外出が困難な65歳以上の方を対象に、ボランティアが福祉車両を使用して通院等の外出を支援する送迎サービスを4,642回実施しました。

また、連合福岡北九州地域協議会等と協力し、現役世代のボランティア参加者の拡充に努めました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
年間活動件数	2,532	4,241	4,610	4,628	4,642
ボランティア登録者数	878	901	939	962	981
利用登録者数	626	747	790	821	673

(4) 腕自慢おまかせサービスの実施

【活動推進課・区事務所】

<資料編：P83 参照>

家具の移動や簡単な大工仕事等の生活の中での小さな困りごとの解決をボランティアがお手伝いする腕自慢おまかせサービスを32件実施しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
実施件数	25	62	42	29	32

◆基本項目2 ボランティア・市民活動をすすめよう

(1) 現役世代のボランティア活動者の拡大 【活動推進課・区事務所】

企業や事業所に向けてボランティア活動へのニーズを周知し、現役世代の活動者によるシルバーひまわりサービスや腕自慢おまかせサービスのボランティア活動に171件つながりました。

- シルバーひまわりサービス（連合福岡・北九州地域協議会）167件
- 腕自慢おまかせサービス（日本製鉄系長連合会）4件

(2) 全世代参加のボランティア活動の推進 【活動推進課・区事務所】

<資料編：P75 参照>

年齢や障害の有無等でボランティア活動への参加が制限されることなく、誰もがボランティア活動を通じて、地域や社会に参加することができるようコーディネートを実施しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
ボランティア相談・コーディネート件数	25,089	36,705	35,986	37,890	34,653

(3) ボランティア・市民活動ネットワークの構築と担い手養成 【活動推進課】

<資料編：P88 参照>

ボランティア連絡協議会の運営支援や研修を通してボランティアグループや市民活動団体同士をつなぎ、運営手法の共有やニーズへの対応について支援しました。

また、「ボランティア・NPO等団体つながり・勉強会」では、団体に共通した課題である“広報”をテーマにとりあげ、受講者の学び合いと受講者の所属する団体の広報の実施につながるアクションプランの作成を支援しました。

- ボランティア・NPO等団体運営研修（1回、1日、15人）
- ボランティア・NPO等団体つながり・勉強会（1回、3日、28人）
- まちづくりゼミナール『空き家の活用でまちを元気に!』（1回、3日、63人）

☑ (4) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成 【活動推進課】

<資料編：P87 参照>

テーマ別ボランティア活動の入門講座及び体験講座（子ども食堂、障害の各分野）を実施し、講座から活動への流れをスムーズに行い、受講後のアンケートでは、今後の活動意欲を高められた方が121人おられました。

- 市民講演会『インターネットに潜む危険と大人たちにできること ～子どもや若者を被害者や加害者にさせないために～』（1回、1日、42人）
- 子どもを支援するためのボランティア入門講座（1回、1日、39人）
- 子ども食堂ボランティア活動体験講座（1回、2日、18人）
- 障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座『私にもできる！見えづらさや、聞こえづらさのある人へのボランティア講座』（1回、1日、20人）

- 障害のある人へのボランティア活動体験講座（1回、2日、16人）
- 災害ボランティア養成講座〔八幡東区、八幡西区〕（2回、2日、72人）

（5）地域活動情報支援センターの運営 【周望・穴生】

＜資料編：P96～97 参照＞

穴生学舎内に併設されている地域活動情報支援センターを中心に、両学舎の研修生や修了生をはじめ市民等へのボランティアコーディネートを行い様々な活動の場を提供しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
周望学舎コーディネート件数	60	31	25	20	24
穴生学舎コーディネート件数	85	79	55	77	27
計	145	110	80	97	51

◆基本項目3 安心な暮らしを守ろう（権利擁護）

重（1）地域福祉権利擁護事業の実施 【権利擁護課】

＜資料編：P65～68 参照＞

判断能力が不十分なために、自身では福祉サービスの利用契約や日常的な金銭管理等を適切に行うことが難しい人が、地域で安心して暮らせるように、本人の意思に基づいて支援しました。

年度（3/31時点）	R3	R4	R5	R6	R7
新規契約者数	35	43	47	53	50
契約者実数	284	267	257	276	277

（2）法人後見事業の実施 【権利擁護課】

＜資料編：P68～70 参照＞

本会が家庭裁判所から成年後見人等に選任され、判断能力が不十分なために契約や財産の管理等をすることが難しい人の権利や財産を守り、尊厳をもってその人らしく生活が送れるよう支援しました。

年度（3/31時点）	R3	R4	R5	R6	R7
新規受任件数	4	5	2	3	5
受任件数	41	39	38	36	39

（3）地域福祉権利擁護事業と成年後見制度との連携 【権利擁護課】

＜資料編：P65・68 参照＞

地域福祉権利擁護事業の利用者が後見制度の利用が必要になった場合に、専門職団体や北九州成年後見センター、家庭裁判所と連携し、利用申立てや成年後見人等の選任が円滑に進むよう支援しました。

- 北九州成年後見センター理事会（12回）
- 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（6回）
- 北九州市成年後見支援センター受任調整会議（12回）

- 北九州市成年後見支援センター地域連携ネットワーク会議への参加（12回）
- 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（3回）

（4）権利擁護関係機関、専門職との支援のネットワークづくり【権利擁護課】

＜資料編：P65・68 参照＞

地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議に参加したり、権利擁護関係機関の会議に参画したりするなど、関係機関、専門職との連携を深め、利用者を中心とした見守りのネットワークをつくりました。

（5）権利擁護の担い手（支援員）の確保・育成【権利擁護課】

＜資料編：P65・69 参照＞

支援員研修会を開催し、支援員の確保・育成に取り組みました。

- 専門員・支援員合同研修会の開催（2回、69人）

（6）市民後見人の養成・活動支援【権利擁護課】

＜資料編：P70～72 参照＞

各種研修を開催し、市民後見人が意思決定支援について学び、実践に反映できるようにサポートするとともに、本会等の関係団体と市民後見人との複数受任という新たな形式で市民後見人が選任されるしくみづくりを構築し、関係機関と連携した市民後見人等の活動範囲の拡充や、安心して活動するためのバックアップ体制の充実を図りました。

- 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業基礎研修（全5日間、7人）

- 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業フォローアップ研修（1回、1日、42人）

- 市民後見人支援事業の実施

- ・本会が後見監督人として市民後見人を支援（1件）
- ・本会が複数受任者に選任された案件について市民後見人を支援（2件）
- ・複数受任を経て単独受任となった案件について市民後見人を支援（1件）
- ・保佐業務が終了した市民後見人の支援（1件）

☐（7）権利擁護セミナーの市域での開催【権利擁護課】

＜資料編：P65・68 参照＞

地域福祉権利擁護事業と成年後見制度についての理解を深め、その一体的な展開に向けて関係者がどう連携すべきかを学ぶために、権利擁護セミナーを一般社団法人北九州成年後見センターと協働で開催しました。

- 権利擁護セミナーの開催（1回、参加者29人〔行政12人、事業所17人〕）

☐（8）終活相談事業の実施【権利擁護課】

＜資料編：P73～74 参照＞

令和7年11月5日、終活（相続、供養、住まい等）に関する相談に対応する

総合相談窓口として、終活あんしんセンターを開設しました。相談内容に応じ、公的機関や民間事業者が提供するサービスなど、地域の社会資源を組み合わせ、包括的なマネジメント及び各種支援・契約の履行状況の確認等を行いました。

また、相談対応や出前講演に活用するためのオリジナルエンディングノートと終活関連情報を掲載したサポートブックを作成しました。

- 終活相談の実施（173組 206人）
- 終活あんしんセンター（R7.10.10～R8.3.31 開設/問合せ件数 905件、来場者数 415人）
- 終活あんしんセンターチラシ作成（20,000枚）
- 終活あんしんサポート登録事業者数（19社）
- 「最期まで自分らしく 私のこれからノート」の改訂（20,900部）
- 「私のこれからノート ～サポートブック～」の作成（10,000部）
- 「井筒屋健活・悠活・終活フェア」への参画（終活相談ブースでの対応者数2日間83人）
- 終活出前講演「エンディングノートの書き方講座」（51回、1,255人）
- 終活フェア（市と共催）の実施（来場者数 200人）
- 「鎌田式！健康塾（市主催）」への参画（終活相談対応者数 18人）

新（9）死後事務委任契約事業に向けた体制整備 【権利擁護課】

＜資料編：P74 参照＞

身寄りや経済的な余裕がない場合でも、誰もが自分らしく生きるための終活に取り組めるよう、法律専門職や信託会社、生命保険会社との協議を行い、事業の実施に向けた体制整備を進めました。

◆基本項目4 社会参加・自立をすすめよう

重（1）重層的支援体制整備事業の実施 【地域支援課・区事務所】

＜資料編：P37 参照＞

区事務所に配置されたCSWを中心に、対象者宅へ訪問して関係性を築き、興味・関心のある活動やイベントへつなげて社会参加を促すなど、伴走型支援事業及び参加支援事業を実施しました。

重（2）生活困窮者自立相談支援事業の実施 【自立支援課】

＜資料編：P49～51 参照＞

各区の「いのちをつなぐネットワークコーナー」に相談員を配置し、経済的に困難を抱える方からの相談を受け、ニーズを把握し、支援計画の策定、関係機関につなげることで、生活状況の改善や自立に向けた支援を実施しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
新規相談受付件数(総数)	5,238	2,587	2,306	2,472	2,549
支援計画(プラン)策定件数(総数)	844	679	848	979	930

- 重** (3) 生活福祉資金貸付事務事業の実施 【自立支援課】
＜資料編：P47～48 参照＞
- 低所得者、障害者または高齢者に対し、その経済的な自立や生活意欲の助長促進等を図るため、資金の貸付と相談支援を実施しました。
- 生活福祉資金貸付（合計）申請件数 148 件、貸付額 31,670,000 円
- (4) 生活福祉資金特例貸付フォローアップ業務の実施 【自立支援課】
- 新型コロナウイルス感染拡大下で実施した特例貸付の借受世帯のうち、償還が免除となった世帯を対象に、生活上の困りごとに関するアンケートを実施しました。併せて、希望に応じて電話等による相談支援を行い、借受世帯の課題の把握に努めるとともに、相談内容に応じた各種制度につなげました。
- 担当職員（区事務所職員等）研修（3 回、54 人）
○アンケート発送・回答状況（発送 2,935 件、回答 663 件、回答率 22.6%）
○相談・対応件数（1,895 件、うちアウトリーチ架電 1,205 件）
- (5) 潜在保育士再就職・復帰支援資金貸付事業の実施 【自立支援課】
＜資料編：P52 参照＞
- 保育士の人材確保を図るため、資格を持ちながら、現在保育職についていない方への保育職への就職を支援するため資金を貸付ける事業を実施しました。
- 再就職支援資金（貸付件数 5 件、貸付額 1,819,440 円）
○未就学児をもつ潜在保育士の復帰支援資金（貸付件数 6 件、貸付額 1,615,800 円）
- (6) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業の実施 【自立支援課】
＜資料編：P53 参照＞
- ひとり親家庭の経済的自立を支援するため、資格取得養成機関への入学や資格を生かした職に就く際の準備金を貸付する事業を実施しました。また、貸付対象者に対して、住宅の借り上げに必要となる資金の貸付けを行いました。
- 入学準備金（貸付件数 18 件、貸付額 9,000,000 円）
○就職準備金（貸付件数 11 件、貸付額 2,200,000 円）
○住宅支援資金（貸付件数 21 件、貸付額 12,744,400 円）
- (7) 高齢者地域交流支援通所事業の実施 【生活福祉課】
＜資料編：P58～61 参照＞
- 市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者が、できるだけ長く地域で自立した生活ができるよう、健康や生きがいづくりに役立つプログラムを市内 50 ヲ所の市民センターで実施しました。
- 登録者 611 人、延べ実施日数 4,334 日、延べ利用者 41,640 人
- (8) 介護支援ボランティアの育成と活動支援 【活動推進課・区事務所】
＜資料編：P85～86 参照＞

高齢者自身の健康増進や生きがいづくりを行うとともに、施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的に、65歳以上の市民が介護保険施設で行うボランティア活動を支援し、その活動をポイント化し、寄付または換金しました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
ボランティア登録者数	2,005	1,967	1,909	1,287	1,255
延べ活動回数	3,122	3,941	5,288	5,478	6,431
換金・寄付額	249,200	346,600	564,200	634,400	745,600

(9) 障害者就労支援施設製品等の活用 【財務企画課】

＜資料編：P24～25 参照＞

障害者の就労支援のため、障害者就労支援施設の製品等を事業に活用しました。

(10) 企業からの寄贈品提供による社会参加支援 【財務企画課】

＜資料編：P24 参照＞

社会貢献の一環として企業から寄贈されたスポーツ観戦等への招待チケットや食料品を市内の社会福祉施設利用者に提供し、企業及び施設利用者双方の社会参加や社会とのつながりを支援しました。

(11) ボランティア活動による若者の社会参加支援事業の実施 【活動推進課】

＜資料編：P76 参照＞

社会に踏み出したいと考えている若者に対し、ボランティア活動への参加機会を提供し、自立の一助となるよう取り組みました。

- ① シルバーひまわりサービス同乗ボランティア体験（延べ5人参加）
- ② イベント補助ボランティア（延べ81人参加）

(12) 障害者や高齢者の芸術文化活動への支援 【ウェルとばた管理課】

＜資料編：P28 参照＞

障害者や高齢者が参加するイベントの運営に参画するとともに、新たに障害者アートの常設展示を始めるなど、芸術文化活動の支援を行いました。

- 「障害者芸術祭」（来場者約1,500人）
- 「80歳からの合唱団北九州2025 第5回コンサート」（来場者約530人）

◆基本項目5 災害時に備えよう

(1) 市社協の防災体制の確立と災害支援活動【総務課・活動推進課・区事務所】

災害が発生した場合でも、継続的・安定的な事業運営が図れるように作成したBCP（事業継続計画）及び災害対策連絡網ならびに部署間の応援体制を確立した防災計画を更新し、職員に周知しました。

令和7年8月豪雨では、本市においても若松区を中心に複数の家屋被害が発生し、災害ボランティア活動を8月20日～11月2日（うち、活動日数19日間）にわたり実施し、延べ289人のボランティア活動者に協力いただきました。

併せて、熊本県八代市(9月18日～9月22日)に職員2人を派遣し、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援活動を行いました。

(2) 戸畑駅前地区防災相互応援協定の推進 【ウェルとばた管理課】
市民会館大ホールでの「避難訓練コンサート」の開催に伴い、協定締結団体へ参加依頼を行うとともに、イオン戸畑店、福岡銀行戸畑支店と協定内容の確認および意見調整を行い、開催当日の参加を得て、好意的な評価を受けました。

(3) 災害時避難訓練の実施 【ウェルとばた管理課】
第1回目は、火災発生時の適切な行動を学習するための避難訓練と、消火栓等の消火設備の説明を行い、実際に水消火器による消防訓練を実施しました。
第2回目は、市民会館大ホールで戸畑消防署、北九州市消防音楽隊の協力のもと、「避難訓練コンサート」を実施し、入居団体、協定締結団体、戸畑警察署駅前交番、一般市民を含めた130人の参加を得て、車椅子利用者の避難支援も取り入れるなど、実効性のある訓練を行いました。
○ウェルとばた避難訓練(2回、①38人、②130人)

(4) 社会福祉法人等との協働による校(地)区社協の「福祉救援体制づくり」の推進 【地域支援課・区事務所】
ふれあいネットワーク活動を基盤とし、自治会等地縁組織や社会福祉施設等と連携した地域での福祉救援体制づくりを支援しました。

重 (5) 災害ボランティア活動の環境整備 【活動推進課・区事務所】
<資料編：P80～81 参照>

災害発生時の地域の受援力を高めるために、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施するとともに、災害時相互協力協定締結団体との連絡会議等を実施し、災害ボランティア活動の環境整備に取り組みました。

- 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施(83人、クレカ若松)
- 災害時相互協力協定締結団体連絡会議(1回、10人、オンライン)
- 災害ボランティア用公式LINEを活用した情報発信の仕組みづくり(登録者344人)
- 関係機関・団体、大学等と連携した被災者支援活動の推進
・九州国際大学での災害ボランティア活動PR(登録者1人)
- 災害支援に関する職員研修(内部研修)の実施(36人)

年度	R3	R4	R5	R6	R7
災害ボランティア登録者数	325	341	392	429	494

(6) 災害ボランティア養成講座の実施 【活動推進課・区事務所】
<資料編：P87 参照>

広く市民を対象として地域での災害ボランティアとして活動できる人材を養成していくことを目的として実施しました。

- 災害ボランティア養成講座[八幡東区、八幡西区](2回、2日、72人)

◆基本項目6 活動のための財源をつくろう

(1) 寄付金の呼びかけや収益事業の拡充・検討 【総務課・財務企画課】

地域福祉活動の財源を確保するため、市民や企業、団体等へ広く寄付や賛助会員への加入を呼びかけました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
賛助会費	9,557,250	9,553,000	9,506,000	9,207,000	8,631,000
加入件数	2,699	2,668	2,606	2,775	2,494
寄付金	8,666,798	8,150,875	10,198,001	156,510,628	18,398,647
寄付件数	192	175	215	198	203

※区事務所の賛助会費・寄付を含む。子どもの居場所づくり応援基金を除く。

※寄付金には、寄付物品の現金相当額を含む。寄付件数には、寄付物品も含む。

(2) 共同募金活動の広報啓発 【財務企画課】

ふれあいネットワーク活動をはじめとした、地域福祉活動にとって重要な財源である共同募金について、広報紙への記事掲載やパネル展を実施する等の広報啓発を行いました。

年度	R3	R4	R5	R6	R7
共同募金配分金	47,408,480	50,876,545	51,135,417	48,448,727	45,228,538



終活相談事業

「終活あんしんセンター」開設



避難訓練コンサート

(戸畑市民会館大ホール)



災害ボランティア活動 (若松区)



年長者研修大学校穴生学舎研修生による
地域ボランティア活動

常設委員会

本会業務の円滑な運営を図るため、常設委員会にて協議を行いました。

- 1 表彰審査委員会（総務課）
- 2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（財務企画課）
- 3 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（地域支援課）
- 4 総合企画委員会（地域支援課）
- 5 権利擁護・市民後見センター運用委員会（権利擁護課）
- 6 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（周望・穴生）
- 7 各区社会福祉協議会運営委員会（区事務所）

組織体制の強化

地域福祉活動第六次計画及び本事業計画に沿って事業を効果的に推進するため、令和 6 年度に策定した中期経営計画に基づき、組織体制の一層の強化に努めました。

- 1 中期経営計画の推進（全部署）
- 2 賛助会員の加入促進（全部署）
- 3 研修等を通じた職員の人材育成（総務課）
- 4 自主財源確保のための収益事業の実施（財務企画課・各区事務所）

令和7年度 事業報告

【資料編】

◇法人運営事業

令和7年度は、ICTを活用して会議・研修等を集合とオンラインの併用で実施するとともに、社会福祉法をはじめとする関係法令に基づいた適正な会務運営に取り組みました。

また、財政面においては、限られた財源を有効に活用するため、中期経営計画に基づき、適正な人員配置やDXの推進等を進め、運営基盤の強化に努めました。

1 役員会

(1) 理事会開催

回	実施日	出席者数/定数	議題
第291回	R7.4.1	16/17	1 常務理事の選定について 2 評議員選任候補者の推薦について
第292回	R7.6.5	16/17	1 令和6年度事業報告について 2 令和6年度収支決算について 3 評議員等の報酬及び費用弁済に関する規程の一部改正について 4 評議員選任候補者の推薦について 5 第226回評議員会の開催について
第293回	R7.6.23	16/17	1 会長の選定について 2 副会長の選定について 3 常務理事の選定について
第294回	R7.10.31	16/17	1 職員の育児休業等の規定の一部改正について 2 嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部改正について 3 嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 4 職員の再任用に関する規程の一部改正について 5 評議員選任・解任委員会委員の選任について 6 評議員選任候補者の推薦及び決議の省略の方法による評議員選任・解任委員会の開催について 7 第227回評議員会の開催について
第295回	R7.12.26	17/17	1 職員就業規則の一部改正について 2 嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部改正について 3 懲戒委員会規程の制定について 4 評議員選任候補者の推薦及び決議の省略の方法による評議員選任・解任委員会の開催について
第296回	R8.3.5	16/17	1 事務局処務規程の一部改正について 2 職員就業規則の一部改正について 3 嘱託職員及び臨時職員就業規則の一部改正について 4 職員給与規程の一部改正について 5 嘱託職員等の報酬等に関する規程の一部改正について 6 経理規程の一部改正について 7 評議員選任候補者の推薦について 8 役員等のために締結される補償に関する保険契約内容について 9 令和8年度事業計画について 10 令和8年度収支予算について 11 北九州市地域福祉活動第7次計画について 12 第228回評議員会の招集について

(2) 評議員会開催

回	実施日	出席数	議題
第226回	R7. 6. 23	23/31	1 令和6年度事業報告について 2 令和6年度収支決算について 3 評議員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 4 理事の選任について 5 監事の選任について
第227回	R7. 12. 17	28/31	1 理事の補充選任について
第228回	R8. 3. 27	26/31	1 令和8年度事業計画について 2 令和8年度収支予算について 3 北九州市地域福祉活動第7次計画について 4 理事の補充選任について 5 監事の補充選任について

※292回、293回、296回理事会及び226回、228回評議員会は、参集とオンライン会議の併用で開催

(3) 監事監査

実施日	実施監事名	内容
R7. 5. 20	木村 聡 近藤 栄之進 田中 直子	令和6年度理事の職務執行状況 (事業報告及び計算関係書類等の検討)

2 賛助会員加入状況 (市社協分)

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
R3	209	3,540,000	123	363,000	332	3,903,000
R4	202	3,490,000	171	441,000	373	3,931,000
R5	192	3,310,000	156	358,000	348	3,668,000
R6	179	2,890,000	154	330,000	333	3,220,000
R7	177	2,860,000	138	300,000	315	3,160,000

※区事務所の賛助会員は各区事務所に記載

3 寄付金等の状況 (市社協分)

年度	篤志寄付件数	篤志寄付金額	香典返し寄付件数	香典返し寄付金額	寄付物品
R3	21	2,688,289	3	140,000	不織布マスク、災害ボランティア活動用機材、アルコール消毒液、車いす、自転車用リフレクター
R4	28	3,789,291	5	350,000	高齢者福祉体験セット、おもり付きベスト、備蓄用非常食、タオル、子ども用文房具
R5	35	3,135,391	1	200,000	デジタルサイネージ
R6	44	149,258,656	1	30,000	車いす、老眼鏡、遠隔操作ロボットQ-time
R7	46	4,844,907	1	30,000	ポータブル電源、クーラーボックス

※寄付金には、寄付物品の現金相当額を含む。寄付件数には、寄付物品も含む。

4 広報紙の公式LINE配信

広報紙名	配信回数
北九州市社協だより	毎月1日、15日の2回(延べ24回)

5 企業等からの寄贈品の提供（市社協分）

項目	提供企業	提供先	提供数
プロ野球公式戦メセナシート	メセナシート協賛企業	福祉関係団体	1,463席
スポーツ公式戦招待券	グリーンシッピング(株)	北九州市母子寡婦福祉会	50席
マグカップ	鮪イノベーション(株)	社協イベント、子ども食堂など	2,800個
子ども用おもちゃ	光和精鋳(株) 有志一同	市内の乳児院	37個
マスク	(株)サンモト	子ども食堂など	1,500枚
クリスマスケーキ	DM三井製糖(株)九州営業部	児童関係施設	50個
本 (生き残る術シリーズ)	絆マンGA	都道府県・指定都市社協 福岡県内市町村社協	366冊

※提供数は延べ数

6 助成金の情報提供 43件

7 収益事業

(1) 駐車場管理

年度	売上額	契約カ所数	延べ契約台数
R3	1,851,621	2	354
R4	1,882,516	2	358
R5	1,995,068	2	349
R6	1,975,040	2	376
R7	2,007,233	2	382

(2) 市社協封筒への広告掲載

年度	広告料収入	掲載件数
R6	131,890	4
R7	131,890	4

(3) 「まちづくりクッキー」の販売

年度	手数料収入	売上数量（箱）
R3	1,900	19
R4	8,000	80
R5	38,400	384
R6	9,000	90
R7	9,400	94

(4) 自動販売機

年度	手数料収入	設置台数
R3	2,640,365	24
R4	2,698,850	24
R5	2,887,933	20
R6	3,242,903	17
R7	3,011,503	16

8 障害者就労支援施設への支援

障害者の就労支援のため、支援施設の製品やクリーニング業務委託を活用しました。

年度	項目	金額
R6	クリーニング (2件)、社会福祉大会記念品 (カレンダー500部)、ボールペン200本、まちづくりクッキー (90箱)、お弁当	465,150
R7	クリーニング (1件)、社会福祉大会記念品 (ターナー1,040個、ハンカチ400枚)、まちづくりクッキー (94箱)、ゆめみらいワーク景品 (クッキー700個)	1,382,000

9 豪雨災害等に関する支援活動

(1) 義援金の募集・受付

災害名称	募集期間	受付場所 (募金箱)	義援金額
①令和6年能登半島地震災害義援金	R6.1.5~R8.3.31	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	244,185
②令和6年能登豪雨災害義援金	R6.9.26~R8.3.31	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	22,510
③大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金	R7.3.6~R7.6.30	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	50,592
④トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金	R7.7.15~R7.12.26	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	6,035
⑤令和7年8月豪雨義援金 (熊本県)	R7.8.13~R8.3.31	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	12,497
⑥令和7年8月大雨災害義援金	R7.8.13~R8.3.31	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	3,781
⑦令和7年大分市佐賀関大規模災害義援金	R7.11.21~R8.3.31	ウエルとばた 周望学舎・穴生学舎	11,145

※令和8年3月末現在、金額は令和7年度募金分

10 購入債券

年度	債券銘柄	額面(千円)	利率	償還日
R4	第2回北九州市サステナビリティボンド(5年)公募公債	50,000	0.145	R9.10.28
	第49回利付国債(30年)	100,000	1.4	R27.12.20
R5	第3回北九州市サステナビリティボンド(10年)公募公債	50,000	0.747	R15.9.22
	第49回利付国債(30年)	160,000	1.4	R27.12.20
R6	—	—	—	—
R7	—	—	—	—

2,019千円 (23,713千円)

◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付を予定していましたが、新規申込みはありませんでした。

【令和7年度末貸付件数及び貸付残高】

1施設 1,200,000円

◇子どもの居場所づくり応援基金事業

子ども食堂を支援するために設置した基金について、広く市民・企業等から寄付を募り、関係機関と連携して市内の子ども食堂の開設・運営支援のための助成事業を実施しました。

助成金及び寄付物品については、子ども食堂ネットワーク北九州を通じて、市内の子ども食堂へ配分しました。

【寄付の状況】

年度	寄付件数	寄付金（総額）	寄付物品
R3	89件	7,050,321	食品、タオル
R4	137件	36,388,558	食品
R5	115件	34,851,329	食品
R6	121件	49,030,085	食品、タオル
R7	155件	11,910,459	なし

【助成の状況】

年度	助成目的	助成件数	助成金額
R3	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 28カ所	2,850,000
R4	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 34カ所	31,250,000
R5	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 51カ所	34,027,629
R6	子ども食堂運営支援	子ども食堂等 58カ所	5,800,550
R7	子ども食堂運営支援	子ども食堂 76カ所	6,450,603



◇ウェルとばた運営事業

民間の福祉活動の拠点「福社会館」と市民の芸術・文化活動の拠点「市民会館」の一体的な管理・運営のもと、各活動への協力・支援を行うことで、相互に利用目的を超えた価値の提供を図り、「福祉と文化の融合」に努めました。

1 貸館事業

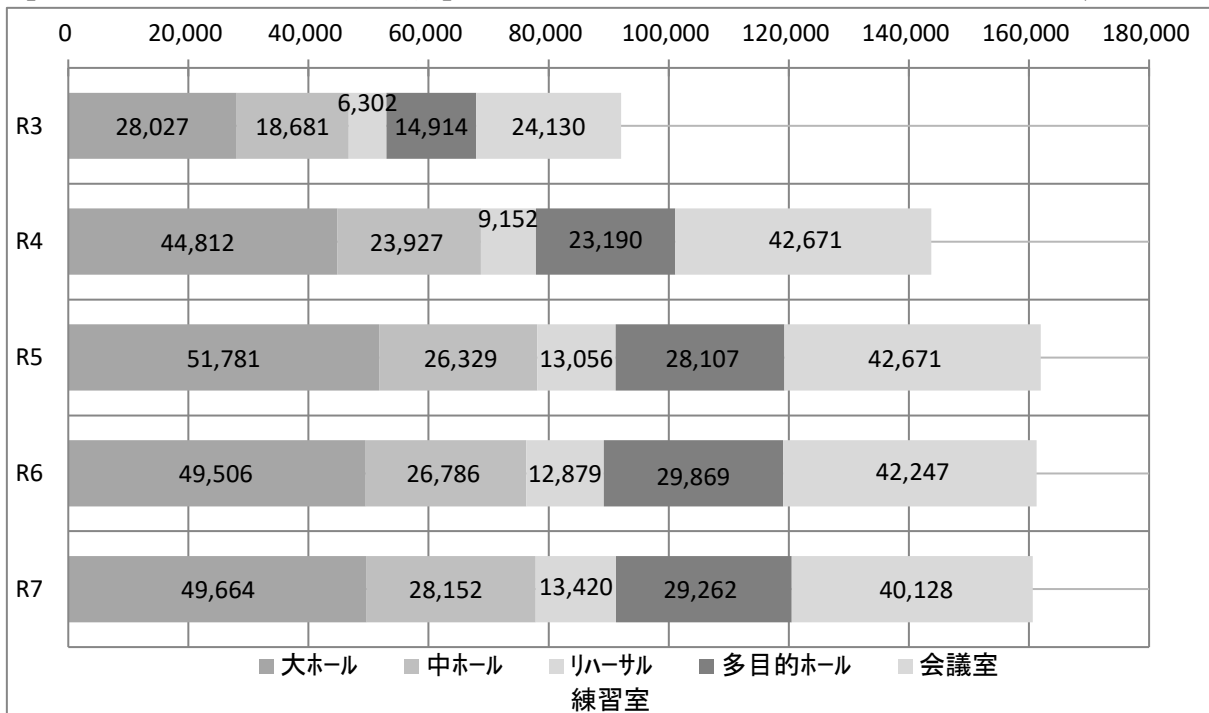
【会議室等利用状況】

(単位：人)

年度	貸館利用者数					計
	大ホール	中ホール	リハーサル・練習室	多目的ホール	会議室	
R3	28,027	18,681	6,302	14,914	24,130	92,054
R4	44,812	23,927	9,152	23,190	38,533	139,614
R5	51,781	26,329	13,056	28,107	42,671	161,944
R6	49,506	26,786	12,879	29,869	42,247	161,287
R7	49,664	28,152	13,420	29,262	40,128	160,626

【ウェルとばた利用者数の推移】

(単位：人)



2 にぎわい創出事業

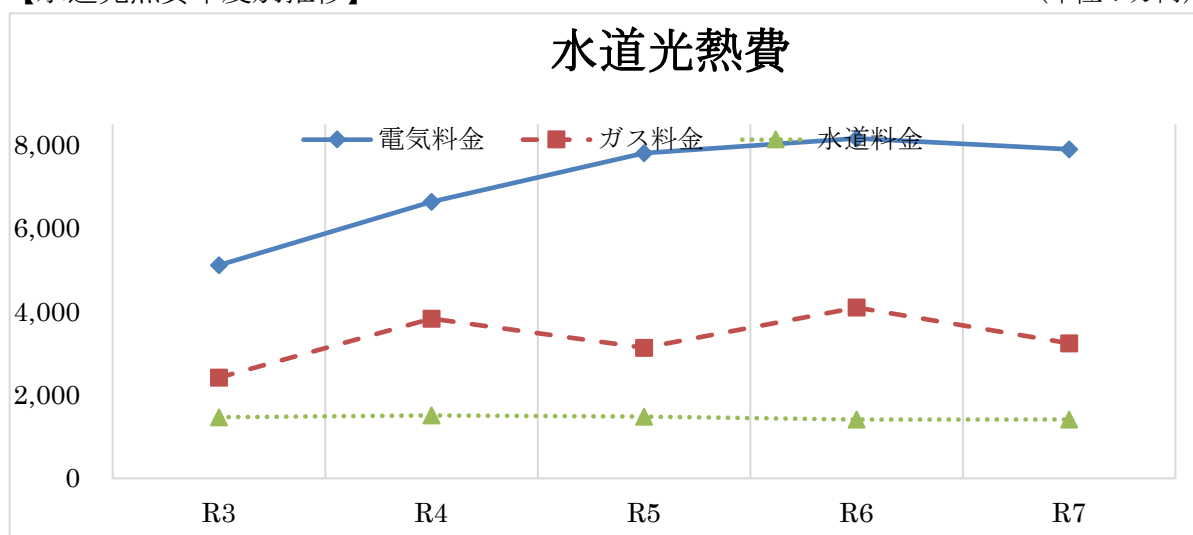
行事名	実施日	人員	内容
映画上映会	R7. 5. 24	98	「福祉を考えるきっかけづくり」に焦点を当て、福祉文化の発信と豊かな土壌づくりを目的として、市民会館中ホールで開催。上映作品「猫と私と、もう1人のネコ」
初夏の芸能まつり	R7. 6. 22	243	市内で芸術文化活動を行っている個人または団体の練習成果を発表する場として、市民会館大ホールで開催。
七夕飾り	R7. 6. 24 ～7. 14	-	交流プラザのにぎわいづくりとして企画。ボランティアから寄付された七夕飾りを職員で飾りつけた後、多くの来館者にも短冊に願いを書いて笹に結わえてもらい、賑やかな笹飾りが完成した。
ステージでベーゼンドルファーを弾いてみませんか	R7. 7. 21 R8. 1. 12	27	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないベーゼンドルファーを弾いて楽しんでもらう事業。 市民会館大ホールで開催。
ステージでスタインウェイを弾いてみませんか	R7. 8. 17 R8. 2. 14	50	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないスタインウェイを弾いて楽しんでもらう事業。 市民会館中ホールで開催。
80歳からの合唱団北九州2024 第4回コンサート	R7. 9. 15	530	月1回、多目的ホールを利用して練習を行っている80歳以上の方で構成される合唱団の成果発表を市民会館大ホールで開催。
ウェルとばた秋まつり	R7. 10. 18	1, 040	地域の活性化を図ることを目的として、近隣の商店や福祉施設と連携を図り、交流プラザを活用した行事を開催した。 また、市社会福祉大会及びボランティアウィークと一体となって開催し、相乗効果を図った。
くきのうみ花火の祭典観賞会	R7. 10. 25	434	6階屋上緑化部分等を有料で開放。 また、昨年度から子どもまんなかアクションとして取り組んでいる未就学児の入場料無料化と優先入場、キッズエリアの設置を本年度も実施した。
クリスマス飾りの展示	R7. 12. 5 ～12. 26	-	サンタクロース等の飾り物を正面玄関のそばに展示し、来館者に師走の季節を感じてもらった。
クリスマスミニコンサート	R7. 12. 13	70	わくわーく竹楽団（竹チェロ）を迎え、クリスマスにふさわしい曲を披露した。
新春歌まつり	R8. 1. 18	445	区内で活動するカラオケ団体の練習成果を発表する場として、市民会館大ホールで開催。
ウェルカムコンサート	奇数月 第2木曜日	延 460	昼の時間帯に、交流プラザ特設ステージにて、市内で活躍する音楽家に依頼し、様々なジャンルの演奏会を開催した。 また、本年度は、コンサート会場に併設して、子ども・若者応援センター「YELL」の利用者による、とれたて新鮮野菜等の物品販売を実施した。 (5/8、7/10、9/11、11/13、1/8、3/12開催)
ウェル・まちかどピアノ	全23回	延 195	月2回、グランドピアノを市民に開放し、来館者に自由に演奏してもらった。

3 水道光熱費削減の取組み

節電、節水の呼びかけや使用量の監視、契約内容の見直しなど、水道光熱費の節減に取り組んでおり、水道料金は、昨年を若干上回りましたが、電気料金・ガス料金については、昨年より削減することができました。

【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7
電気料金	51,200,979	66,397,638	78,149,755	81,654,699	79,047,658
ガス料金	24,208,122	38,349,058	31,398,543	41,030,580	32,448,983
水道料金	14,718,222	15,126,038	14,874,670	14,129,036	14,156,731

4 広報・情報発信状況

北九州市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、毎月5日に発行するウェル新聞やウェルとばた Facebook でも積極的な情報発信を行いました。

- ・ウェル新聞 12回発行

ホームページは、見やすいデザインや分かりやすいコンテンツづくり等に取り組み、施設予約をはじめ、フロアガイド・アクセスの案内等利用者の利便性を高めています。

- ・ユーザー数：84,958人 (昨年度比 8.0%増)
- ・アクセス数：117,407件 (昨年度比 11.3%増)
- ・ページ閲覧数：266,202ページ (昨年度比 1.4%減)

5 安全・安心な施設管理の取組み

市民や入居団体が、安全・安心に館を利用できるよう、建築設備や消防などの各種点検及び調査を実施しました。

- ・特殊建築物定期点検
- ・外壁タイル赤外線調査
- ・窓清掃ゴンドラ設備性能検査
- ・消防設備点検
- ・自衛消防訓練 (火災)
- ・建築設備定期点検
- ・全館停電電気設備年次点検
- ・窓清掃ゴンドラ設備定期点検
- ・防火対象物点検
- ・自衛消防訓練 (総合)

その他、防火・防災及び各設備点検における資格者講習、研修を受講するなどしました。

- ・AED設置台数 5台 (1階、2階、3階、8階、12階)

6 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウェルとばたの来館者へ心とほんでいただけるよう、以下の取組みを実施しました。

- ・2階正面玄関前の国旗掲揚ポールに、鯉のぼりを掲揚（R7.4.7から5.15まで）
- ・2階受付カウンター横2カ所に、四季折々の設えとして雛人形の段飾りを設置（R8.2.20から3.19まで）
- ・2階正面玄関前周辺を整備して、ウェル花壇を設置
- ・戸畑区役所Z世代コラボ企画として、「若者のたまりば」を多目的ホールで実施（中間、期末各試験前に主にホール内を開放、全40回実施、187人が利用）

7 研修受講状況

研修名	受講者数
災害ボランティア職員研修	2人
芸術×福祉 九州ネットワーク会議2025	1人
福岡県文化芸術イノベーションアカデミー	1人
人権・ハラスメント研修	10人
自衛消防隊員教員訓練	1人

45,827千円（45,863千円）

◇ウェルとばた管理事業

開設当初（平成14年10月）から現在まで、一貫してウェルとばたの管理運営事業を担っています。ウェルとばた及び周辺において、設備保守・警備・清掃業務を行うとともに、よりよい環境整備に努めました。

入居団体のうち、行政機関である子ども総合センター、消費生活センター、高齢者就業支援センターについて、設備保守・警備業務及び清掃業務、光熱水費など維持管理費の委託契約に基づいた、適正な運営管理を行いました。

【維持管理費】

（単位：円）

年度	子ども総合センター	消費生活センター	高齢者就業支援センター
R3	25,713,182	4,095,726	2,471,962
R4	31,488,198	3,270,036	2,762,682
R5	30,983,453	3,222,672	2,813,557
R6	33,611,648	3,486,139	3,078,930
R7	35,094,449	3,865,085	3,243,320

◇住民福祉活動による地域づくり事業

1 地域福祉活動第六次計画の推進及び地域活動第7次計画の策定

「北九州市地域福祉活動第六次計画」（令和3年度～令和7年度）の最終年次にあたる令和7年度は、総合企画委員会（年4回開催）において関係機関・団体と、次期計画への円滑な移行を見据えた進捗状況の点検・評価を行いました。

また、次期計画策定に向けて、総合企画委員会を中心に協議を重ねるとともに、パブリックコメントを実施するなど、様々な立場・視点に基づく意見を取り入れ、「北九州市地域福祉活動第7次計画」（令和8年度～12年度）を策定しました。

【北九州市地域福祉活動第六次計画 基本理念・基本目標等】

基本理念	基本目標	基本項目
みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり	基本目標Ⅰ 福祉の風土を広げ、地域の困りごとに気付く力を高めよう ～見守りのしくみの充実～	①福祉の心を広げよう
		②福祉を学び、福祉の仲間を育もう
		③見守る力を高めよう
		④困りごとを受け止める場をつくろう
	基本目標Ⅱ 住民、関係機関・団体のネットワークで、困りごとを話し合おう ～話し合いのしくみの充実～	①困りごとを話し合う場をつくろう
		②住民、関係機関・団体でつながろう
		③困りごとを解決するしくみをつくろう
		④未来に向けた活動を考えよう （調査・研究・提言）
	基本目標Ⅲ 一人ひとりの困りごとを助け合おう ～助け合いのしくみの充実～	①生活の困りごとを助け合おう
		②ボランティア・市民活動をすすめよう
		③安心な暮らしを守ろう（権利擁護）
		④社会参加・自立をすすめよう
		⑤災害時に備えよう
		⑥活動のための財源をつくろう

2 ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動

平成5年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」では、「見守りのしくみ」で福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯に気づき、「話し合いのしくみ」で連絡調整会議の活性化を図るとともに、「助け合いのしくみ」では日常簡易な助け合い活動に取組み、地域生活課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

「地域共生社会実現のための活動」では、地域生活課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画を策定する活動・推進する活動」、地域住民の居場所づくりとして「サロンを新設する活動」、次世代へ地域福祉活動をつないでいくために「ウェルクラブ活動」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動の推進

【各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況】

事業別 区	実施 地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協 力員数	見守り対象世帯		ニーズ対応 チーム人数	対応件数	
			世帯数	内訳		対応数	対応内容内訳
門司	21	731	14,115	・高齢者世帯 (昼間高齢者だ けを含む) 113,423 ・障害のある人 のいる世帯 2,833 ・子育て中の世帯 3,781 ・その他の世帯 2,101	723	38,459	・話し相手 254,529 ・生活情報の提供 299,317 ・困りごとの相談 54,667 ・ゴミ出し 33,018 ・古紙回収 26,998 ・買い物支援 9,479 ・外出時の同行 4,023 ・薬取り 2,278 ・庭の掃除・草木の剪定 4,226 ・洗濯 2,465 ・布団干し・入れ 1,704 ・その他 15,335
小倉北	25	1,025	23,828		1,291	153,928	
小倉南	27	1,148	24,916		579	102,255	
若松	14	493	9,967		416	28,336	
八幡東	21	350	14,138		1,491	102,776	
八幡西	33	1,678	25,239		1,418	235,496	
戸畑	14	556	9,935		571	47,049	
全市	155	5,981	122,138		6,489	708,299	

(2) 地域共生社会実現のための活動

ア 小地域福祉活動計画を策定する活動

項目	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市
一次計画		貴船				香月 則松 八兒 永犬丸 青山 千代		7
二次計画	小森江西 大積 小森江東					竹末若葉		4
計								11

イ サロンを新設する活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市
古城	西小倉 南丘	東谷 山本 城野 長尾	花房 青葉台	枝光第一	折尾東 竹末若葉 大原	東戸畑	
1	2	4	2	1	3	1	14

【サロン活動取組校(地)区社協数の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
取組校(地)区社協数	118	122	127	129	132
サロン数	395	430	480	500	537

ウ ウェルクラブ活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市
大里柳	泉台	東谷	小石赤崎	槻田第二	折尾西	東戸畑	

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市
田野浦 白野江 松ヶ江北	井堀 中井校区北小倉 貴船 清水 富野 中島	貫 葛原 朽網 合馬 山本 徳力 城野 沼 曾根東 長尾 東朽網	修多羅 古前 二島 高須 青葉台	高槻 大蔵第一 大蔵第三 枝光第一 枝光北 中央第一 中央第二	上津役 本城 引野 塔野 筒井 光貞 池田 竹末若葉 永犬丸西 赤坂 星ヶ丘	浅生 牧山 天籟寺 牧山東 一枝	
4	7	12	6	8	12	6	55

【取組校(地)区社協数及び参加児童数の推移】

	R3	R4	R5	R6	R7
取組校(地)区社協数	18	33	44	50	55
参加児童数	788	1,192	1,766	1,887	2,392

エ 小地域福祉活動計画を推進する活動

(単位：校(地)区)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市
西門司 藤松 大里南 大里柳 萩ヶ丘 大里東 小森江西 錦町 丸山 庄司 古城 門司 清見 田野浦 白野江 大積 伊川 松ヶ江北 松ヶ枝南	藍島 足原 泉台 到津 今町 清水 城野 富野 中島 南丘	北方 東谷 貫 曾根 葛原 吉田 朽網 長行 合馬 山本 道原 横代 若園 徳力 企救丘 湯川 城野 沼 守恒 曾根東 霧丘南 志井 田原 長尾 東朽網 広徳 高蔵	浜町 若松 深町 小石赤崎 修多羅 古前 藤ノ木 二島 鴨生田 花房 江川 高須 青葉台 ひびきの	槻田第一 槻田第二 槻田第三 槻田第五 高槻 大蔵第一 大蔵第三 河内 枝光第一 枝光第二 枝光北 中央第一 中央第二 尾倉第一 尾倉第二 尾倉第三 尾倉第四 尾倉第五 前田北 前田第三 前田第四	木屋瀬 陣原 折尾西 穴生 陣山 折尾東 熊西 上津役 本城 浅川 鳴水 引野 中尾 塔野 筒井 医生ヶ丘 光貞 楠橋 池田 黒畑 永犬丸西 赤坂 八枝 黒崎 大原 星ヶ丘	東戸畑 北沢見 鞆ヶ谷 大谷第一 大谷第二 浅生 牧山 天籟寺 一枝 三六 中原 南沢見 西戸畑 牧山東	
19	10	27	14	21	26	14	132

3 出前講演活動の実施

項目	主な内容	回数	受講者数
1	住民の支えあい「ふれあいネットワーク活動」	42	1,412
2	生活の困りごとや不安を抱えている人への支援 ～誰もが自分らしく生きられる地域づくり～	2	67
3	誰でも気軽にボランティア	2	71
4	あんしんな暮らしのお手伝い	13	352
5	終活のすすめ～最期まで自分らしく～	57	1,367
6	その他	12	344
計		128	3,613

4 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社協役員	1	1	1	163	2
校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社協新任役員	1	1	1	81	6
計		2	—	2	244	—

5 社協啓発グッズの頒布

(単位：枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	マフラータオル	計
225	91	30	139	132	617

6 学識経験者の指導・助言による小地域福祉活動計画の効果的な推進

実施日	内容
R7.4.1 ～ R8.3.31	<p>【学識経験者】福岡県立大学 教授 村山 浩一郎</p> <p>【指導・助言内容】 小地域福祉計画策定及び推進にかかる校(地)区社協支援体制の強化</p> <p>① 協議及び会議での助言（全5回） ② 地域福祉活動第六次計画の進捗状況に関する分析等 ③ 地域の特性や実情を踏まえた小地域福祉活動の分析等</p>

7 北九州市孤独・孤立対策等連携協議会関連

(1) 孤独・孤立問題に関する普及活動

5月の強化月間に北九州市民生委員児童委員協議会及び北九州市老人クラブ連合会と連携し、市社協ホームページ内に特設ページを作成・公開しました。

8 その他会議への参画

【市社協】

- ・北九州市市高齢者支援と介護の質の向上推進会議（オレンジ会議）
- ・地域包括支援に関する会議
- ・北九州市ホームレス自立支援推進協議会
- ・北九州市障害者差別解消支援地域協議会
- ・北九州市居住支援協議会幹事会
- ・北九州市孤独・孤立対策等連絡協議会
- ・フードサポート北九州実行委員会
- ・北九州市保健所運営協議会
- ・北九州市自殺対策連絡会議
- ・北九州市地域リハビリテーション推進会議

- ・北九州市在宅人工呼吸器使用患者・災害時総合支援事業プロジェクトチーム意見交換会
- ・北九州市地域福祉計画策定懇話会
- ・各区包括ケア会議
- ・各区生活困窮者自立支援調整会議

【門司区】

- ・門司区保健・医療・福祉・地域連携推進協議会
- ・門司区医師会と包括との情報交換会

【小倉北区】

- ・小倉北区役所のちネット連絡調整会議
- ・小倉北区すこやかライフ推進協議会高齢者部会あい愛ネット小倉北世話人会
- ・まちづくりステップアップ事業選定検討会
- ・小倉北区子どもまつり実行委員会

【小倉南区】

- ・小倉南区・保健・福祉・地域連携システム推進協議会（ほっとステーション小倉南）
- ・小倉南区包括ケア会議
- ・小倉南犯罪被害者支援協議会
- ・生活困窮者自立支援事業支援調整会議
- ・福岡県共同募金会小倉南区支会評議員会
- ・まつりみなみ実行委員会
- ・小倉南区子どもまつり実行委員会

【若松区】

- ・若松区保健・医療・福祉・教育・地域連携協議会
- ・若松区包括ケア会議
- ・若松区交通安全推進協議会
- ・社会を明るくする運動
- ・若松あんしんネットワーク地域部会
- ・佐藤慶太郎基金運営委員会

【八幡東区】

- ・八幡東区いきいき 21 推進協議会
- ・八幡東区いきいき 21 推進協議会ささえあい専門部会
- ・八幡東区いきいき 21 推進協議会実務担当者勉強会
- ・八幡東区多機関協働会議
- ・八幡東区地域ケア個別会議
- ・小さな親切運動八幡東支部
- ・福岡県共同募金会八幡東区支会
- ・八幡東区愛の献血推進協議会
- ・まつり起業祭実行委員会
- ・八幡東区子どもまつり実行委員会
- ・八幡東区交通安全推進協議会
- ・八幡東犯罪被害者支援協議会
- ・福岡県交通遺児を支える会

- ・北九州市福祉事業団評議委員選任・解任委員会
- ・八幡夢みらい協議会
- ・皿倉山健康ウォーク実行委員会
- ・八幡民生事業協会評議員会
- ・前田第一自治区会未来プロジェクト

【八幡西区】

- ・八幡西区包括ケア会議
- ・生活困窮者自立支援調整会議
- ・福岡県共同募金会北九州市八幡西区支会理事会
- ・八幡西区食生活改善推進員協議会
- ・八幡民生事業協会評議員会
- ・八幡西区交通安全推進協議会
- ・八幡西区女性団体連絡会議
- ・八幡西区ささえあいネットワーク推進協議会

【戸畑区】

- ・戸畑区地域福祉推進協議会
- ・戸畑区包括ケア会議
- ・福岡県共同募金会北九州市戸畑区支会理事会
- ・戸畑区社会を明るくする運動推進委員会
- ・戸畑区市民憲章推進協議会
- ・とばた菖蒲まつり実行委員会
- ・戸畑犯罪被害者支援協議会
- ・生活困窮者自立支援調整会議
- ・戸畑区子どもまつり実行委員会

◇重層的支援体制整備事業

本事業は「地域共生社会」の実現に向け、既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを活かし、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、令和3（2021）年4月の社会福祉法改正に伴い、創設・施行されました。

本市では、令和5・6年度に4区でモデル事業、今年度から全市での本格実施が始まりました。それに伴い、これまでモデル事業も受託し、個別支援に強みを持つNPO法人抱樸と、これまでの地域づくりによって、地域資源の把握や各団体・機関などへのつながりを持つ本会が、共同事業体として「伴走型支援事業（アウトリーチ等を通じた継続的支援事業）」と「参加支援事業」の2つを受託し取り組みました。

1 事業の実施状況

(1) 区別の支援対象世帯数（※終結も含む）

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
2	1	1	2	5	2	1	14

(2) プラン作成件数（※終結も含む）

伴走型支援事業	22
参加支援事業	8

(3) 活動件数

①電話相談	165
②訪問	573
③同行支援	82
④面談	283
⑤重層的支援会議	14
⑥支援会議	40
⑦他機関との会議	49
⑧他機関との電話照会・協議	709
⑨その他	55
計	1,970

(4) 社会資源の拡充及び支援者の連携に資する活動

参加支援事業の一環として、市内の社会福祉法人施設の職員などの専門職を対象に、ソーシャルワークの基本的な考えの理解を深め、事例を通して個別支援から地域づくりの展開について学ぶとともに、「地域福祉」における「地域」や「地域住民」とは何かを考える研修を実施し、専門職間の連携推進に寄与しました。

実施日	人員・会場	内容
R7.11.10	33人 ウェルとばた	「地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク in 北九州 ～支援のその先にある地域を見つめて～」 北九州市立大学 地域創生学群 教授 坂本 毅啓

◇生活支援体制整備事業

平成27年度から各区に配置した地域支援コーディネーターが中心となり、校(地)区社協をはじめ、自治会や民生委員、福祉施設、ボランティア団体などと連携し、身近な地域の支え合いの資源の発掘や活動を支援してきました。

令和7年度からは、小地域福祉活動計画の策定や推進に関する話し合いの場を「第2層協議体」と位置づけ、地域の多様な関係者が集まり、課題の共有や解決に向けた取組について検討を進めました。その中で、地域の状況やニーズに応じた支え合いの活動や、住民同士の助け合いの仕組みづくりを進めるとともに、多くの方が参加しやすい地域づくりに取り組みました。

また、地域の活動やサービスに関する情報を整理し、関係者へ提供するとともに、ホームページやSNS等を活用して広く情報発信を行いました。

1 地域資源の発掘・組織化業務

(1) 地域生活課題の把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域プロフィールシート（地区カルテ）を作成・更新しました。

① 地域の会議等への参加実績 2,541回、58,917人（全市）

年度	R3	R4	R5	R6	R7
回数	1,794	2,534	3,053	2,876	2,541
人員	31,567	51,330	69,181	72,274	58,917

② 地域プロフィールシート作成状況 全155校(地)区整備

(2) 地域資源の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源（サービス）情報シートを作成しました。

① 地域資源（サービス）情報シート作成状況（H27～R7年度累計）

項目		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
生活支援	買い物支援	11(6)	10	6	1	8	16	3	55(6)
	配食サービス	-	1	-	-	-	3	1	5
	調理	1	2	2	1	1	3	-	10
	掃除・洗濯	1	2	2	1	1	3	-	10
	外出介助	1	2	2	1	1	3	-	10
	貸室	-	3	2	-	1	1	-	7
	その他	14(9)	4	8	6	8	4	2(1)	46(10)
小計	28(15)	24	22	10	20	33	6(1)	143(16)	
互助活動	ゴミ出し	-	-	-	-	-	-	-	0
	話し相手	-	-	-	-	-	-	-	0
	見守り・安否確認活動	-	-	-	-	-	-	-	0

	サロンなどの交流会	26(15)	18	192(132)	2	4	4	3(1)	249(158)
	その他	3	-	-	1	2	8	-	14
	小計	29(25)	18	192(132)	3	6	12	3(1)	263(158)
	計	57(40)	42	214(132)	13	26	45	9(2)	406(174)

※（ ）内は、令和7年度に地域支援コーディネーターが地域資源を把握した実績

(3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすため、チラシや広報紙の作成等の広報活動の支援、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

(4) 協議体の運営支援

地域だけでは解決の難しい課題について、各種別社会福祉施設協議会との「地域における公益的な取組の推進に関する協定」等を活用し、社会福祉施設等地域の関係団体との連携を図りながら、地域の話し合いの場の充実や小地域福祉活動計画策定・推進に向けた支援を行いました。

① 協議体への運営支援 296回、延べ 7,419人

年度	R3	R4	R5	R6	R7
回数	294	436	359	423	296
人員	5,645	9,058	9,055	9,581	7,419

(5) 地域生活課題等に関する相談件数及びその対応

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合への参加などを通じ、地域生活課題やサロン新設方法などの互助活動に関する相談を受けました。受けた相談は、行政や社会福祉施設等と連携して対応しました。

① 相談件数

区	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
個別支援に関する相談(件)	93	163	22	6	52	53	26	415
互助活動に関する相談(件)	515	127	216	326	338	262	125	1,909

② 相談に対する連携状況 (重複あり)

連携先	個別相談	互助活動
行政関係	116	146
地域住民 (福祉協力員等)	276	326
関係機関・団体 (社会福祉施設等)	291	1,120
その他	15	38
計	698	1,630

2 地域における見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、地域ケア個別会議等の区役所関係課との協議や、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。

3 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

地域福祉活動や住民主体の支え合いによる地域づくりについて学び、住民同士の交流や地域参加を促すための講座を行いました。

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
ふくしのまちづくり講座	校(地)区住民	3	1~2	4	158	8~2

4 区役所関係課との連携

配置場所の区役所保健福祉課（いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係）をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

5 研修会等への参加

コーディネーターとしての資質向上を図るため、地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした下記の研修に参加しました。

実施日	人員・会場	研修名
R7. 4. 15~4. 16	延べ75人 ウェルとばた	地域支援コーディネーター養成研修
R7. 10. 27 ~10. 28	2人 全社協	令和7年度 地域福祉コーディネーターリーダー研修会 (主催：全社協)

6 地域支援コーディネーター連絡会

地域支援コーディネーター業務の充実及び行政等関係機関・団体との連携を図るため、地域支援コーディネーター連絡会を開催しました。

実施日	R7. 6. 18	R7. 8. 20	R7. 10. 22	R7. 12. 17	R8. 2. 18
人員	24	20	19	20	18
主要議題	<ul style="list-style-type: none"> ○事業進捗状況及び推進方法等について ○行政からの連絡事項等 ○連絡事項・情報提供 ○報告、その他 				



小地域福祉活動計画の策定

◇地域生活支援活動推進事業

公的な福祉サービスだけでは対応の難しい、制度の狭間にいる人の地域生活課題に対応していくため、生活支援活動の担い手を増やし、その活動が円滑に行われるよう、ニーズと活動との需給調整を行う地域生活支援相談員を配置しました。

1 地域生活支援相談員の配置

- (1) 若松区 高須地区（平成30年12月から、高須市民センターに配置）
- (2) 門司区 庄司校区（平成31年3月から、庄司公民館に配置）
- (3) 小倉南区 若園校区（平成31年4月から、若園市民センターに配置）
- (4) 小倉南区 貫校区（令和元年7月から、貫市民センターに配置）
- (5) 門司区 田野浦校区（令和2年7月から、田野浦公民館に配置）
- (6) 小倉南区 守恒校区（令和2年8月から、守恒市民センターに配置）
- (7) 小倉北区 西小倉校区（令和2年11月から、西小倉市民センターに配置）
- (8) 八幡東区 高槻地区（令和3年9月から、高槻市民センターに配置）
- (9) 小倉北区 富野校区（令和3年9月から、富野市民センターに配置）
- (10) 戸畑区 牧山東地区（令和3年10月から、牧山東市民センターに配置）
- (11) 八幡西区 八枝校区（令和4年3月から、八枝市民センターに配置）
- (12) 八幡西区 陣原地区（令和5年2月から、陣原公民館に配置）
- (13) 門司区 小森江西校区（令和5年3月から、小森江西年長者いこいの家及び小森江西市民センターに配置）
- (14) 小倉南区 東朽網校区（令和5年3月から、東朽網市民センターに配置）

2 事業内容

- (1) 生活支援活動を担う地域住民等の把握、発掘、養成
地域で生活支援活動を行っている住民や活動希望のある住民の相談・把握を行うとともに、地域での行事や生活支援活動への参加を促しました。
- (2) 生活支援を必要とする方の把握及び相談
市民センターや公民館などのコミュニティ施設を拠点として、困りごとを抱えた方からの相談に応じました。
また、福祉協力員や民生委員・児童委員、老人クラブ等と連携して要支援者の把握を行いました。
○新規相談者 337人

【内容別相談受付件数】

内容	ゴミ出し	家の片づけ・掃除	同行（買物・通院等）	代行（買物等）	庭木剪定草取り	家具等の修理	見守り	携帯・PC操作	その他	計
件数（延べ）	181	65	36	201	233	33	84	113	455	1,401

(3) 助け合い活動のための調整活動

助け合い活動の風土づくりのために、生活支援活動の事業周知や活動実施に必要な訪問活動や会議への参画、その他関係団体との調整活動を行いました。

○助け合い活動のための調整活動

内容	要支援者等への訪問	地域活動(サロン等)への訪問	会議への参画	活動周知	関係団体との打合せ等	計
件数(延べ)	403	406	327	349	1,244	2,729

(4) 生活支援活動の需給調整(マッチング)

把握した要支援者やその生活支援ニーズに対して、需給調整(マッチング)を行いました。

○関係機関へのつなぎ

つなぎ先	相談のみ	校(地区)社協	地縁団体(民生委員等)	市社協	行政機関(地域包括等)	社会福祉施設関係	その他	計
件数(延べ)	171	673	635	25	122	22	72	1,720

○生活支援活動とのマッチング

内容	ゴミ出し	家の片づけ・掃除	同行(買物・通院等)	代行(買物等)	庭木剪定草取り	家具等の修理	その他	計
件数	1,076	71	115	276	667	29	410	2,644



地域生活支援相談員

◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、脱退一時金の支給等の共済事業と、給付事業やスポーツ観戦、優待食事券等の福利厚生事業を実施しました。

また、加入者を管理する事務処理システムの改修を行い、事務の効率化を図りました。

1 共済加入状況の推移

年度	R3	R4	R5	R6	R7
加入施設・団体	213	212	207	208	207
加入人員	4,866	4,901	4,864	4,821	4,820

2 福利厚生事業実施状況

(1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金
 (計 310 件、2,928,000 円)

(2) 貸付事業

厚生貸付 0 件

(3) スポーツ観戦事業

福岡ソフトバンクホークス公式戦
 62 組 (124 枚) (個人負担額 483,600 円、助成金額 211,544 円)

(4) 演劇鑑賞事業

北九州芸術劇場等 1 演目 22 枚 (個人負担額 135,520 円、助成金額 58,080 円)

(5) 優待食事券

市内レストラン等 2 施設 (100 セット)
 (個人負担額 700,000 円、助成金額 300,000 円)

(6) 家庭用常備薬斡旋事業

1 回目 (6 月) 申込施設数 44 施設、申込件数 153 件、申込金額 370,512 円
 2 回目 (10 月) 申込施設数 43 施設、申込件数 124 件、申込金額 311,720 円

3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内容
R7.8.8 R7.8.18	129 人 ウェルとばた オンライン併用	・オンライン申請の操作説明 (株) 勁草システック ・共済事業事務説明

◇各施設協議会等との連携

1 各種別社会福祉施設協議会等と連携した地域における公益的な取組や地域公益事業の推進

令和元年度に、各種別社会福祉施設協議会（北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害者施設協議会、北九州市障害児施設連盟、北九州市保育所連盟、北九州市立母子生活支援施設、北九州市児童養護施設協議会）と締結した「地域における公益的な取組の推進に関する協定」に基づき、校(地)区社協と社会福祉施設の連携による小地域福祉活動の充実・強化に努めました。

(1) 校(地)区社協と社会福祉施設の連携状況（区別）

区	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
校(地)区社協	11	5	7	5	2	11	5	46
高齢者施設	3	3	7	4	2	5	3	27
障害者施設	2	1	0	1	0	2	1	7
児童施設	3	0	2	2	0	7	1	15
施設数（計）	8	4	9	7	2	14	5	49

(2) 北九州市社会福祉法人地域協議会の運営

実施日	人員・会場	内容
R7.8.1	3人 ウエルとばた	1 北九州市社会福祉法人地域協議会正副委員長の選任について 2 北九州市社会福祉法人地域協議会の取組について 3 「地域における公益的な取組」の推進について

2 大都市社会福祉施設協議会(北九州市大会)実行委員会の開催

大都市の社会福祉施設関係者、社会福祉協議会、行政が一堂に会し、福祉課題に対する社会福祉施設等のあり方を研究及び協議する大都市社会福祉施設協議会(北九州市大会)に向け、実行委員会を3回開催しました。

また、種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深めました。

(1) 大都市社会福祉施設協議会実行委員会

実施日	人員・会場	内容
R7.5.19	書面開催	1 実行委員会規約の制定について 2 各社会福祉施設協議会からの参加協力依頼について 3 各社会福祉施設協議会からの負担金について
R7.6.26	13人 ウエルとばた	1 副委員長の選任について 2 北九州市大会当日の運営について
R7.11.6	13人 ウエルとばた	1 北九州市大会の経過報告及び処理報告について 2 北九州市大会の決算(案)について

(2) 第65回大都市社会福祉施設協議会(北九州市大会)の開催

実施日	人員・会場	内容
R7.7.3	254人 国際会議場	1 基調報告 「社会福祉施設と地域がつながるふくしのまちづくり」 ～校(地)区社協の小地域福祉活動計画への参画による社会福祉施設の公益的な取組の推進～ 2 分科会 (1)大都市における社会福祉施設の地域における公益的な取組 (2)災害時における社会福祉施設の役割と対応 (3)社会福祉施設の虐待防止に向けた取組み (4)社会福祉法人の経営・運営研究 3 全体会 分科会の報告・共有

3 各種別社会福祉施設協議会会議への参画

- ・北九州高齢者福祉事業協会施設長会 (1回)
- ・北九州市障害者施設協議会施設長会 (1回)
- ・北九州市保育所連盟施設協議会 (1回)
- ・北九州市児童養護施設協議会施設長会 (10回)



第 65 回大都市社会福祉施設協議会（北九州市大会）

◇民生委員互助共励事業

民生委員・児童委員が、民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

項目	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	計
支給 件数	0	3	5	15	36	228	0	287
金額 (千円)	0	60	150	150	354	1,130	0	1,844

2 指定地区民児協事業

- (1) 指定期間 令和7年度～令和8年度の2年間
 (2) 指定地区 若松区：深町地区民生委員児童委員協議会
 八幡東区：枝光第一地区民生委員児童委員協議会



北九州市民生委員児童委員大会



「民生委員・児童委員の日」
パネル展・オープンカフェ



九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議
(北九州市民児協・市社協主催)

◇生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、低所得者・障害者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と民生委員を通じた必要な相談支援を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

資金の相談の中では、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立促進を図りました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急小口資金等の特例貸付の償還に関わるフォローアップ業務を行いました。

1 生活福祉資金貸付状況 (上段：申請(承認)の件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合支援資金	生活支援費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住宅入居費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉資金	技能習得	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉用具購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	666	666
	障害者自動車購入経費	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0	1,700	0	0	0	0	1,700
	住居の移転・給排水設備	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	0	0	0	153	0	0	72	0	0	0	0	0	225	
日常生活上一時的経費	2	8	2	9	12	2	1	0	0	1	0	0	36	
	192	670	158	745	1,026	186	76	0	0	92	0	0	3,053	
緊急小口資金	2	2	2	3	2	2	1	2		2	4	2	22	
	200	200	200	290	200	200	100	200		200	384	200	2,174	
教育支援	教育支援費	0	0	0	0	0	0	1	5	6	2	19	8	41
		0	0	0	0	0	0	522	1,992	2,628	552	3,945	847	10,486
	就学支度費	0	0	0	0	0	0	1	5	6	3	22	8	45
	0	0	0	0	0	0	447	1,642	2,303	822	6,030	2,122	13,366	
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	2	10	4	13	14	4	5	13	12	7	45	19	148	
	192	870	358	1,188	1,226	386	1,217	5,534	4,931	1,574	10,359	3,835	31,670	
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※本表に記載がないが、下記資金は、申請なし。

生業費、住宅増改築経費、療養費、就職・技能習得の支度費、年金追納費、災害支援費

2 特例貸付の決定・償還状況 (緊急小口資金、総合支援資金の総計)

貸付期間 令和2年3月～令和4年9月 (償還状況 令和8年3月末現在)

貸付決定件数(件)	42,815
貸付決定金額(円)	16,524,941,000
償還完了件数(件)	22,261
償還金額(円)	8,162,870,000
(内) 償還免除件数(件)	19,937
償還免除金額(円)	7,715,860,000

3 特例貸付フォローアップ業務について

(1) 職員研修（フォローアップ・個別支援に関する研修）

実施日	人員・会場	内容
R7.7.11 (主事連絡会)	20人 ウェルとばた	・生活福祉資金（本則）について ・特例貸付について ・フォローアップ業務の実施内容、留意事項について
R7.7.28 (職員研修)	19人 オンライン	・県社協の取組について 福岡県社協 償還指導室 室長 亀山 真樹 ・主事連絡会時の問合せ対応、質疑応答
R7.11.25 (職員研修)	15人 オンライン	・県社協による訪問について 福岡県社協 償還指導室 室長 亀山 真樹 ・償還免除者への対応について

(2) アンケート発送・回答状況

償還免除となった世帯のうち、2,935世帯に対し、2回に分けアンケートを発送し、「相談希望」と回答した者に対しては、各区社協より架電を実施しました。

配付通数	2,935件
回答数（回答率）	663件（22.6%）
うち、相談希望と回答した者	204件
全配付数に対する相談希望の割合	7.0%
回答数に対する相談希望の割合	30.8%

(3) 相談、対応件数

（単位：件）

相談受付・対応件数							相談後の対応					相談内容（重複あり）						連絡会議	
来所	架電	受電	メール	訪問	その他	合計	貸付を含む社協の支援ツールで対応	関係機関へつなぐ	経過観察	その他	お金・負債	仕事	病気・体調	住まい	家族・孤立	その他	社協内部	関係機関	
282	1,35	388	11	3	6	1,85	190	479	300	926	1,167	177	97	54	60	697	16	60	

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談・対応件数 (来所・電話等)	165	141	238	228	162	163	174	76	115	151	154	128	1,895
うち、架電 件数	99	95	181	133	118	103	126	24	80	77	83	86	1,205

◇生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者の自立支援を目的に、市内全7区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

また、生活福祉資金の貸付等の利用者への相談支援についても、生活福祉資金相談コーナーと連携しながら行いました。

1 自立相談支援事業の周知と関係機関とのネットワークに関わる業務

(1) 事業の周知及び広報（区社協広報紙への掲載）

掲載物	掲載回数（掲載号）	備考
門司区社協広報紙	2回（7/15、1/15）	区内全戸配布等
小倉北区社協広報紙	1回（4/15）	
小倉南区社協広報紙	4回（4/15、7/15、10/15、1/15）	
若松区社協広報紙	3回（6/15、10/15、2/15）	
八幡東区社協広報紙	1回（4/15）	
八幡西区社協広報紙	2回（4/15、10/15）	
戸畑区社協広報紙	1回（9/15）	

(2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用の他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

- ① 市及び各区の行政関係機関 7 団体
- ② 社協関係（市：1、区：7、校(地)区：155）
- ③ 民児協関係（地区民児協：133）
- ④ その他の関係機関

2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

(1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

また、令和7年度より北九州市を東部・西部に分け、新たに主任相談支援員を配置し、スーパーバイザーとして各区の相談支援員への助言・指導を行いました。

(2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

2名の主任相談支援員が各区の相談支援員と業務の進捗状況や内容を共有し、行政機関(いのちをつなぐネットワーク係)と連携しながら課題解決に努めました。

(3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

3 成果

(1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活や社会生活の自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

(2) 生活困窮者支援を通じた地域づくり

生活困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長連絡調整会議（毎月）、市社協主事会議（適宜）
- 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（1回）
- 市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会、民生委員・児童委員研修会（適宜）

4 相談受付支援状況

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
新規相談受付件数（総数）		268	691	562	140	194	576	118	2,549
	全市に占めるその区の%	10.5%	27.1%	22.0%	5.5%	7.6%	22.6%	4.7%	100%
	月平均件数	22.3	57.6	46.8	11.7	16.2	48	9.8	212.4
	相談員一人当たり月件数	11.2	19.2	23.4	11.7	16.2	16	9.8	16.3
プラン作成件数（総数）		105	259	199	39	81	201	46	930
プラン策定率		39.2%	37.5%	35.4%	27.9%	41.8%	34.9%	39.0%	36.5%
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標としている）		25	125	124	8	62	72	17	433
法に基づく事業等利用件数	住居確保給付金	7	13	32	6	6	15	10	89
	シェルター事業（居住支援事業）	1	7	0	0	2	1	1	12
	地域居住支援事業（居住支援事業）	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労準備支援事業	4	6	4	0	3	5	3	25
	特定被保護者（就労準備支援）	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計改善支援事業	96	193	117	36	62	168	33	705
	特定被保護者（家計改善支援）	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援による就労支援	1	0	1	5	29	54	16	106
その他	生活福祉資金による貸付	3	7	7	1	2	2	3	25
	生活保護受給者等就労自立居世事業	4	83	94	1	24	38	2	246
就労者数（一般就労総数）		12	60	53	7	9	19	10	170
うち就労支援対象プラン作成者分		9	47	47	6	7	13	9	138
増収者数（総数）		11	27	19	3	15	11	6	92
うち就労支援対象プラン作成者分		3	14	12	2	11	7	3	52

5 住居確保給付金の申請受付状況

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
決定件数 (総数)	4	10	14	4	3	10	8	53

6 共同事業体の運営

平成 28 年度より、グリーンコープ生活協同組合ふくおかと共同事業体として生活困窮者支援を行っています。

業務上の課題解決や、円滑な業務運営を目的とし、会議や状況共有の場を設けています。

実施日	人員・会場	内容
R7. 6. 26	グリーンコープ 3 人 市社協 2 人 ウェルとばた	第 1 回運営委員会
R8. 2. 27	グリーンコープ 3 人 市社協 2 人 ウェルとばた	第 2 回運営委員会

◇潜在保育士の保育所再就職・復帰支援資金貸付事業

平成28年4月から、保育士の安定的な人材の確保を図るため、「保育士資格を持ち、かつ、現在保育士として勤務していない方」、「1年以上保育士として働いていない方」を対象に、保育士としての再就職を支援する資金貸付事業を開始しました。

福祉人材の確保に資する取組として、貸付相談窓口を設け、事業を実施しました。

1 貸付の内容と実施状況

(1) 潜在保育士の再就職支援資金の貸付

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することとなった場合に、就職準備金の貸付を行いました。

	R3	R4	R5	R6	R7
貸付決定件数	20	14	15	5	5
貸付決定金額	7,312,093	5,487,856	4,590,296	1,759,690	1,819,440
免除決定件数	31	19	16	10	14
免除決定金額	10,740,697	6,306,463	5,433,295	3,521,617	4,631,313

(2) 未就学児をもつ潜在保育士の保育所復帰支援資金の貸付

未就学児をもつ潜在保育士が保育所等に勤務することとなった場合に、当該未就学児に係る保育所等の保育料の一部の貸付を行いました。

	R3	R4	R5	R6	R7
貸付決定件数	22	16	16	11	6
貸付決定金額	4,684,125	2,672,390	3,961,925	2,739,000	1,615,800
免除決定件数	36	25	27	8	20
免除決定金額	6,667,240	5,263,625	5,892,825	1,334,675	4,425,450

◇ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

平成29年7月から、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的に、高等職業訓練促進資金貸付事業を開始しました。

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学する方で、将来取得する資格が必要な業務に従事しようとする方に対して資金を貸付け、その就学を容易にすることにより資格取得の促進を図っています。

また、令和3年10月から、自立に向けて意欲的に取組むひとり親家庭の親に対し、住宅支援資金を貸付け、就労又は稼働所得の高い就労、子どもの高等教育の確保などに繋げ、自立の促進を図っています。

1 貸付の内容と実施状況

(1) 入学準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、資格の取得のために養成機関へ入学することになった場合に、入学準備金の貸付を行いました。

	R3	R4	R5	R6	R7
貸付決定件数	32	20	20	10	18
貸付決定金額	15,711,900	10,000,000	9,800,000	5,000,000	9,000,000
免除決定件数	-	-	6	19	22
免除決定金額	-	-	3,000,000	6,888,000	10,374,999

(2) 就職準備金

高等職業訓練促進給付金の支給を受け、養成機関の課程を修了し、取得した資格が必要な業務に従事する場合、その就職に必要な準備金の貸付を行いました。

	R3	R4	R5	R6	R7
貸付決定件数	25	12	26	9	11
貸付決定金額	5,000,000	2,400,000	5,200,000	1,800,000	2,200,000
免除決定件数	-	8	16	23	19
免除決定金額	-	1,600,000	3,200,000	3,406,666	3,616,666

(3) 住宅支援資金

貸付対象者に対して、住宅の借りに必要となる資金の貸付けを行いました。

	R3	R4	R5	R6	R7
貸付決定件数	12	21	15	16	21
貸付決定金額	5,342,600	9,566,100	6,396,000	6,641,800	12,744,400
免除決定件数	-	2	18	17	17
免除決定金額	-	960,000	7,757,500	7,291,200	7,743,200

◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの研修や新規登録等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを目指すとともに、地域・職域においてのサポーター活動の支援を行いました。

令和7年度は、市内全区において本会主催の一般市民向け講座を8回開催し、延べ466人が受講しました。

また、小学生対象の「ふくしの出前授業」でも講座を2回開催しました。

年間では、認知症サポーター養成講座受講者4,301人、認知症サポーターステップアップ講座受講者484人で、合計受講者は4,785人、令和7年度末現在の認知症サポーター（基礎編受講者）の累計が114,494人となりました。

1 認知症サポーター養成講座（基礎編）実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人員
住民団体	校(地)区社協	11	616
	社協関係	21	668
	その他	22	390
	企業	20	440
	学校	33	1,910
	行政	5	277
	計	112	4,301

2 認知症サポーターステップアップ講座（応用編）実施状況

受講団体種別		開催回数	サポーター人員
住民団体	校(地)区社協	4	171
	社協関係	7	203
	その他	3	57
	企業	0	0
	学校	0	0
	行政	2	53
	計	16	484

3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等	
北九州市ホームページ	市政だより
市社協ホームページ	LINE版市社協だより
社会福祉協議会のふくし出前講演	小・中学生向け「ふくしの出前授業」
市・区社協各部署	メール配信システム
孤独・孤立対策強化月間ホームページ・チラシ掲載	

4 キャラバン・メイト向け研修の実施

実施日	人員・会場	内容
R8. 2. 11	40人 ウエルとばた	キャラバン・メイト 全体・スキルアップ研修 ①「実践力向上！講座ブラッシュアップのためのポイント」 看護師・社会福祉士・認知症ケア専門士 榎原 幸恵 ②「北九州市の現状と認知症施策について」 認知症支援・介護予防課 認知症対策推進係長 高橋 倍美 ③「チームオレンジの活動について」 認知症支援・介護予防課 地域活動コーディネーター 中村 真理子
R7. 10. 1 R7. 12. 18	2人 個別対応	キャラバン・メイト新任者研修 ・北九州市の現状と認知症施策について ・講座の開催、基本構成について ・認知症サポーター養成講座の配布資料 ・キャラバン・メイト活動意向調査 ・認知症サポーター養成講座の見学案内

5 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	会場	キャラバン・メイト	受講人員
R7. 5. 24	ウエルとばた	基礎編：村井 智光	38
		応用編：長崎 修二	32
R7. 7. 11	若松生涯学習センター	基礎編：尾形奈々美	30
		応用編：北岡 大輝	23
R7. 8. 7	ウエルとばた	キッズ：田川 勇蔵	16
R7. 9. 26	アシスト21	基礎編：渡部 文華	56
		応用編：石井 朱實	49
R7. 11. 21	八幡東生涯学習センター	基礎編：川野由紀乃	41
		応用編：大塚 千保	35
R8. 1. 17	小倉南生涯学習センター	基礎編：松尾 洋子	21
		応用編：伊藤 哲ヤ	12
R8. 2. 18	門司生涯学習センター	基礎編：野口 恵美	14
		応用編：石井 朱實	12
R8. 3. 19	八幡西生涯学習総合センター	基礎編：上田 直樹	47
		応用編：田代久美枝	40
計		基礎編：8回 応用編：7回	基礎編：263 応用編：203 延べ：466

6 メール配信サービス状況

登録者数 (人)	6,179	配信回数 (回)	7
----------	-------	----------	---

◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

令和7年度は、昨年に引き続き、利用者、見守りサポーター両方に感染対策の徹底を義務づけたうえで事業を継続しました。延べ利用者数、サポーター登録数ともに横ばい状態ですが、派遣回数が前年度に比較し6割程度になりました。

主な要因として、対象者の入院により派遣中断があったことや、新規利用・サポーター登録があったものの利用者の派遣日時等の希望に添えず、サポーター派遣ができなかったことが挙げられます。

1 派遣状況等

年度	新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
R5	18	15	12	320
R6	9	6	10	379
R7	11	10	13	222

2 関係機関等との連絡調整

相手先	内容	申請方法	利用内容 活動内容	スケジュール	その他	計
サポーター		0	2	0	1	3
家族		2	6	1	0	9
ケアマネジャー		1	15	0	1	17
地域包括等		0	3	0	2	5
その他（市民等）		0	1	0	3	4
計		3	27	1	7	38

3 過年度利用状況の推移

年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	延べ派遣回数
R3	29	54	40	105
R4	29	55	43	136
R5	32	72	52	320
R6	28	84	56	379
R7	25	58	50	222

4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	人員・会場	内容
R7.7.17	22人 ウェルとばた	「リンパケアでリフレッシュ」 リンパサロンみっかうさぎ セラピスト 福田 りえ

実施日	人員・会場	内容
R8. 2. 5	17人 ウエルとばた	「認知症の最新知識と対応・コミュニケーションについて」 医療法人 秀英会 管理者・介護支援専門員 認知症介護指導者 北岡 大輝

5 新規サポーター研修（いずれも登録研修）

実施日	人員・会場	内容
R7. 8. 28	1人・ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市における認知症施策について」 ・高齢者見守りサポーター活動について説明 ・高齢者見守りサポーター登録説明
R7. 12. 15	1人・ウエルとばた	
R8. 2. 9	1人・ウエルとばた	
R8. 2. 13	2人・ウエルとばた	

6 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数(電話回答含)	未回答数	回答率
R8. 1. 8	31	27	4	87%

(調査結果概要 複数回答可)

登録者(令和7年度新規登録者と現在利用中の方を除く)を対象にアンケートを実施した。

1. 未利用の理由として、①介護保険で対応3人 ②家族の介護で対応3人 ③状態が落ち着いている7人 ④施設入所3人 ⑤その他3人 ⑥本人が拒否している1人 ⑦サポーターがない2人 ⑧トイレ介助が必要になった1人 ⑨病院に入院した4人
2. 今後の利用については、①今のところ利用の予定なし15人(40%) ②活動出来るサポーターがいれば利用したい1人(1%) ③利用継続5人(14%) ④取消希望13人(34%) ⑤連絡取れず4人(11%)

7 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
R8. 2. 5	61	50	11



見守りサポーター研修

◇高齢者地域交流支援通所事業

本事業は、平成 12 年度から北九州市から受託し実施しています。市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを市内 50 か所の市民センターで実施しました。平均年齢 82.5 歳、約 610 人の高齢者、延べ 41,640 人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。各市民センターのプログラムの実施状況等は毎月のミーティングで担当指導員が把握し、適切な助言・指導を行うとともに、危機管理等の各市民センターの課題に対しては、ミーティングや年 1 回の現任研修等を通じて留意事項や適切な対応策を確認し、共通認識の醸成等を図りました。

また、支援員や指導員が普段から利用者の認知機能の低下予防やうつ予防の観点から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	87	14	813	37	776	9.3
	清見	88	12	817	76	741	9.3
	白野江	87	12	800	0	800	9.2
	錦町	87	12	662	32	630	7.6
	萩ヶ丘	87	15	961	0	961	11.0
	松ヶ江北	87	7	602	0	602	6.9
	丸山	87	12	890	0	890	10.2
小倉北区 ⑨	足原	87	7	591	0	591	6.8
	足立	87	18	1,183	99	1,084	13.6
	今町	86	15	1,106	65	1,041	12.9
	清水	87	24	1,581	80	1,501	18.2
	寿山	87	12	894	0	894	10.3
	中島	87	11	806	0	806	9.3
	西小倉	86	10	695	79	616	8.1
	南小倉	87	11	699	0	699	8.0
	井堀	87	8	546	0	546	6.3
小倉南区 ⑨	長行	87	14	1,094	0	1,094	12.6
	葛原	87	12	777	0	777	8.9
	曾根	87	17	977	0	977	11.2
	長尾	87	9	648	96	552	7.4
	貫	87	10	630	0	630	7.2
	東朽網	87	12	891	40	851	10.2
	守恒	87	13	948	56	892	10.9
	湯川	86	11	799	86	713	9.3
	若園	87	11	764	124	640	8.8
若松	赤崎	87	15	862	69	793	9.9
	高須	87	10	670	0	670	7.7

区	市民センター	実施日数	登録者数	利用者数	性別		平均利用者数
					男	女	
若松区 ⑤	深町	87	12	755	0	755	8.7
	二島	87	15	1,106	0	1,106	12.7
	若松中央	87	18	1,097	67	1,030	12.6
八幡東区 ⑤	枝光	85	9	622	0	622	7.3
	枝光南	86	8	576	43	533	6.7
	尾倉	86	8	697	102	595	8.1
	槻田	84	17	1,098	209	889	13.1
	前田	87	12	729	0	729	8.4
八幡西区 ⑪	青山	87	10	709	86	623	8.1
	赤坂	85	9	651	58	593	7.7
	浅川	87	14	1,004	0	1,004	11.5
	池田	87	11	907	30	877	10.4
	永犬丸	86	13	1,008	0	1,008	11.7
	大原	86	19	1,046	0	1,046	12.2
	楠橋	86	21	1,576	114	1,462	18.3
	木屋瀬	86	6	457	0	457	5.3
	塔野	87	16	1,030	192	838	11.8
	鳴水	86	12	812	83	729	9.4
	本城	87	5	284	0	284	3.3
戸畑区 ④	大谷	87	16	899	0	899	10.3
	浅生	87	9	693	0	693	8.0
	中原	87	10	756	0	756	8.7
	牧山東	87	7	422	0	422	4.9
計 (50館)		4,334	611	41,640	1,923	39,717	9.6

2 過年度利用状況の推移

年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均利用者数
R3	50	581	3,418	28,845	8.4
R4	50	606	4,436	38,729	8.7
R5	50	624	4,431	40,348	9.1
R6	50	636	4,252	40,827	9.6
R7	50	611	4,334	41,640	9.6

3 研修会

実施日	人員・会場	内容
R7.4.8 ～R8.3.5 の間で 延べ7回	8人 (対象：新採職員) 市民センター	令和7年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について
R7.7.15 (午後) R7.7.16 (午前) 延べ2回	149人 ウエルとばた	令和7年度支援員現任研修 ・非常勤嘱託職員の10年永年勤続表彰 ・研修 「誰もがなりうる認知症について支援員が知っておくべきこと」 NPO法人山ノ上やまびこ 副理事長 田中 良幸 ※研修を動画撮影し支援員限定で公開済み

実施日	人員・会場	内容
R7. 11. 17	47人 ウエルとばた	令和7年度支援員会議 「みんなでできる口腔体操」 福岡県歯科衛生士会 歯科衛生士 芳野 明美 ・グループワーク ※研修を動画撮影し支援員限定で公開済み
計 (10回)	204人	

4 会議

会議名	実施回数	内容
生活福祉課定例会	12	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
ミーティング	600	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング（各市民センター月1回、2時間程度）
計	612	

5 「年長者作品展」への出展

プログラムの中で利用者が製作した様々な作品を、門司区・小倉北区・戸畑区を除く区事務所主催の「年長者作品展」に出展しました。

開催区	実施日	会場
小倉南	R7. 9. 30～R7. 10. 3	小倉南生涯学習センター2階 展示コーナー
若松	R7. 11. 12～R7. 11. 16	若松市民会館1階 美術展示室
八幡東	R7. 9. 8～R7. 9. 12	八幡東区社会福祉センター3階 研修室
八幡西	R7. 9. 8～R7. 9. 13	コムシティ3階 黒崎市民ギャラリー

6 指導員による業務支援

種別	回数	内容
指導員の話	86	指導員による自主テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕通所事業の決まりごとについて、介護予防、認知症について、熱中症・食中毒の予防対策、詐欺被害対策等
プログラム運営支援	463	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補助、定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	301	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業運営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	8	支援員の休務の際のバックアップ
計	858	

7 各種交流事業

種別	回数	内容
世代間交流	5	小・中・大学生との交流（今町・中島・若松中央・赤坂・大原）
地域・団体との交流	32	・市民センターの避難訓練に参加（葛原） ・センター祭りに参加（今町・槻田・楠橋） ・ふれあい昼食会に参加（清見・守恒・尾倉） ・日本語学校の学生との交流（青山）
計	37	

8 実習生の受入

実施日	人員・会場	内容
R7. 8. 27	大学生 6 人 ウェルとばた	相談援助実習 「生活福祉課事業概要」について

9 支援員面接選考

実施日	会場	内容
R7. 4. 9 ～R8. 2. 25 の間で延べ2回	各市民 センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会 (市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成) を設けて面接選考試験を実施

10 広報・啓発

内容	実施回数
事業チラシの改定及び関係各所への配布	1
市民センターだより掲載、各種交流事業等での PR による利用者募集	19
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員募集	5
計(一部重複)	25



◇介護サービス相談員派遣事業

本事業は介護サービスの質の向上を図ることを目的として、相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者にサービス向上、改善に結びつく提案などを行うものです。感染症予防の観点から、介護サービス相談員の受け入れができない事業所が一定数ありましたが、令和7年度は、登録89事業所のうち80事業所に対し1,039回の訪問活動を行いました。

また、介護サービス相談員養成研修（全国研修）に3人が参加し、介護サービス相談員となり活動することができました。運営推進会議への相談員の参加は129回でした。

1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 事業所に 伝えた件
					事業所に 伝えた件数			相談者の希望により 伝えなかった件数			
	回数	時間	人数	件数	利用 者	施設 に つ いて	その他	利用 者	施設 に つ いて	その他	
介護老人福祉施設	399	569:55	2,884	9,397	7	16	0	0	2	0	17
介護老人保健施設	107	211:44	794	3,412	3	13	0	0	0	1	1
認知症対応型共同生活介護	409	693:20	2,724	10,640	4	18	1	0	2	1	30
介護療養型医療施設	24	42:55	100	762	0	4	0	0	0	0	9
小規模多機能型居宅介護	129	137:55	613	2,350	0	1	1	0	0	0	0
住宅型有料老人ホーム	31	50:15	260	945	3	7	1	0	2	0	12
計	1,039	1,706:04	7,375	27,506	17	59	3	0	6	2	69

2 過年度派遣事業の推移

年度	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	通所介護	通所リハ ビリテー ション	認知症対 応型共同 生活介護	介護療養 型医療施 設	小規模多 機能型居 宅介護	住宅型 有料老人 ホーム	合計 (カ所)	相談員数 (人)
R3	34	8	0	0	38	2	10	—	92	58
R4	32	8	0	0	32	2	8	5	87	59
R5	29	7	0	0	32	2	8	5	83	58
R6	27	8	0	0	33	2	9	5	84	53
R7	29	9	0	0	35	2	9	5	89	50

3 派遣事業所数

施設種別	R7年度募集 (R8派遣開始)	R7派遣事業所 (R7.4)	R7終了事業所	計(カ所) (R8.4)
介護老人福祉施設	1	29	0	30
介護老人保健施設	0	9	0	9
認知症対応型共同生活介護	0	35	0	35
介護療養型医療施設	0	2	0	2
小規模多機能型居宅介護	0	9	1	8
住宅型有料老人ホーム	0	5	1	4
計	1	89	2	88

4 派遣終了事業所

施設名称	派遣年数	派遣期間
小規模多機能型ひだまり	6	R2. 4～R8. 3
住宅型有料老人ホーム「あやのいえ」	-	R4. 4～R8. 3
計	2カ所	

5 介護サービス相談員構成

(単位:人)

内 訳	男性	女性	計
高齢者地域交流支援通所事業 支援員	0	5	5
見守りサポーター	0	14	14
北九州市役所・北九州市社会福祉協議会 OB	2	0	2
権利擁護・市民後見センター 支援員	1	2	3
介護支援ボランティア	0	2	2
一般公募者 (平成 20 年度より)	0	13	13
一般公募者 (令和 4 年度より)	0	1	1
一般公募者 (令和 7 年度より)	0	4	4
その他	0	6	6
計	3	47	50

6 介護サービス相談員連絡会

実施日	人員・会場	内容
第 1 回 R7. 5. 30	40 人 ウェルとばた	「相手に上手に伝えるスキル～幸せの人間関係」 北九州市立大学 名誉教授 中島 俊介
第 2 回 R7. 8. 26	43 人 ウェルとばた	「介護サービス相談員現任伝達研修」 北九州市社会福祉協議会 主事 佐々木 由季 「活動報告書の書き方について」 川端 洋子
第 3 回 R7. 11. 20	34 人 ウェルとばた	「終活のすすめ ～最期まで自分らしく～」 北九州市社会福祉協議会 主事 古島 奈央子 グループワーク
第 4 回 R8. 2. 20	33 人 アシスト 21 (展示場ツアー)	北九州市立介護実習・普及センター テクノケア北九州 理学療法士 古野 友佳 作業療法士 百留 あかね

7 令和 7 年度介護サービス相談員養成研修 (ウェルとばたにてオンライン参加)

実施日	人員・会場	内容
【前期】 R7. 7. 1 (1 日目)	3 人 ウェルとばた	「介護サービス相談員の意義と役割」 介護サービス相談・地域づくり連絡会 「教養としての社会保障」 香取 照幸 「介護保険制度の基礎知識」 厚生労働省老健局
【前期】 R7. 7. 2 (2 日目)	3 人 ウェルとばた	「施設サービスの理解」 認知症の人と家族の会 東京都支部世話人 石黒 秀喜 「居宅介護とケアマネジメント」 佐久大学 客員教授 唐澤 剛 「身体拘束への対応」 NPO 法人メイアイヘルプユー 事務局長 鳥海 房枝 「高齢者への理解」 東京都健康長寿医療センター研究所 前副所長 高橋 龍太郎

実施日	人員・会場	内容
【前期】 R7.7.3 (3日目)	3人 ウエルとばた	「認知症の正しい知識」 NPO 法人 理事長 長島 徹 「認知症の人といかに向き合うか」 介護サービス相談・地域づくり連絡会 代表 菅原 弘子 「利用者の権利擁護」 弁護士 高村 浩 「コミュニケーション技法とトレーニング」 地域共生政策自治体連携機構 研究主幹 北村 肇
【前期】 R7.7.4 (4日目)	3人 ウエルとばた	「相談活動から記録・報告まで」 有限会社たむらソーシャルネット 代表 田村 満子 「施設訪問、自治体ヒアリングについて」 介護サービス相談・地域づくり連絡会
【後期】 R7.8.8	3人 ウエルとばた	「フィールドワーク活動報告」 活動レポートをもとに意見交換、グループ発表

8 介護サービス相談員現任研修（ウエルとばたにてオンライン参加）

実施日	人員・会場	内容
R7.6.12 (1日目)	2人 ウエルとばた	「介護保険制度最新情報」、「介護人材不足の補完とよりよいサービスのための整理・工夫・仕組み」 厚生労働省 「認知症の人の意思決定支援」 弁護士 高村 浩 「認知症の理解を深める」 医療法人 敦賀温泉病院 理事長 玉井 顯
R7.6.13 (2日目)	2人 ウエルとばた	「高齢者施設の生活の質とは」 公益社団法人Uビジョン研究所 本田 郁子 「不適切ケアを見る目を養う」 NPO 法人メイアイヘルプユー 事務局長 鳥海 房枝 「活動実施状況、意見交換 (GW)」 介護サービス相談・地域づくり連絡会 代表 菅原 弘子

9 地域密着型サービス事業所の運営推進会議への参加状況

年度	事業所数	運営推進会議参加依頼件数	運営推進会議出席件数	参加率
R3	120 カ所	0	0	0%
R4	109 カ所	16	16	100%
R5	99 カ所	98	82	84%
R6	100 カ所	123	109	89%
R7	120 カ所	147	129	88%

10 広報・啓発

内容	回数
介護サービス相談員だよりの作成及び受入事業所等への配付	1



介護サービス相談員連絡会

◇権利擁護・市民後見センター事業

1 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）では、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う「金銭管理・生活支援サービス」、大切なものをお預かりする「財産保管サービス」を実施しています。今年度の新規契約者数は50人（昨年比3人減）で、年度末の実契約者数は277人でした。

また、地域福祉権利擁護事業と成年後見制度についての理解を深め、その一体的な展開に向けて関係者がどう連携すべきかを学ぶために、権利擁護セミナーや出前講演を開催しており、今年度は市域で一般社団法人北九州成年後見センターと協働で権利擁護セミナーを開催しました。

（1）事業運営の適正化

- ① 運用委員会の開催（7回）
- ② 会計監査の実施（1回 対象者261人）
- ③ 事業監査の実施（1回 対象者243人）
- ④ 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行（全利用者）

（2）関係機関・団体等とのネットワークづくり

- ① 北九州成年後見センター理事会への参加（12回）
- ② 北九州成年後見センター業務管理委員会への参加（6回）
- ③ 北九州市成年後見支援センター受任調整会議への参加（12回）
- ④ 北九州市成年後見支援センター地域連携ネットワーク会議への参加（12回）
- ⑤ 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（3回）
- ⑥ 権利擁護セミナーの開催（（一社）北九州成年後見センターと協働で実施）

実施日	人員・会場	内容
R7.12.5	29人 (行政12人、事業所17人) ウェルとばた	①講義「成年後見制度、地域福祉権利擁護事業」 ②グループワーク

（3）職員資質向上のための事業

- ① 専門員・支援員合同研修会の開催（2回）
- ② 専門性を高めるための研修会への参加（5回）

（4）広報・啓発活動の促進

- ① 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（13回、参加者352人）
- ② らいとホームページの活用
- ③ 権利擁護セミナーの開催（1回、参加者29人）【再掲】

（5）サービス内容

- ① 相談

(ア) 内容 (件数)

相談内容	本 人	家 族 ・ 親 族	行政機関			障 害 者 支 援 団 体	介 護 事 業 所	民 生 委 員	区 社 協	施 設	医 療 機 関	ホ ー ム レ ス 支 援 団 体	そ の 他	計
			保 健 福 祉	包 括 支 援	保 護									
金銭管理	6	7	6	9	33	23	43	0	0	7	9	0	2	145
財産保全・財産侵害	0	0	0	0	3	3	1	0	0	0	1	0	0	8
相続・遺言	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉サービスへの苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日常生活の問題	2	2	0	1	2	1	1	0	0	1	0	0	0	10
福祉サービスの手続き	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
親族・家族関係	2	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	7
成年後見制度	2	9	0	0	6	2	2	0	1	1	2	0	2	27
その他(本事業の問い合わせ)	11	26	6	4	14	5	18	1	1	11	15	0	5	117
計	23	45	12	14	60	35	65	1	2	21	28	0	9	315

(イ) 対象者 (件数)

相談の対象者	本 人	家 族 ・ 親 族	行政機関			障 害 者 支 援 団 体	介 護 事 業 所	民 生 委 員	区 社 協	施 設	医 療 機 関	ホ ー ム レ ス 支 援 団 体	そ の 他	計
			保 健 福 祉	包 括 支 援	保 護									
認知症高齢者	2	29	4	9	23	3	53	0	1	11	10	0	2	147
障害者	知的	2	5	0	1	11	10	1	0	0	1	0	1	32
	精神	11	3	7	1	13	17	6	1	0	5	8	0	74
その他	3	4	2	3	4	1	2	0	0	2	5	0	4	30
計	18	41	13	14	51	31	62	1	1	18	24	0	9	283

② 調査および調整 (件数)

	認知症高齢者	障害者		その他	計
		知的	精神		
調査	349	153	340	0	842
調整	2,831	2,346	3,798	73	9,048

③ 他機関紹介 (件数)

弁護士会	司法書士会	社会福祉士会	消費生活センター	行政機関	介護支援事業者	施設	医療機関	その他	計
0	0	0	1	2	0	0	0	27	30

④ 契約締結状況

(ア) 件数

	認知症高齢者	障害者		その他	計
		知的	精神		
前年度までの契約締結件数(A)	122	112	98	10	342
財産保管	14	41	18	3	76
金銭管理・生活支援	108	71	80	7	266

今年度の契約締結件数(B)	21	14	19	0	54
財産保管	1	3	0	0	4
金銭管理・生活支援	20	11	19	0	50
今年度の契約解除件数(C)	35	7	16	0	58
財産保管	6	1	1	0	8
金銭管理・生活支援	29	6	15	0	50
今年度末の契約締結(A+B-C)	108	119	101	10	338
財産保管	9	43	17	3	72
金銭管理・生活支援	99	76	84	7	266

(イ) 契約内容別 (人数)

	金銭管理・財産保管	金銭管理のみ	財産保管のみ	計
契約締結者数	60	206	11	277

(ウ) 契約者の居住区 (人数)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
27	83	45	24	29	49	20	277

(エ) 解約理由 (件数)

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
死亡	17	1	3	0	21
市外へ転居	5	0	5	0	10
入院・入所	0	0	0	0	0
本人の意思	2	3	5	0	10
能力の喪失	0	0	0	0	0
管理の移管	5	2	2	0	9
計	29	6	15	0	50

⑤ サービスの実施状況 (件数)

	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計	
財産保管サービス	2	9	7	0	18	
金銭管理サービス	1,467	1,377	1,451	108	4,403	
生活支援サービス	定期訪問による見守り	1,420	1,364	1,401	107	4,292
	福祉サービスの利用状況の確認・情報提供	1,259	1,074	1,138	106	3,577
	福祉サービスの利用手続きに関すること	3	1	2	0	6
	諸手続きの同行・代行	6	9	12	0	27
	権利侵害等の問題を関係機関につなぐ	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	
計	4,157	3,834	4,011	321	12,323	

(6) 利用者の推移

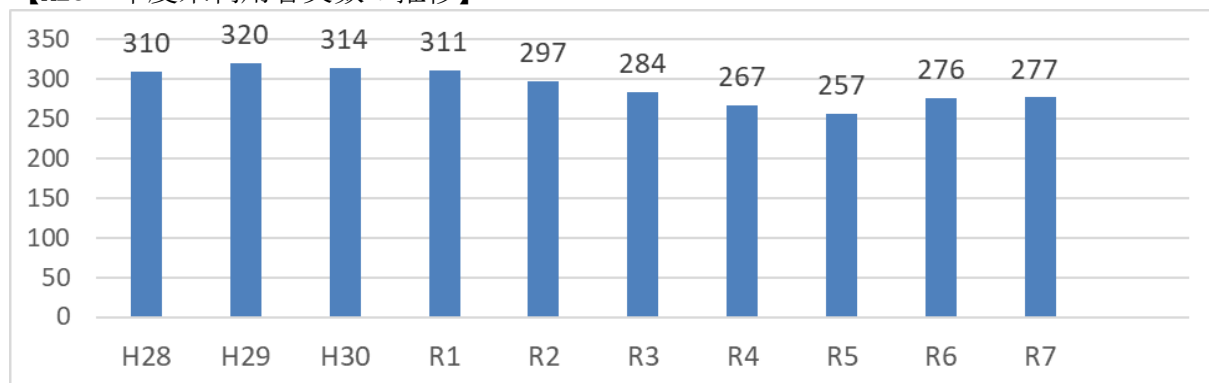
① 年度別契約成立者数の推移 (人数)

年度	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計	前年度比
R3	21	2	12	0	35	0(0%)
R4	21	9	12	1	43	8(23%増)
R5	22	9	16	0	47	4(9%増)
R6	25	12	16	0	53	6(13%増)
R7	20	12	18	0	50	▲3(6%減)

② 各年度末利用者実数の推移（人数）

年度	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計	前年度比
R3	138	75	63	8	284	▲13(5%減)
R4	119	74	66	8	267	▲17(6%減)
R5	108	71	71	7	257	▲10(4%減)
R6	108	79	82	7	276	▲19(7%増)
R7	99	86	85	7	277	1(0.3%増)

【H28～年度末利用者実数の推移】



2 法人後見事業

国の成年後見制度利用促進計画が策定され、各市区町村における権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりが進められるなか、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取組が全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

本会が平成21年度から取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、令和7年度末現在の受任件数は39件（成年被後見人24人、被保佐人12人、被補助人3人）となっています。

(1) 事業運営の適正化

- ① 運用委員会の開催（7回）【再掲】
- ② 会計監査の実施（1回 対象者37人）

(2) 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- ① 権利擁護セミナーの開催（1回）【再掲】
- ② 北九州成年後見センター理事会への参加（12回）【再掲】
- ③ 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（6回）【再掲】
- ④ 北九州市成年後見支援センター受任調整会議への参加（12回）【再掲】
- ⑤ 北九州市成年後見支援センター地域連携ネットワーク会議への参加（12回）【再掲】

⑥ 福岡県弁護士会北九州部会高齢者・障害者事例検討会への参加（3回）【再掲】

(3) 職員の資質向上のための事業

- ① 専門員・支援員合同研修会の開催（2回）【再掲】
- ② 専門性を高めるための研修会への参加（6回）

(4) 広報・啓発活動の促進

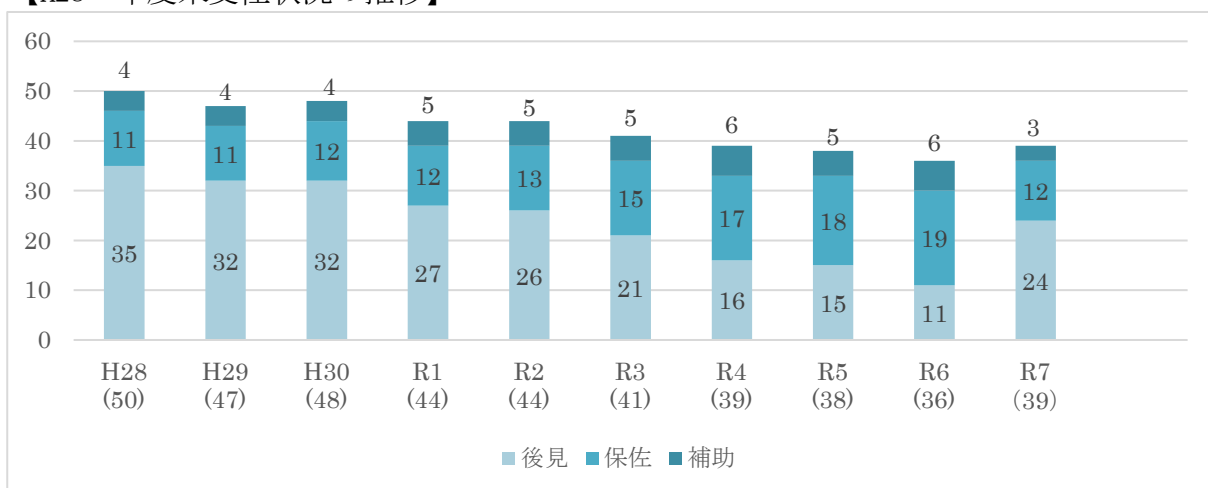
- ① 出前講演「あんしんな暮らしのお手伝い」（13回 参加者 352人）【再掲】
- ② らいとホームページの活用【再掲】
- ③ 権利擁護セミナーの開催（1回）【再掲】

(5) 法人後見事業の受任状況

- ① 年度末受任状況（39件：後見24件、保佐12件、補助3件）
- ② 新規受任状況（5件：後見5件、保佐0件、補助0件）
（市長申立：4件（在宅：1、病院：2、施設：1）、その他：1件（施設：1））
- ③ 年間活動回数（1,071回）
- ④ 年度別受任状況の推移 （単位：件）

年度	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計	前年度比
R3	16	17	8	41	▲3（7%減）
R4	16	17	6	39	▲2（5%減）
R5	15	18	5	38	▲1（3%減）
R6	11	19	6	36	▲2（5%減）
R7	12	20	7	39	3（8%増）

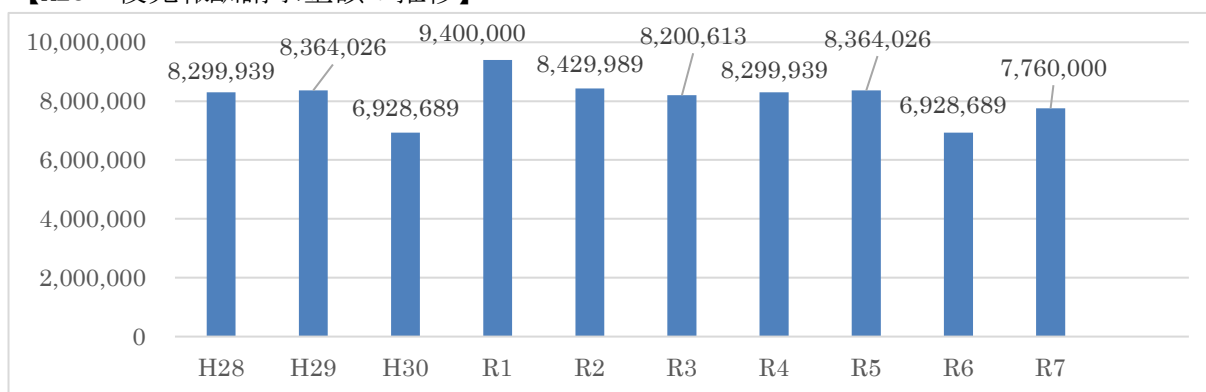
【H28～年度末受任状況の推移】



⑤ 後見報酬請求状況

年度	後見（件）	保佐（件）	補助（件）	計（件）	報酬金額(円)
R3	25	12	5	42	8,200,613
R4	22	13	4	39	8,299,939
R5	25	15	4	44	8,364,026
R6	22	13	3	38	6,928,689
R7	17	9	3	29	7,760,000

【H28～後見報酬請求金額の推移】



3 市民後見人養成・支援事業（成年後見制度利用促進計画への参画）

成年後見制度の普及に伴い後見人不足が懸念される中、地域福祉の担い手として、本人に寄り添い支援する市民後見人の育成が全国的に進められ、その活躍が期待されています。

北九州市では、平成19年度から社会貢献型市民後見人養成研修を開催し、これまでに第11期生までの155人が全課程を修了しています。

同時に、市民後見人が安心して活動できるようサポートするしくみが不可欠であることから、本会が平成21年度から取り組んできた法人後見事業で培ってきたノウハウを活かしながら、市民後見人が活躍できるサポート体制を整備してきました。

これまで、本会が法人で受任中の案件を引き継ぐリレー方式で令和元年9月に県内初となる市民後見人（令和元年11月終了）が、令和2年6月には2人目、令和5年3月には3人目の市民後見人が選任され、活動されています。

また、令和5年度からは家庭裁判所から推薦依頼のあった案件について市民後見人を選定し、本会等の関係団体との複数受任という新たな形式で2人の市民後見人が選任されました。

令和7年度は、第12期社会貢献型市民後見人養成事業基礎研修を開催した他、第1～11期養成研修の修了生を対象としたフォローアップ研修を開催しました。

また、修了生155人のうち18人は、個人で市民後見人として活動を行うことを希望しており、「北九州市市民後見人候補者名簿」へ登録される予定です。

（1）社会貢献型市民後見人養成事業

① 公開講座

実施日	人員・会場	内容
R7. 11. 2	一般市民 29 人 支援員 13 人 ウェルとばた	「市民が支える成年後見制度」 北九州市成年後見支援センター センター長 弁護士 小鉢 由美

② 第12期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業基礎研修（全5日間）

実施日	人員・会場	内容
R8. 1. 17	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 7人	① 開講挨拶・オリエンテーション 保健福祉局長寿社会対策課 課長 徳永 晶子 ② 高齢者を取りまく状況 保健福祉局長寿社会対策課 企画調整係長 廣中 崇顕 ③ 高齢者施策

実施日	人員・会場	内容
R8. 1. 17	社会貢献型市民後見人養成事業へ参加を希望するもので、選考試験に合格した者 7人 ウェルとばた	保健福祉局長寿社会対策課 在宅高齢者支援係長 江崎 潤太 ④ 介護保険制度 保健福祉局介護保険課 企画管理係長 田村 信介 ⑤ 高齢者の理解 たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生 ⑥ 認知症の理解 たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生
R8. 1. 31	7人 ウェルとばた	① 認知症のある人への対応 北九州市認知症サポーター ② 障害福祉施策 保健福祉局障害者支援課 障害福祉サービス係長 鎌谷 友子 事業者支援係長 井手 美由紀 ③ 障害のある人を取りまく状況 保健福祉局障害福祉企画課 企画調整係長 山口 浩二 ④ 発達障害のある人の理解 保健福祉局精神保健・地域移行推進課 事業調整係長 猪上 徳子 ⑤ 知的障害のある人への支援 北九州市障害者基幹相談支援センター 西村 倫代
R8. 2. 14	7人 ウェルとばた	① 民法の基礎（1） 平和通り法律事務所 弁護士 小鉢 由美 ② 消費者保護について 北九州市消費生活センター 館長 江淵 和隆 ③ 精神障害のある人の理解 (社福) 共生の里グループホーム 心の駅北九州 副主任・サービス管理責任者 小河内 翔悟 ④ 精神障害のある人への支援 (社福) 共生の里グループホーム 心の駅北九州 副主任・サービス管理責任者 南里 将悟
R8. 2. 28	7人 ウェルとばた	① 生活保護制度 保健福祉局保護課 指導係長 大河内 直美 ② 市民後見概論（1） 西南女学院大学保健福祉学部 教授 今村 浩司 ③ 後見実施機関の実務（1） (一社) 北九州成年後見センター 道上 真鈴 ④ 成年後見制度各論 清和法律事務所 弁護士 窪田 弥生 ⑤ 地域福祉・権利擁護の理念 清和法律事務所 弁護士 窪田 弥生
R8. 3. 14	7人 ウェルとばた	① 年金と医療保険 栗原社労士事務所 社会保険労務士 栗原 徳 ② 市民後見概論（2） 平和通り法律事務所 弁護士 小鉢 由美 ③ 成年後見制度概論 福岡家庭裁判所小倉支部 主任書記官 田中 浩二 ④ 後見実施機関の実務（2） 権利擁護・市民後見センター 次長 藤本 直子

③ 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業フォローアップ研修

実施日	人員・会場	内容
R8. 2. 1	北九州市市民後見人養成研修 修了者 42 人 ウェルとばた	① 「成年後見制度における意思決定支援」 ひびき法律事務所 弁護士 油布 剛 ② 「北九州市社会貢献型市民後見人候補者名簿」 登録更新説明会

(2) 市民後見人支援事業

① 市民後見人の管理

- (ア) 市民後見人名簿の作成・更新
- (イ) 市民後見人受任案件の選定 (2 件)
- (ウ) 市民後見人活動の手引きの作成

② 市民後見人の支援

- (ア) 後見監督人の受任 (1 件)
- (イ) 市民後見人の支援 (5 件)
 - 初回面談、活動の手引き等の配布、就任直後の支援
 - 家庭裁判所への報告書作成支援、賠償責任保険契約の締結
 - 相談対応 (随時)、定期的な面談

◇終活相談事業

終活に関する広報・啓発に取り組むことで終活への市民の関心を高めました。

また、実際に終活に不安を抱える人への対応として、相談を受付できる体制を整えるとともに、必要な支援につないでいくための関係者間のネットワークづくりに努めました。

1 終活相談実施状況

(1) 相談者数

年度	R3	R4	R5	R6	R7
人員	32組 (33人)	52組 (58人)	58組 (71人)	73組 (89人)	173組 (206人)

(2) 相談者の年齢・性別

年代	50歳未満	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
男性	0	2	18	33	11	64
女性	2	5	21	67	47	142
計	2	7	39	100	58	206

(3) 相談者の居住区

区	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	市外・不明	計
人員	24	34	17	21	25	44	34	7	206

(4) 対応

内容	相談終了	相談継続	再度相談を希望	弁護士紹介を希望	関係機関紹介	計
件数	197	7	0	0	5	209

(5) 相談内容 418件

内容	葬儀	納骨・墓	死後事務委任	遺言書作成	入退院時支援	不動産売却	家財処分	成年後見制度	財産管理	家族・親族関係	身元保証	相続	その他	計
R3	17	16	15	2	2	2	9	5	18	10	96			
R4	11	14	19	22	1	10	6	5	2	11	15	116		
R5	13	22	17	18	5	15	8	11	7	20	22	158		
R6	14	28	36	31	3	10	5	10	4	26	28	195		
R7	40	66	76	54	2	22	17	20	39	30	33	19	418	

2 終活あんしんセンター問合せ件数および来場者数 (R7.10.10～R8.3.31)

月	問合せ件数	来場者数
10月	94	116
11月	231	66
12月	164	

月	問合せ件数	来場者数
1月	126	91
2月	128	79
3月	162	63
計	905	415

3 終活あんしんサポート登録事業者

業種別内訳（全19社）… 葬儀（3社）、供養・墓じまい（2社）、死後事務委任（3社）、身元保証（2社）、遺品・不動産整理（5社）、相続・遺言（4社）

4 広報・啓発活動

（1）井筒屋健活・悠活・終活フェアへの参加

実施日	人員・会場	内容
R7.7.4 ～ R7.7.5	ブース来場者数83人 講演受講者数26人 小倉井筒屋 パステルホール	① 講演「私のこれからノート ～エンディングノート活用ポイント～」 ② 相談会 ブース来場者の終活に関する相談に対応

（2）終活フェア（北九州市との共催）の実施

実施日	人員・会場	内容
R8.1.28	来場者数200人 基調講演受講者数 293人 ウエルとばた	① 終活セミナー 第1部「はじめての終活講座～終活の基本～」 第2部「知っておきたい相続の基本」 第3部「林家きく麿の終活をテーマとした創作落語」 ② 相談会 終活に関するあらゆる疑問や悩みに専門家が個別対応

（3）鎌田式！健康塾（北九州市主催）への参加

実施日	人員・会場	内容
R7.9.14	ブース来場者数 18人 北九州国際会議場	① 相談会 ブース来場者の終活に関する相談に対応

（4）終活出前講演

エンディングノートの書き方講座（51回、1,255人）

5 死後事務委任契約事業に向けた体制整備

（1）終活支援に関する包括連携協定の締結

（2社）①生命保険会社 ②葬祭企業

（2）終活支援に関する業務提携契約の締結

（1社）①葬祭企業

（3）司法書士との終活あんしんセンターアドバイス業務契約の締結

◇ボランティア振興事業

1 ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティア活動支援

年齢や障害の有無等でボランティア活動への参加が制限されることなく、誰もがボランティア活動を通じて、地域や社会に参加できるようコーディネートを実施しました。市民や施設等からのボランティア相談を受け付け、ニーズをふまえたボランティアコーディネートを行っています。

ア ボランティア活動に関する相談件数

項目	ボランティア希望		ボランティア依頼		会議室・機材貸出		保険		保険請求		送迎申込		送迎相談コーディネート	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	173	94	62	426	749	487	1,817	548	62	286	145	7,381	3,323	14,185
	267		488		1,236		2,365		348		7,526		17,508	

項目	腕自慢おまかせサービス		収集・リサイクル		体験学習・養成講座		ボランティア連絡協議会業務		介護支援ボランティア		その他		計	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話	来所	電話
件数	29	183	1,111	61	75	290	193	410	95	414	952	1,102	8,786	25,867
	212		1,172		365		603		509		2,054		34,653	

イ ボランティアコーディネーション

項目	外出支援	行事支援	文化・伝承演劇等活動	施設活動	腕自慢	送迎	託児	その他	計
件数	77	33	6	34	53	4,640	1	40	4,884
人員	188	225	10	198	68	9,170	2	126	9,987

(2) ボランティア・市民活動の広報・啓発事業

市民にボランティア活動への理解を深めてもらうため、講演活動等に取り組みました。併せて、北九州市社協だよりやボランティアフェスティバルで、企業等の社会貢献をPRしました。

また、ボランティア業務担当職員間等の情報交換や課題共有のため、ボランティア業務担当者連絡会を実施しました。

ア 講演活動

実施回(うち出前講演)	人員(うち出前講演)
6(4)	236(164)

イ しごと・ボランティア合同説明会への参加

実施日	人員・会場	内容	ボランティア団体・コーディネート機
R8. 1. 27	13人 AIMビル	概ね60歳以上の方を対象としたボランティア活動などの社会参加の相談受付	5件

ウ 市社協だよりでの「企業の社会貢献活動」の紹介

発行時期	紹介企業
R7. 11	(株)岡部マイカ工業所

エ ボランティア業務担当者連絡会

実施日	人員	主要議題
R7. 7. 15	33	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項、協議事項 ・区ボランティア・市民活動センターの取組みについて ・報告
R7. 10. 7	17	
R8. 2. 19	10	

(3) ボランティア活動保険加入取扱い事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」の加入手続きと加入促進の啓発を行いました。

取扱件数			加入者数
団体加入		個人加入	
グループ数	人員	人員	
629	18,041	147	18,188

【過年度ボランティア保険加入取扱いの推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
加入者数	17,075	18,320	18,479	18,189	18,188
グループ数	537	583	616	612	629

(4) ボランティア活動による若者参加支援事業の実施

社会に踏み出したいと考えている若者に対し、ボランティア活動への参加機会を提供し、自立の一助となるよう取り組みました。

活動の種類	参加回数	延べ参加人数
シルバーひまわりサービス同乗ボランティア体験	3	5
イベント補助ボランティア	12	81
計	15	86

(5) 住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業

市民活動団体等が実施する生きがい・健康づくりの場の運営に対して、助成及び助言等の支援を行う「住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業」を実施しました。

ア 申請数及び助成団体数・額

	申請数	助成対象	非対象
校(地)区社協のサロン	283	283	0
その他のサロン	202	202	0
計	485	485	0

【過年度助成団体数の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
助成団体数	305	369	410	468	485

イ 助成額

活動区	助成団体数	当初助成額(円)	助成実績額(円)
門司区	26	544,320	544,320
小倉北区	104	2,125,620	2,089,710
小倉南区	132	3,026,580	3,015,106
若松区	47	740,250	740,250
八幡東区	40	944,240	944,240
八幡西区	92	1,656,290	1,632,000
戸畑区	44	737,730	732,060
計	485	9,775,030	9,697,686

(6) 中間支援組織連絡会への参加

参加団体：北九州市障害福祉ボランティア協会、北九州市市民活動サポートセンター、北九州市シルバー人材センター、北九州国際交流協会、八幡西生涯学習総合センター、北九州市社会福祉協議会(活動推進課) (以上6団体)

実施日	会場	内容
R7. 5. 21	コムシティ	<ul style="list-style-type: none"> 各団体の自己紹介 北九州国際交流協会事業紹介 各団体情報提供 その他
R7. 8. 27	コムシティ	<ul style="list-style-type: none"> 八幡西生涯学習センター及び市民活動サポートセンターの事業紹介 1月に開催する研修会のテーマについて 各団体情報提供 他
R7. 11. 19	ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> 公益社団法人 北九州市障害福祉ボランティア協会より 1月に開催する研修会について 各団体情報提供 他
R8. 1. 23	ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> 2月19日(木)区社協職員との情報交換会について 各団体情報提供 他
R8. 2. 19	コムシティ	市・区社会福祉協議会との情報交換会 <ul style="list-style-type: none"> 各団体からの活動紹介 グループワーク 「つながりの入口はどこにある？」～孤独・孤立に気づく “最初のサイン”を共有し、その先について考える～

2 福祉教育推進事業

施設や企業等の多様な主体と協働した福祉教育推進委員会の協力のもと、令和6年度から開始した小・中学校やウェルクラブ活動で実施する福祉教育プログラム「ふくしの出前授業」を実施しました。その他に、夏休み期間中に中・高校生を対象とした「保育所での夏ボランティア体験学習」を実施しました。

また、新たに北九州市近郊の3つの大学と協働し、高校生に福祉を身近に感じてもらうことを目的とした講座を開催しました。

(1) 福祉教育推進委員会

委員会構成団体：公益社団法人北九州高齢者福祉事業協会、北九州市障害福祉団体連絡協議会、一般社団法人先天性ミオパチーの会、北九州市教育委員会、北九州市立大学、株式会社ギラヴァンツ北九州、東戸畑地区社会福祉協議会（以上7団体）

実施日	人員・会場	内容
R7. 12. 18	5人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度「ふくしの出前授業」の実施状況について ・新たに実施した授業内容について ・事前・事後学習シートについて ・大学生から学ぶ高校生向けふくし講座「大学生からの挑戦状!!」について ・令和8年度「ふくしの出前授業」について ・令和8年度「大学生から学ぶ高校生向けふくし講座」について

(2) 「ふくしの出前授業」

ア 実施対象

実施対象	実施校(団体)数	実施メニュー数
小学校	26	67
中学校	1	1
ウェルクラブ・子ども民生委員	5	5
地域活動者(民生委員・児童委員、福祉協力員等)、地域住民	0	0
その他関係団体等	0	0
計	32	73

イ 実施プログラム・メニュー

メニュー	プログラム1:「ふくし」ってなんだろう?	件数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしについて考える ・大学生が作成した福祉教育教材(ビンゴやすごろく)で学ぶ 	13
2	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーやユニバーサルデザインについて学ぶ ・身近なユニバーサルデザインの商品に触れてみる 	13
	計	26

メニュー	プログラム2:人ごとなんかじゃない!「年を取る」ってどういうこと?	件数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉施設で働いている人のお話を聞く ・加齢による身体の変化を体験してみる 	10
2	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症について理解を深める(子ども向け認知症サポーター養成講座) 	4
3	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきと生活している高齢者のゲストティーチャーからお話を聞く ・授業をふり返って自分にできることを考える 	3
	計	17

メニュー	プログラム3:人ごとなんかじゃない!「障害がある」ってどういうこと?	件数
1	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市障害福祉団体連絡協議会による障害者による障害体験学習 	8
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ギラヴァンツ北九州によるブラインドサッカー体験 	0
3	<ul style="list-style-type: none"> ・病気や障害があっても、いきいきと生活しているゲストティーチャーからお話を聞く ・授業をふり返って自分にできることを考える 	13
	計	21

メニュー	プログラム4：寄付と募金のはなし	件数
1	・赤い羽根共同募金などの募金活動や寄付付き商品についてのお話 ・おもちゃのお金を使って寄付の体験をしてみる	2
2	・赤い羽根共同募金などの募金活動や寄付付き商品についてのお話 ・クラウドファンディングやふるさと納税を財源とした「ふくし」の活動を知る	0
計		2

メニュー	プログラム5：やってみよう！ボランティア活動	件数
1	・ボランティア活動やウェルクラブ活動についてのお話 ・ボランティア活動をしているゲストティーチャーによるお話	3
2	・福祉車両(シルバーひまわりサービス送迎車両)の見学 ・ボランティア活動をしているゲストティーチャーによるお話	0
3	・施設等でのボランティア活動体験や交流(オンライン含む)	4
計		7
総計		73

ウ 実施校

区	実施校名	実施校数 (実施メニュー数)
門司	小森江小学校、港が丘小学校、大積小学校、萩ヶ丘小学校	4 (9)
小倉北	桜ヶ丘小学校、富野小学校、清水小学校	3 (7)
小倉南	横代中学校、東朽網小学校、曾根小学校、田原小学校	4 (13)
若松	花房小学校、高須小学校、藤木小学校、若松中央小学校、 くきのうみ小学校、二島小学校	6 (12)
八幡東	皿倉小学校、高見小学校	2 (9)
八幡西	熊西小学校、香月小学校、中尾小学校、赤坂小学校、永犬丸小学校	5 (11)
戸畑	大谷小学校、天籟寺小学校、中原小学校	3 (7)
計		27 (68)

エ 実施学年

学年		実施校数
小学校	3年生	5
	4年生	42
	5年生	10
	6年生	5
中学校	1年生	0
	2年生	0
	3年生	1
計		63

(3) 保育所での夏ボランティア体験学習

実施日	人員・会場	内容
R7.7.26	ウェルとばた	事前研修会 社会福祉法人 いわき福祉会 はつねほいくえん 園長 二文字 和美
R7.7.29 ～R7.8.23	31人(21組) 市内の保育所	期間：3日間/人 受入施設：18

(4) 大学生から学ぶ“ふくし”講座「大学生からの挑戦状!!」

実施日	人員・会場	内容
R7. 11. 29	高校生 4 人 ウェルとばた	(午前) 高校生の主張! ~ふくしもESDも何なのーっ!?!~ (講師) 北九州市立大学の学生 2 人
		(午後) 福祉工学にチャレンジせよ! (講師) 九州工業大学院の学生 2 人
R7. 12. 20	高校生 4 人 西日本工業大学 小倉キャンパス	(午前) e スポーツを通じて多世代交流せよ! (講師) 西日本工業大学の学生 2 人 周望学舎研修生 2 人
		(午後) 大学進路探しの旅 進路の書 ~大学生活を知ろう~ (講師) 北九州市立大学、九州工業大学、西日本工業大学の学生 4 人

【過年度福祉体験等参加人員の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
参加人員	19	16	33	37	39
福祉施設体験	0	0	0	25	31
イベント参加等	19	16	33	12	8

3 災害ボランティアセンター設置・運営環境整備事業

災害ボランティアセンター事業では、令和7年8月豪雨による北九州市内の災害ボランティア活動を行いました。

また、災害時相互協力協定締結団体との連絡会議や災害ボランティア登録者の拡大に向けSNS等を活用した広報の強化を行いました。

(1) 令和7年8月豪雨による北九州市内の災害ボランティア活動

	若松区	八幡東区	八幡西区	計
依頼件数(うち活動件数)	11 件(10 件)	5 件(4 件)	2 件(1 件)	18 件(15 件)
延べ活動人員	217 人	20 人	52 人	289 人

(2) 災害時に備えた被災者支援の取組み

ア 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内容
R7. 6. 8	83 人 クレカ若松	「近年の自然災害の特徴・被災状況と災害時における行政の対応等について」 危機管理室 危機管理課 防災専門官 中島 典章 「災害の特徴と必要な資機材 ~地震、水害~」 「ボランティアセンターの流れと必要な資機材を準備するまで」 一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 ・グループ演習(ニーズ票を確認し必要資機材を準備する)

【過年度災害ボランティアセンター設置・運営訓練実施実績の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
回数	1	2	1	1	1
延べ参加者数	46	124	91	73	83

イ 災害ボランティア登録状況

男性	女性	無回答	計
336	158	0	494

【過年度災害ボランティア登録者数の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数	325	341	392	429	494

ウ 備える防災の日 2025

実施日	人員・会場	内容
R7. 8. 31	体験者 42 人 小倉駅 JAM 広場	・災害ボランティア活動の PR ・体験「身近なものでトイレの“困った”に備えよう」

エ ライオンズクラブとの災害時等の連携に向けた連絡会

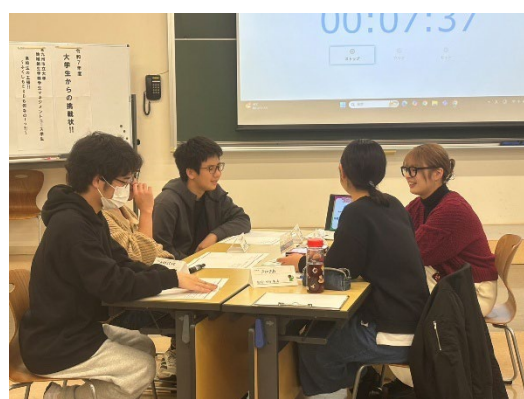
実施日	人員・会場	内容
R8. 2. 25	12 人 ウェルとばた	「社会福祉協議会と災害ボランティアについて」 意見交換 ・平時からの連携について ・災害が発生した、または発生するおそれがある場合の連携について

オ 災害時相互協力協定にかかる連絡会議

実施日	人員・会場	機関・団体	内容
R8. 3. 11	8 人 ウェルとばた (オンライン開催)	北九州市危機管理室・保健福祉局、北九州青年会議所、連合福岡・北九州地域協議会、福岡県北九州地域労働者福祉協議会、エフコープ生活協同組合、北九州青年経営者会議、ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区、福岡県社会福祉協議会	報告 ・令和 7 年 8 月豪雨による災害支援の報告について ・北九州市社協及び各団体の取組み状況 意見交換 ・今後の連携を促進するための意見交換



保育所での夏ボランティア体験学習



大学生から学ぶ“ふくし”講座
「大学生からの挑戦状!!」

◇ボランティア育成・啓発事業

1 在宅高齢者サービス事業

外出が困難な65歳以上の方を対象に、ボランティアが福祉車両を使用して通院等の外出を支援するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な家具の移動や大工仕事等の生活の中での小さな困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しました。

(1) シルバーひまわりサービス事業

公共交通機関を利用して外出することが困難な高齢者の、通院をはじめとする日常的な外出を支援し、在宅福祉の充実を図りました。

ア ボランティア登録者数

区分	登録者	一回以上活動者	未活動者	活動率(%)
労働組合員	104	40	64	38.5
行政職員	188	78	110	41.5
企業・市民	564	349	215	61.9
社協職員	125	71	54	56.8
合計	981	538	443	54.8

【過年度ボランティア登録者数の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数	878	901	939	962	981

イ 登録・利用状況

区分	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	本部	計
登録者数	56	92	135	97	64	142	87	-	673
うち新規	13	30	31	23	26	40	20	-	183
利用回数	456	689	950	697	590	595	487	178	4,642

※本部では土曜日の送迎を担当

ウ 目的別利用件数(1回の運行で複数の利用目的あり)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通院・お見舞い	237	250	263	263	214	248	250	231	230	205	214	214	2,819
福祉施設入所及び利用	2	2	1	4	4	3	5	4	4	4	1	1	35
買物・食事	166	151	143	152	127	156	156	131	144	121	111	133	1,691
理髪・入浴	8	8	8	9	7	4	9	4	6	6	4	9	82
観光・公共施設利用	68	57	45	56	60	56	56	52	61	46	63	60	680
合計	481	468	460	484	412	467	476	422	445	382	393	417	5,307

【過年度シルバーひまわりサービス事業の利用回数の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
利用件数	2,532	4,241	4,610	4,628	4,642

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

家具の移動や簡単な大工仕事など、生活上の小さな困りごとを解決することを目的に、平成7年度から本事業を実施しています。

活動内容	実施件数	活動内容	実施件数
大工(棚製作等)	6	清掃	0
窓、戸等の修繕	6	電気系統修理	4
家具の移動等	9	水道系統修理	1
包丁、鋏とぎ	1	その他	4
除草、庭木剪定	1	合計	32

2 ボランティア啓発事業（ボランティアフェスティバル 2025）

令和7年度は、「地域共生社会」の実現に向けて、「ボランティアフェスティバル 2025」を「北九州市社会福祉大会」や「ウェルとばた秋まつり」と一体的に運営し開催しました。

誰もがボランティア活動できる社会、誰も排除されない共生文化の創造に向けたつながりづくりを目指し、日頃から取り組んでいるボランティア活動の発信を行いました。

また、北九州市立大学、西日本工業大学、九州工業大学、麻生公務員専門学校北九州校の学生に講座や啓発イベントに参画してもらい、世代を超えたつながりづくりを行いました。

活動支援バザーやミニステージ、クイズ・スタンプラリー、福祉車両展示・体験コーナーを開催し、パネル展示及びスライド映像による活動紹介では、12のボランティアグループ・関係団体が出展したほか、フードドライブでは147品の食品が集まり、各講座は延べ99人の参加がありました。

(1) 実行委員会

実施日	人員・会場	内容
R7.5.28	16人 ウェルとばた (リモート併用)	・正副委員長の選任について ・本年度の企画等について ・実行委員会の取組みについて
R7.9.5	13人 ウェルとばた	・開催講座、イベント等の内容と役割分担について ・ボランティア活動紹介(パネル・スライド)について
R7.12.15	12人 ウェルとばた	・今年度のふりかえり ・次年度の開催に向けて

(2) 催事内容

実施日	人員・会場	内容
R7.10.18	971人 ウェルとばた	①大学生や団体による各種の講座（別表） ②ミニステージ ③活動支援バザー ④クイズ・スタンプラリー ⑤福祉車両展示・体験コーナー ⑥ボランティア・市民活動を紹介「パネル展示・スライド映像」 ⑦食品を集める運動「フードドライブ」 ⑧おもちゃの修理「おもちゃ病院」

別表 講座詳細

講座名	参加人員
これであなたもスマホマスター	8
3Dプリンターで福祉用具づくり体験	8
e スポーツで交流体験	10
メイクUPしてイエイ！～とっておきの1枚を“遺そう”～	20
竹トング作りワークショップ	18
折紙体験コーナー	35
計	99

【過年度の実施内容及び推移】

年度	内容	場所	参加人員
R3	ボランティアフォーラム、ボランティア週間、各種講座	戸畑	309
R4	ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	238
R5	ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	250
R6	ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	616
R7	ボランティア活動発表会、ボランティア週間、各種講座	戸畑	971

※R2年度からR6年度までは、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため開催方法を変更して実施。

◇介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成 25 年度から実施しています。

65 歳以上の北九州市民（介護保険第 1 号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州市 SDGs 未来基金に寄付することができます。受入を再開する施設の増加に伴い、活動者・活動回数も増加しました。

(1) 受入施設登録状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）

- ア 登録施設 390 施設
イ 施設の種類（併設を含む）

施設の種類	施設数	施設の種類	施設数
介護老人福祉施設	49	通所リハビリテーション	23
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	20	認知症対応型通所介護	20
介護老人保健施設	25	短期入所生活介護	43
介護医療院、介護療養型医療施設	5	看護小規模多機能型居宅介護	1
特定施設入居者生活介護	34	地域密着型通所介護	36
認知症対応型共同生活介護	81	北九州市予防給付型通所サービス	17
小規模多機能型居宅介護	31	北九州市生活支援型通所サービス	9
通所介護	164	居宅介護支援事業者	4
		計	562

(2) ボランティア登録状況（令和 8 年 3 月 31 日現在）（単位：人）

年代	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	計
男	11	30	69	69	65	244
女	68	176	318	277	172	1,011
計	79	206	387	346	237	1,255

(3) 換金・寄付申請状況（対象者：令和 7 年 12 月 1 日現在の登録ボランティア）

項目	換金	寄付 (SDGs 未来基金)	換金・寄付 (SDGs 未来基金)	計
人数	149	78	10	237
金額	531,200	175,200	換金 26,200 寄付 13,000	745,600

※ボランティア活動実施者数（1 回以上の活動者数） 323 人（令和 7 年 1 月～12 月）
ボランティア活動延べ回数 6,361 回（令和 7 年 1 月～12 月）

(4) 内容別ボランティア活動状況（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション（趣味活動）等の補助	3,500
②芸能等の披露	587
③話し相手	633

活動の種類	延べ回数
④行事の手伝い	122
⑤食事介助の補助（お茶出し・配膳・下膳等）	376
⑥掃除・衣類整理の補助	457
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	8
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	748
計	6,431

【過年度介護支援ボランティア事業の推移】

年度	R3	R4	R5	R6	R7
ボランティア登録者数	2,005	1,967	1,909	1,287	1,255
延べ活動回数	3,122	3,941	5,288	5,478	6,431
換金・寄付額	249,200	346,600	564,200	634,400	745,600

◇ボランティア・市民活動者の研修・養成事業

当事業では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、孤独・孤立防止や助け合い活動をテーマに、福祉の視点から人材の養成・育成を目指した研修を実施し、延べ465人が研修を受講しました。

委託事業から補助事業への転換に伴い大幅な研修体系の見直しを行い、市民に向けたボランティア・市民活動者の育成とボランティア・市民活動者のネットワークづくりに照準を合わせました。それに伴い「ふくしのまちづくり講座」をはじめとした地域福祉活動の人材発掘や地域住民による小地域福祉活動の充実のための研修は、区事務所や地域支援課へ移管しました。

活動体験講座（子ども食堂ボランティア活動体験、障害のある人へのボランティア活動体験）では、受講者全員が活動に携わる意欲を持ち、そのうち4割についての活動先の調整を行うことができました。

また、「ボランティア・NPO等団体つながり・勉強会」を実施し、団体間のネットワークづくりの支援と強化に努めました。

続いて、ボランティア入門講座（子どもを支援するためのボランティア、私にもできる！見えづらさや、聞こえづらさのある人へのボランティア）では、受講者の約8割が活動意欲を高めました。

1 研修体系の区別研修実施状況一覧

(1) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数	延開催日数	延参加人員	開催月
市民講演会	市民	1	1	1	42	11
福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体の運転協力を希望する者	3	2	6	102 (うちセダン型28人)	5・9～ 10・1
子どもを支援するためのボランティア入門講座	市民	1	1	1	39	6
子ども食堂ボランティア活動体験講座	市民	1	2	2	18	10
障害への理解を深め、はじめようボランティア入門講座「私にもできる！見えづらさや、聞こえづらさのある人へのボランティア講座」	市民	1	1	1	20	8
障害のある人へのボランティア活動体験講座	市民	1	2	2	16	10
「災害ボランティア」養成講座（八幡東区）	市民	1	1	1	39	6
「災害ボランティア」養成講座（八幡西区）	市民	1	1	1	33	10
計		10	—	15	309	—

※新規で行ったテーマ別ボランティア活動体験講座では、研修後のアンケートによれば、今後ボランティア活動を“やってみたい”、“今後活動を検討する”という方が受講者全員であり、そのうち実際に活動先の調整や市子ども若者育成課と連携して子ども食堂の新規立ち上げ支援も行った。(7人、11回)

(2) ボランティア・市民活動者のネットワークづくり

研修名	受講者	開催回数	開催日数	延開催日数	延参加人員	開催月
まちづくりゼミナール「空き家の活用でまちを元気に！」	校地区社協・地区民児協・まちづくり協議会役員、市民センター館長及びテーマに関心のある方	1	3	3	63	11～1
ボランティア・NPO等団体運営研修～集まろう・つながろう・学び合おう！広報・発信のチカラ～	ボランティア・NPO等団体のリーダー	1	1	1	15	8
ボランティア・NPO等団体つながり・勉強会	ボランティア・NPO等団体のリーダー	1	3	3	28	10～1
計		3	-	7	106	-

※ボランティア・NPO等団体つながり・勉強会では、各団体に共通する「広報」をテーマに開催し、新たなメンバーの獲得や団体の周知・支援につながる手法を互いに学び合い、交流を深めました。

(3) 地域を支援する社協職員の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数	延開催日数	延参加人員	開催月
地域を支援するためのスキルアップ研修 ①「福祉教育を通じて地域の福祉力を高めよう」	社協職員	1	2	2	14	8
②「災害ボランティア活動支援のスキルを高めよう」					36	1
計		1	-	2	50	-

2 広報

資料名	掲載回数(部数)	発行日
研修レポート・講座案内等 『北九州市社協だより』掲載)	9回 (WEB版掲載)	5月15日・6月15日・7月1日・ 7月15日・8月1日・9月15日・ 10月1日・12月1日・12月15日
「市民講演会」講座案内 (新聞掲載)	1回 (WEB版掲載)	10月29日～11月22日
パンフレット(ボランティア研修案内) 「やさしさの広がるまちづくり」	2回(WEB版掲載) (1,450部)	4月30日
令和6年度事業報告書	1(HP掲載)	7月1日

3 過年度の研修参加者の推移

(1) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R3	10	13	217
R4	10	13	249
R5	7	10	216
R6	7	10	196
R7	10	15	309

(2) ボランティア・市民活動者のネットワークづくり

年度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R6	-	-	-
R7	3	7	106

(3) 地域を支援する社協職員の育成

年度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R6	1	1	21
R7	1	2	50

(4) 延研修参加人員

年度	開催回数	延開催日数	延参加人員
R3	42	63	1,781
R4	39	57	1,853
R5	39	59	1,956
R6	23	36	1,263
R7	14	24	465

◇年長者研修大学校等運営事業

1 年長者研修大学校(周望学舎/S54年設立・穴生学舎/H6年設立)

年長者研修大学校は、高齢者の生きがい対策の一環として、増大かつ多様化する学習ニーズに応えるため、福祉と生涯学習の拠点として市内2カ所に設置されました。

令和7年度(第5期指定管理期間)においても、高齢者の「生きがい・健康・仲間づくり」と、研修生及び修了生が主体的に地域・ボランティア活動を担ってもらえるよう、健康や福祉などの幅広い講座や事業を実施しました。

(1) 年間コースについて

周望学舎に17コース、穴生学舎に15コースの、全32コースを開講し、定員1,020名に対し、市内在住60歳以上の979名の研修生が入学しました。

年間コースは、各学舎で1日あたり3~4コースを開講し、1コースあたり1日2講座(午前10:00~12:00、午後13:00~15:00)を実施しています。

周望学舎は年間37回、穴生学舎においては、空調更新工事のため4~5月の休館や空調不調により研修生の安全に配慮し7月から9月中旬まで登校ができなかったため、研修回数を28回に変更し各種講座や行事を実施し、地域活動者の育成を図りました。

① 入学者の状況

学舎	入学者数(人)			年齢等		
	男性	女性	計	最高齢者	最年少者	平均年齢
周望学舎	201	304	505	93歳(女性)	60歳(女性)	77.0歳
穴生学舎	184	290	474	90歳(男性)	60歳(女性)	74.4歳
計	385	594	979			

② 応募状況(申込期間における次年度入学希望者)の推移

年度(入学年度)	R3(R4)		R4(R5)		R5(R6)		R6(R7)		R7(R8)		
学舎	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	
新人(人)	男性	23	22	23	23	26	31	31	35	24	26
	女性	35	40	60	36	53	60	45	62	73	46
	計	58	62	91	59	79	91	76	97	97	72
経験者(人)	男性	157	139	142	134	144	142	171	161	183	167
	女性	252	191	215	188	234	215	270	244	273	266
	計	409	330	357	322	378	357	441	405	456	433
計(人)	467	392	457	381	457	448	517	502	553	505	
定員(人)	546	504	536	516	536	514	546	474	546	504	
応募倍率(倍)	0.86	0.78	0.82	0.74	0.85	0.87	0.95	1.06	1.01	1.00	

③ 年間コース入学者数及び修了者数

周望学舎 (人)				穴生学舎 (人)			
コース名	定員	入学者	修了者	コース名	定員	入学者	修了者
ふるさとの文化	40	40	39	健康スポーツ	42	42	40
ヨガと脳トレエクササイズ	30	30	30	パソコン入門	24	24	22
写真入門	22	13	11	音楽アクティビティ	24	24	23
生活情報	40	33	29	健康づくりサポーター	48	48	47
体力増進	40	40	40	実用パソコン(★)	24	24	24
花と野菜づくり	24	23	22	世界遺産	24	24	24
健幸ミュージックアドバンス(★)	26	26	25	ヨガとストレッチ	42	42	38
地域ふれあい	32	13	13	地域リーダー	18	18	18
健康づくりサポーター	40	40	35	絵画入門	30	30	26
健幸ミュージック	30	30	29	健康管理	42	42	41
写真応用(★)	22	22	21	北九州観光ナビ(★)	30	30	30
暮らしと環境	32	32	30	グローバル	24	24	19
健康管理	40	40	38	心と身体の健康	42	42	39
デジタルライフ(★)	24	24	23	シニアライフデザイン	30	30	30
歴史に学ぶ	40	40	39	食紀行(★)	30	30	29
心と身体の健康	40	40	37				
書道入門	24	19	17				
計	546	505	478	計	474	474	450
修了率	94.7%			修了率	94.9%		

※(★)は、新設コース。また、退学の理由は、就職、入院、転居等による。

(2) 研修生等(利用者)の推移

年度		R3		R4		R5		R6		R7	
学舎		周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生	周望	穴生
年間 コース	コース数	15	15	15	15	15	15	15	15	17	15
	研修生数	10,807	8,209	15,820	12,710	14,839	12,653	14,040	13,757	16,204	10,973
研究 クラブ	団体数	4	7	4	7	5	7	4	7	1	5
	利用者数	977	1,403	1,228	1,644	1,729	1,727	1,675	1,778	366	827
同好会	団体数	5	0	6	0	5	0	5	0	5	0
	利用者数	1,076	0	1,606	0	1,369	0	1,322	0	1,247	0

(3) 研修等実施状況 (施設利用状況)

① 周望学舎

コース名等		在籍及び 申込者数	利用者数(延べ)			研修及び 活動回数
			男	女	計	
年間 コース	ふるさとの文化	39	527	786	1,313	37
	ヨガと脳トレエクササイズ	30	338	674	1,012	37
	写真入門	11	214	140	354	37
	生活情報	29	367	658	1,025	37
	体力増進	40	700	618	1,318	37
	花と野菜づくり	22	325	482	807	37
	健幸ミュージックアドバンス	25	272	596	868	37
	地域ふれあい	13	196	236	432	37
	健康づくりサポーター	35	337	889	1,226	37
	健幸ミュージック	29	286	697	983	37

	写真応用	21	488	212	700	37	
	暮らしと環境	30	373	664	1,037	37	
	健康管理	38	470	842	1,312	37	
	デジタルライフ	23	413	362	775	37	
	歴史に学ぶ	39	629	628	1,257	37	
	心と身体の健康	37	346	908	1,254	37	
	書道入門	17	199	332	531	37	
	小 計	478	6,480	9,724	16,204	629	
	式典（入学式・修了式）	—	331	484	815	2	
	（年間コース）合 計	478	6,811	10,208	17,019	631	
短期講座	パソコン	6月：スマホ入門	24	35	36	71	3
		8月：パソコン入門&Word 基礎	6	0	33	33	6
		10月：スマホでSNS	11	18	15	33	3
		1月：ワードで作品作り	9	19	34	53	6
	カレンシア	7月：シニアサマーカレッジ（西南女学院）	49	132	211	343	8
		9月：シニアカレッジ（東筑紫学園）	28	51	153	204	8
	その他	7月：年長者と孫のつどい	24	10	14	24	1
		1月：一日体験講座①	12	9	3	12	1
		2月：一日体験講座②	15	2	13	15	1
	小 計	178	276	512	788	37	
クラブ研究	書道研究クラブ	21	199	167	366	21	
	小 計	21	199	167	366	21	
同好会	卓球同好会	16	67	92	159	19	
	風船バレー同好会	20	149	173	322	21	
	社交ダンス同好会	10	56	95	151	18	
	バドミントン同好会	18	129	120	249	18	
	ユニカール同好会	21	125	241	366	19	
	小 計	85	526	721	1,247	95	
ボランティアグループ	登録ボランティア	園芸ボランティア	21	176	256	432	40
		周望学舎健康ボランティア会	43	178	192	370	34
		パソコンボランティア	6	75	30	105	38
		周望学舎花の会	25	212	173	385	52
		グリーンボランティア	11	86	75	161	21
	小 計	106	727	726	1,453	185	
	シルバーバンク	—	707	1,094	1,801	382	
	同窓会（夢工房運営含）	—	490	414	904	217	
	その他（研修生による活動等）	—	238	348	586	59	
	小 計	106	2,162	2,582	4,744	843	
その他	委員会・諸会議	—	312	255	567	20	
	実習生受入	—	2	1	3	2	
	視察・見学受入	—	0	3	3	2	
	ボランティア受入	—	0	0	0	0	
	穴生学舎交流講座	—	0	0	0	0	
	大学祭等一般来場者	—	75	73	148	8	
	その他	—	25	31	56	10	
	小 計	—	414	363	777	42	
合 計		868	10,388	14,553	24,941	1,669	

② 穴生学舎

コース名等		在籍及び 申込者数	利用者数(延べ)			研級び 活動回数	
			男	女	計		
年間 コース	健康スポーツ	42	506	511	1,017	28	
	パソコン入門	24	161	362	523	28	
	健康づくりサポーター	48	417	716	1,133	28	
	実用パソコン	24	388	202	590	28	
	世界遺産	24	267	298	565	28	
	ヨガとストレッチ	42	401	507	908	28	
	地域リーダー	18	185	256	441	28	
	健康管理	42	329	699	1,028	28	
	北九州観光ナビ	30	367	380	747	28	
	心と身体の健康	42	297	680	977	28	
	シニアライフデザイン	30	294	423	717	28	
	食紀行	30	235	457	692	28	
	音楽アクティビティ	24	203	361	564	28	
	絵画入門	24	247	396	643	28	
	グローバル	24	126	302	428	28	
	小計	474	4,423	6,550	10,973	420	
	式典(入学式・修了式)	—	164	222	386	2	
	バスハイク(5月)	—	99	176	275	5	
	自由研究(7月～9月)	—	520	605	1,125	54	
	(式典等)小計	—	783	1,003	1,786	61	
(年間コース)合計	—	5,206	7,553	12,759	481		
短期 講座	その他	8月:シニアと孫の集い	32	14	18	32	1
		9月:公開講座	54	21	33	54	1
		1月:一日体験講座	10	2	8	10	1
	小計	96	37	59	96	3	
研究 クラブ	書道	書藝	4	—	—	104	29
	写真	友写会	7	—	—	134	15
	絵画	ひばり	10	—	—	203	20
		のどか	14	—	—	176	20
	英会話	Enjoy English	6	—	—	210	48
小計	46	—	—	827	132		
ボ ン テ ィ ン ギ ョ ウ	研修生(修了生)の活動	—	—	—	891	66	
	登録団体(15団体)の活動	—	—	—	2,597	453	
	小計	—	—	—	3,488	519	
地 域 開 放 事 業	図書室の開館	—	—	—	1,287	115	
	ロビーコンサート	—	—	—	889	8	
	ロビー朗読会	—	—	—	87	8	
	ロビー展示会	—	—	—	—	130	
	みんなの保健室(スポ大、大学祭含)	—	37	63	100	9	
	おしごと相談会	—	9	13	22	4	
	スマホ教室	—	14	20	34	3	
	行政書士相談会	—	—	—	49	5	
	その他の会議室利用等(自治会等)	—	—	—	1,967	81	
	ロビー飲食販売(作業所等)※大学祭除く	—	—	—	—	173	
	小計	—	—	—	4,435	536	

その他	委員会・諸会議	—	278	158	436	21
	見学週間	—	39	51	90	10
	実習生受入	—	0	2	2	2
	周望学舎交流講座	—	6	7	13	1
	その他(大学祭準備・大学祭当日)	—	—	—	9,270	5
	小計	—	—	—	9,811	39
合計		—	—	—	31,416	1,710

(4) 合同入学式・修了式

行事名	実施日・会場等	周望学舎	穴生学舎	計
入学式	4月18日(金) 北九州芸術劇場	424人	246人	670人
修了式	3月18日(水) 北九州芸術劇場	391人	140人	531人

(5) 三大大行事

行事名	周望学舎	穴生学舎
スポーツ大会	日程：6月26日(木) 会場：総合体育館 参加者数：450人	日程：10月31日(金) 会場：穴生ドーム 参加者数：504人(ボラ、一般含)
大学祭	日程：10月11日(土)～12日(日) 会場：周望学舎 延べ来場者数：1,024人 内容：学習成果発表、作品展示、演芸大会、ニュースポーツ大会、出店等	日程：3月6日(金)～7日(土) 会場：穴生学舎 延べ一般来場者数：9,554人 テーマ：「輝け!!シニア 学び、喜び、ときめきを」 内容：学習成果ステージ発表等
修学旅行	日程：11月26日(水)～12月5日(金) 行先：佐賀県・熊本県 参加者数：274人(3便、1泊2日)	日程：12月3日(水)～12日(金) 行先：山口県 参加者数：207人(3便、1泊2日)

(6) 修了記念作品展等

行事名	周望学舎	穴生学舎
修了記念作品展	日程：1月28日～2月3日 会場：北九州芸術劇場市民ギャラリー 延べ来場者数：250人 内容：実技コース(書道・写真・健康フェジック)の作品展(79点)、募集PR	日程：3月6日～7日 (大学祭と併催) 会場：穴生学舎 内容：全15コースの学習成果パネル・作品展示(絵画・パソコン)、募集PR
学習成果発表	日程：1月13日～2月13日 会場：周望学舎中央スロープ 内容：全17コースの学習成果パネル	
修了記念誌	修了記念アルバム「香梅」 517冊発行	修了記念誌「薫風」 510冊発行

(7) 年間コースにおける地域・ボランティア活動の実践

学舎	実施回数	人員	内容
周望学舎	109回	272人	通年で研修生が当番制で、通学路上での交通安全指導と子どもの見守り活動
	36回	499人	地域清掃活動・福祉施設訪問
穴生学舎	30回	802人	全15コースで年2回実施(研究クラブ等も参加)学舎・ドーム内及び周辺地域の清掃活動

(8) 研修生による会議

会議名	周望学舎	穴生学舎
コース委員長会議、三大大事実行委員会、新聞編集委員会等	20回、567人	15回、329人

(9) 大学等との連携

事業名	周望学舎	穴生学舎
シニアカレッジ (大学活用型 郊外授業)	7月25日～9月19日、西南女学院大学 「発見の夏・西南の夏」、参加者数：49人(延べ343人)	—
	9月3日～10月22日、東筑紫学園 「元気にシニアライフを愉しもう！2025」 参加者数：28人(延べ204人)	
年間コース 大学との連携 講座	コース：健康管理、体力増進、健康づくりサポーター、 心と身体の健康 実施回数：8回 参加者数：266人 内容：学生との交流、小倉まち歩き、アダプテッドスポーツ 協力：北九州市立大学、九州栄養福祉大学、 九州歯科大学、九州共立大学	コース：健康スポーツ 実施回数：2回 参加者数：75人 内容：アダプテッドスポーツ 協力：北九州市立大学
年間コース 実習生受入 (相談援助実習)	コース：地域ふれあい、生活情報 実施回数：2回 受入人数：3人(北九州市立大学、久留米大学、西南女 学院大学)	コース：地域リーダー 実施回数：2回 受入人数：2人(北九州市 立大学、福岡県立大学)

(10) 広報・啓発の強化

項目	周望学舎	穴生学舎
学舎新聞(A4版8p)	1月発行(2,000部)	—
かわら版(A4版4p)	9月発行(1,500部)	—
学舎案内(研修生用)	4月(600部)	4月(600部)
入学案内(①パンフ②ポスター)	12月(①6,000部 ②120部)	12月(①15,000部 ②400部)
北九州市政だより掲載	11回(募集、事業周知)	10回(募集、事業周知)
市・区社協だより等広報紙掲載	3回(募集案内)	4回(募集、事業周知)
見学週間(オープンキャンパス)	1月13日～2月13日	1月15日～31日
ホームページ	通年(事業周知等)	

(11) その他の取組

項目	周望学舎	穴生学舎
消防訓練等	① 9月29日(職員、研修生108人) ② 12月(全17コース431人) シェイクアウト訓練 ③ 3月26日(職員15人)	①10月20日(職員、研修生90人) ②3月19日(職員20人) 消火器取扱訓練
利用者アンケート (北九州市主催)	研修生を対象に施設利用アンケート調査を実施 実施期間：1月～3月 回収数：周望306人、穴生358人	
修了生アンケート (前々年度 (R5)修了生追 跡調査)	学舎修了後の「地域活動やボランティア活動についてのアンケート」 実施期間：6月上旬～6月30日 調査方法：記述式、WEB式 対象者数：R5年度修了生774人(周望401人、穴生373人) 回収数(回収率)：周望233人(58.1%)、穴生235人(63.0%)	
研修アンケート	全17コース	—

2 地域活動情報支援センター

地域活動情報支援センターは、高齢者の社会貢献意欲を高めるため、各種講座の開催をはじめ、研修生等にボランティアや地域活動へつなぐための情報提供等を行うことを目的に、平成 21 年度に穴生学舎に設置されました。

ボランティアコーディネーターを 1 名配置し、市社協活動推進課や区事務所、いきがい活動ステーション等と連携し、高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援するための需給調整等を行いました。

また、周望学舎では、職員がコーディネーターを兼務して、学舎で学んだ成果を地域社会で活かせるよう、研究クラブや同好会、ボランティアグループ等の自主活動を支援することにより社会における役割意識の高揚に努めました。

(1) ボランティア活動等の状況

項目	コーディネート件数	活動回数	計
周望学舎	24 件	1,086 回	4,707 人
穴生学舎	27 件	1,026 回	5,312 人
計	51 件	2,112 回	10,019 人

(2) 穴生学舎

① 穴生学舎ボランティアグループ連絡協議会の活動支援

穴生学舎ボランティアグループ連絡協議会は、穴生学舎修了生等により結成されたボランティアグループ間の相互連携と活性化を目的に発足され、ボランティア活動を通じた高齢者の社会参加や生きがいづくりの促進を行いました。

(ア) ボランティアグループ登録状況

年度	R3	R4	R5	R6	R7
グループ数 (団体)	16	15	15	14	15
会員数 (人)	250	246	232	187	184

(イ) 活動状況

行事名	実施回数	内容
定例会、臨時会議等	4 回	活動調整、情報交換、相互交流 等
ふれあい交流会	1 回	9 月 10 日 (水)、穴生学舎大会議室、参加者数 63 人 「近年の特殊詐欺の実情及びその対策について」 八幡西警察署 生活安全課

(ウ) 表彰制度の活用

表彰種別	被表彰団体
福岡県社会福祉協議会会長表彰	N. C. V (穴生学舎) 花ボラ・園芸クラブ (穴生学舎)

(エ) 活動助成金申請の支援

助成種別	助成団体名	助成金額
芳賀文化財団	おりづる(穴生学舎) 草笛の会(穴生学舎)	各 100,000 円
福岡県社協 地域ボランティア活動支援のための助成事業	N. C. V (穴生学舎)	300,000 円

(3) 周望学舎

周望学舎修了生の組織として、開校翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーバンク」と平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーバンク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代交流など多彩なボランティア活動を続けています。

また、周望学舎修了生により結成されたボランティアグループが、年間コース講座補助や周望学舎の環境整備等の活動を行っています。

① シルバーバンクの概要

項目	主な活動状況
サークル数	15 サークル
会員数	預託会員：72人、賛助会員：182人、会員合計254人
活動回数・活動人員	活動回数：679回、活動人員：延べ2,420人
活動内容	学舎、施設、小学校等での各種ボランティア活動、収集活動
年間コースでの出前講座	周望学舎17コース
広報活動	会報紙「シルバーバンクだより」の発行（1回、800部）

② 周望学舎同窓会会員数の推移

年度	R3	R4	R5	R6	R7
会員数（人）	644	485	372	419	429

③ ボランティアグループ登録状況

年度	R3	R4	R5	R6	R7
グループ数（団体）	5	5	5	5	5
会員数（人）	105	112	97	111	106

3 穴生ドーム

ドーム指導員による研修生に対する体育授業をはじめ、テニス教室やグラウンドゴルフ大会など、高齢者をはじめとした一般市民を対象に、健康増進や生活習慣病予防に資する事業を実施しました。

令和7年7月から9月まで照明更新工事を行ったため、例年に比べ開館日数が減少しましたが、利用者数は前年度より10,000人程度増加し100,000人を超えました。

(1) 穴生ドーム利用状況 開館日数：266日

区分		利用人員（人）	1日平均（人）	比率（%）
個人利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	468	2	0.5
	テニス	15,525	58	15.2
	ニュースポーツ	157	1	0.2
専用利用	ゲートボール	348	1	0.3
	グラウンドゴルフ	3,492	13	3.4
	テニス	23,553	88	23.0
	ニュースポーツ	2,161	8	2.1
	その他	6,111	23	6.0
周望・穴生学舎体育授業（通年）		881	3	0.9
会議室・観覧席・その他の利用		25,629	96	25.0

区分	利用人員 (人)	1日平均 (人)	比率 (%)
自主事業	4,767	18	4.7
屋外コート	182	1	0.2
ウォーキング	10,099	38	9.9
イベント (大学祭)	8,800	33	8.6
計	102,173	383	100

(2) 年間利用者数の推移

年度	R3	R4	R5	R6	R7
年間利用者数 (人)	10,436	3,752	25,471	92,234	102,173

※R5は11月13日～3月31日、R7は4～6月・10月～3月

(3) 種目別利用者人員

項目	年間利用人員	1日平均 (人)	比率 (%)
ゲートボール	348	1	0.3
グラウンドゴルフ	3,960	15	3.9
テニス	39,078	146	38.2
ニュースポーツ	2,318	9	2.3
イベント (大学祭: 2日間)	8,800	33	8.7
屋外・体育授業・その他 (通年)	47,669	179	46.6
計	102,173	383	100

(4) 種目別利用者数の推移

項目	R3	R4	R5	R6	R7
ゲートボール	68	0	182	395	348
グラウンドゴルフ	184	0	1,932	4,302	3,960
テニス	1,398	690	12,738	34,003	39,078
ニュースポーツ	111	0	1,122	3,334	2,318
イベント (大学祭)	7,153	0	7,400	9,819	8,800
屋外・体育授業・その他 (通年)	1,522	3,062	2,007	40,381	47,669
計	10,436	3,752	25,471	92,234	102,173

※R4は、ワクチン接種会場で休館。R5は、11月13日から開館。R7は4～6月・10月～3月

(5) 中学校職場体験の受け入れ

実施日	人員・会場	内容
R8.2.4～ R8.2.6 (3日間)	5人 (延べ7人) 穴生ドーム	折尾中学校1年生の職場体験実習として、穴生ドームの利用者対応や年間コース研修生への体育授業を体験してもらった。

(6) 広報・啓発の強化

項目	内容
北九州市政だより掲載	6回 (利用案内、事業周知)
ホームページ	通年 (事業周知等)

(7) その他の取組

実施月	人員	内容
R8.1.20～R8.3.10	300人	穴生ドーム利用者アンケート調査(北九州市主催)

◇高齢者の健康づくり事業

高齢期を迎える市民を対象に、ニュースポーツ等を通じた生活習慣病の予防と運動の習慣化を目的として、健康寿命の延伸と介護予防につながる事業を行いました。

1 出張！ニュースポーツ教室

(1) 実施状況

実施日	回数	人員	内容
R7. 7. 3～ R7. 8. 29	21	399 人	体育指導員が 10 名以上の市内の地域団体等に出前講演方式により、ニュースポーツの指導を行い、普及・啓発を図る。

(2) 参加者数の推移

年度	R3	R4	R5	R6	R7
参加者数 (人)	186	459	370	275	399

2 ドームフェスタ

実施日	人員・会場	内容
R7. 11. 29	延べ 4,140 人 穴生ドーム	ニュースポーツ体験、チャレンジコーナー等

3 穴生ドーム 親子でソフトバレーボール教室 (新規)

実施日	人員	内容
R7. 5. 10～R7. 5. 31 (全 4 回)	10 組 延べ 56 人	小中学生とその保護者を対象にソフトバレーボールを通じた健康づくりと交流を図る。

4 穴生ドーム杯グラウンド・ゴルフ交歓大会

実施日	人員	内容
R7. 10. 17	252 人	参加者の親睦・交流およびグラウンドゴルフの普及を図る。

5 健康ウォーキング事業

実施日	人員	内容
R7. 4. 1～R8. 3. 31	10,099 人	穴生ドーム 2 階及び外周をウォーキングスペースとして無料開放

6 穴生ドームテニス教室

実施日	人員	内容	講師
R8. 1. 7～R8. 2. 4 (全 5 回)	33 人 延べ 157 人	市内在住・在勤 18 歳以上の初心者向け教室	リンクスポーツ株式会社

7 ニュースポーツ用具の貸出

実施日	貸出件数	内容
R7. 4. 1～R8. 3. 31	91 件	地域団体等へのニュースポーツ用具等の無料貸出

◇門司区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 4. 22	1人 門司区役所	・運営委員会について
R8. 1. 19	3人 門司区役所	・運営委員会について ・校区社協会長、担当者会議について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 5. 26	27人 門司区役所 大会議室	・令和6年度事業報告について ・令和6年度収支決算について ・正副会長の選任
R8. 2. 12	26人 門司生涯学習センター	・令和8年度事業計画について ・令和8年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R8. 2. 19	38人 門司生涯学習センター	・ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動助成金 ・令和7年度活動報告及び令和8年度助成金申請について ・住民主体による生きがい・健康づくりの場（サロン）推進事業について ・歳末たすけあい募金袋について ・各種案内 ・校区社協交流会

(4) 区社協だよりの発行 年2回 35,500部/回 年間71,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
30	278,000	201	216,000	231	494,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	1	20,000
篤志寄付金	9	334,558
計	10	354,558

(7) 無料又は低額診療券発行 新規6件（継続分は掖済会病院にて対応）

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 606枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
門司区老人クラブ連合会	180,000
門司区婦人会連絡協議会	65,000
門司区ボランティア連絡協議会	40,000
門司区民生委員児童委員協議会	98,000
門司区子ども会連合会	21,000
門司区青少年育成協議会連合会	50,000
門司警察署少年補導員連絡会	36,000
計 (7 団体)	490,000

(3) 校区社協活動費助成

校区数	助成金額
21 校区社会福祉協議会	762,000

(4) 火災被害世帯への見舞品等の支給 2 件

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
合同 (新任・現任)	R7. 4. 26	40 人 萩ヶ丘 市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会（社協）と地域福祉 ・ふれあいネットワーク活動とは ・自分らしく生きられる地域づくり
合同 (新任・現任)	R7. 6. 30	15 人 松ヶ江北 市民センター	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会（社協）と地域福祉 ・ふれあいネットワーク活動とは ・動画視聴（「探梅 春、遠からじ」） ・個人情報の取扱い
合同 (新任・現任)	R7. 7. 23	19 人 門司区役所 別館	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいネットワーク活動とは ・個人情報の取扱い ・動画視聴（「探梅 春、遠からじ」） ・校区社協活動についての情報交換会

4 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・総会、役員会（書面開催）
- ・門司港レトロ地区他の清掃活動 2 回

(2) フードドライブの実施

- ・受付 39 件
- ・フードドライブレポートの発行 6 回
- ・認定 NPO 法人フードバンク北九州
ライフアゲイン及びいのちをつなぐ
ネットワークコーナーへ寄贈



◇小倉北区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R7.6.11	35人 小倉北区役所	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度事業報告について 令和6年度決算報告について 賛助会員の加入・会費納入のお願い
R8.2.17	31人 男女共同 参画センター ムーブ	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市地域福祉活動第7次計画(2026~2030)素案—計画概要—について 令和8年度事業計画について 令和8年度収支予算について

(2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7.6.30	40人 男女共同 参画センター ムーブ ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議 と合同開催	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度校(地)区社会福祉協議会活動助成事業について 小地域福祉活動計画の策定について 校(地)区社協活動状況自己点検シートについて ふれあいネットワーク活動30周年記念動画について オリジナルポロシャツ等の販売について 研修・事業等について 情報提供、その他
R8.2.12	43人 男女共同 参画センター ムーブ ※ふれあいネットワーク 実務担当者会議 と合同開催	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動助成金にかかる令和7年度実績報告及び令和8年度申請について 住民主体による生きがい・健康づくりの場(サロン)推進事業について 校(地)区社協活動状況自己点検シートについて 校(地)区社協活動を充実させるための取組 情報提供、その他

(3) 区社協だよりの発行 年4回 70,000部/回 年間280,000部発行

(4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
36	550,000	180	510,000	216	1,060,000

(5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	2	60,000
篤志寄付金	34	5,073,916
計	36	5,133,916

(6) 無料又は低額診療券発行 0件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 1,500 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
小倉北区身体障害者福祉協会	250,000
小倉北区子ども会育成協議会	200,000
小倉北区青少年育成会協議会	90,000
小倉北警察署少年補導員連絡会	40,000
北九州市母子寡婦福祉会小倉北地区	120,000
小倉北区民生委員児童委員協議会	340,000
小倉南北区遺族連合会	40,000
小さな親切運動北九州市本部	40,000
小倉北保護区保護司会	65,000
小倉北区子どもまつり実行委員会	180,000
小倉北区 25 校(地)区自治連合会	236,410
計 (35 団体)	1,601,410

(3) 地域たすけあい見舞金配分事業

団体名	助成金額
小倉北区 25 校(地)区自治連合会	177,270
計 (25 団体)	177,270

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
現任	R7. 11. 18	55 人 男女共同参画 センター ムーブ	「わたしたち福祉協力員 ～ひとりじゃないと感じられるまちへ～」

4 収益事業

内容	金額
自動販売機設置 (2 台)	50,162

5 その他事業

(1) 小倉北区子どもまつり協賛事業

実施日	人員・会場	内容
R7. 4. 20	来場者 5,000 人 北九州メッセ	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験コーナー(手話・点字・車いす等) 遊びのコーナー、かき氷販売



共同募金配分金事業
ランドセルカバー贈呈



小倉北区子どもまつり参画

◇小倉南区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 準備委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 6. 6	19人 小倉南生涯 学習センター	<ul style="list-style-type: none"> 次期運営委員会の正副会長候補者の選任について 次期校(地)区社協の地区代表者の選任について 各種委員の選任に関する申し合わせについて

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 6. 13	27人 小倉南生涯 学習センター	<ul style="list-style-type: none"> 第4期運営委員会の委員の委嘱について 第4期運営委員会の正副会長等の選任について 令和6年度事業報告について 令和6年度収支決算について 令和7年度事業計画について 令和7年度収支予算について
R8. 3. 27	書面審議	<ul style="list-style-type: none"> 助成金の支給額の改定について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 10. 22	21人 小倉南生涯 学習センター	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度以降のふれあいネットワーク活動助成金について 『ふくしのまちづくり講座』の実施校(地)区について 『福祉協力員研修(新任・現任)』について 『地域福祉活動専門研修』の実施について 『まちづくりゼミナール』の開催について 『まつりみなみチャリティービアガーデン』の収支概要について 『チャリティーゴルフ大会』に関するアンケート調査について 赤い羽根共同募金について 校(地)区社会福祉協議会活動にかかる個人情報の取り扱いについて
R8. 2. 19	19人 小倉南生涯 学習センター	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいネットワーク活動推進事業の報告・申請について 住民主体による生きがい健康づくりの場(サロン)推進事業について 令和8年度ランドセルカバーの贈呈について ボランティア活動保険の加入受付について 賛助会費の普及活動に係る事務費交付について 令和8年度の主な年間行事等について

(4) 区社協だよりの発行

年4回 57,500部/回 年間230,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
15	285,000	21	98,000	36	383,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	1	10,000
篤志寄付金	17	667,893
物品	0	0
計	18	677,893

(7) 年長者・障害者作品展

開催期間	会場	出展数	出展者数
R7. 9. 30～R7. 10. 3	小倉南生涯学習 センター 2階展示コーナー	297 作品	6 団体 15 施設

(8) 無料又は低額診療券発行 0 件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 1,971 枚

(2) 障害児(者)ふれあいバスハイク 当面、実施見合わせ

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
小倉南区子どもまつり	200,000
まつりみなみ	100,000
社会を明るくする運動協賛費	50,000
年長者福祉大会	30,000
小倉南保護区保護司会	20,000
北九州市保育所連盟小倉南支部	20,000
小倉南区老人クラブ連合会	20,000
計 (4 事業、3 団体)	440,000

(4) 災害見舞金事業

内容	件数	金額
災害被災世帯への見舞金	2	15,000

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R7. 5. 16	47 人 横代 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 5. 20	9 人 東朽網 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 5. 22	15 人 長行 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R7. 5. 24	21人 朽網 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「ボクとガク」の鑑賞と解説
新任	R7. 5. 27	12人 沼 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 6. 7	10人 守恒 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 6. 13	15人 東谷 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 6. 18	10人 両谷 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
現任	R7. 6. 27	24人 曾根東 市民センター	・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 6. 28	13人 長尾 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 6. 28	17人 高蔵 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 6. 28	34人 貫 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
合同 (新任・現任)	R7. 7. 18	10人 葛原 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・葛原校区小地域福祉活動計画について ・人権啓発映画「新ちゃんがないた!」の鑑賞と解説
新任	R7. 7. 19	14人 湯川 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 8. 16	15人 両谷 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説
新任	R7. 10. 6	26人 北方 市民センター	・社会福祉協議会とふれあいネットワーク活動について ・地域支援コーディネーターの役割について ・人権啓発映画「探梅 春、遠からじ」の鑑賞と解説

(2) ふくしのまちづくり講座

実施日	人員・会場	内容
R7. 7. 18	70人 東谷 市民センター	「災害への備え ～あなたの意識をアップデートしまし ようながら防災のススメ～」 北九州市立大学 地域共生教育センター 副センター長 地域創生学群 准教授 村江 史年

4 収益事業

実施日	事業内容	会場等	金額
R7. 6. 22	小倉南区ボランティアフェスタ (赤い羽根共同募金箱設置)	小倉南生涯学習 センター	20, 596
R7. 8. 30	「まつりみなみ 2025」 チャリティービアガーデン	志井公園内	330, 431
(通年)	飲料自動販売機設置(1台)	葛原保育園	44, 246



小倉南区年長者・障害児(者)作品展



共同募金配分金事業
新入学児童へのランドセルカバー贈呈



まつりみなみ2025チャリティービアガーデン

◇若松区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R7.5.26	23人 若松区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業報告書について ・令和6年度収支決算書について ≪準備委員会≫ <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会次期役員を選任について
R8.3.2	23人 若松区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市地域福祉活動第7次計画（2026～2030）素案—計画概要—について ・令和8年度事業計画について ・令和8年度収支予算について

(2) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7.6.11	28人 若松区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員の募集について ・令和7年度ふれあいネットワーク事業等の助成金申請額について ・若松区社協公式LINEについて ・オリジナルポロシャツ等の販売について ・研修・事業等について ・情報提供、その他
R8.2.13	24人 若松区役所	<ul style="list-style-type: none"> ・8/9からの大雨による災害ボランティア活動の報告 ・賛助会員の普及に係る事務費交付について ・ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動助成金にかかる実績報告及び申請について ・住民主体による生きがい・健康づくりの場（サロン）推進事業について ・校(地)区社協活動状況自己点検シート作成について ・ボランティア活動保険加入受付について ・ランドセルカバー贈呈事業について ・情報提供、その他

(3) 区社協だよりの発行

年3回 23,500部/回 年間70,500部発行

(4) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
8	121,000	55	319,000	63	440,000

(5) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	2	130,000
篤志寄付金	12	4,136,471
計	14	4,266,471

(6) 年長者・障害者作品展

開催期間	会場	出展数	来場者数
R7. 11. 12～R7. 11. 16	若松市民会館	303	681

(7) 無料又は低額診療券発行 1件

(8) 年長者いこいの家への運営助成金 16カ所 (各 10,000 円)

(9) 災害見舞金事業

区分	件数	金額
災害被災世帯への見舞金	7	23,000

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 710 枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
母子寡婦福祉会	50,000
公民館連合会	50,000
ボランティア連絡協議会	30,000
市民防災会連合会	50,000
警察署少年補導員	25,000
社会を明るくする運動	50,000
青少年育成協議会	50,000
計(7 団体)	305,000

(3) 歳末見舞金配布事業

生活困窮世帯への助成 3 世帯 (各 5,000 円)

3 収益事業

内容	金額
競艇場自動販売機設置 (5 台)	1,388,683

4 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R7. 6. 30	27 人 若松区役所	・地域福祉活動について ・超高齢社会体験ゲーム 「コミュニティコーピング」
現任	R8. 1. 19	94 人 クレカ若松	・個人情報適切な取り扱い ・福祉協力員と民生委員・児童委員の連携について

5 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・各種会議の開催 (代表者会 7 回、総会)
- ・研修会の開催

- ・久留米市ボランティア連絡協議会との交流
- ・「福祉とボランティアの集い」の開催
- ・ボランティアフェスティバルでの活動パネル展示、ミニまるしえ出店

(2) フードドライブの実施

- ・実施時期 通年
- ・寄付先 若松区役所のちをつなぐネットワークコーナー



福祉とボランティアの集い



若松区年長者・障害者作品展

◇八幡東区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 5. 20	6人 八幡東区社会福祉センター	・令和6年度事業報告・決算について
R8. 2. 19	5人 八幡東区社会福祉センター	・令和8年度事業計画・予算について

(2) 運営委員会 ※5月開催は準備委員会も兼ねる

実施日	人員・会場	内容
R7. 5. 27	15人 八幡東区社会福祉センター	・令和6年度事業報告・決算について
R7. 6. 23	17人 書面審議	・八幡東区社会福祉協議会運営委員会会長・副会長の選任について
R8. 2. 26	14人 八幡東区社会福祉センター	・令和8年度事業計画・予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 7. 16	33人 八幡東区社会福祉センター	・令和7年度実施事業について ・令和6年度八幡東区社会福祉協議会事業報告について等
R8. 2. 13	33人 八幡東区社会福祉センター	・令和8年度ふれあいネットワーク活動及び地域共生社会実現のための活動助成金申請について ・令和8年度八幡東区社会福祉協議会事業計画について等

(4) 区社協だよりの発行

年4回 22,000部/回 年間88,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
24	300,000	6	16,000	30	316,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	3	150,000
篤志寄付金	14	1,062,983
計	17	1,212,983

(7) 無料又は低額診療券発行 4件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 452枚

(2) 年長者作品展

開催期間	会場	出品者数	来場者数
R7.9.8～R7.9.12	八幡東区社会福祉センター	304	373

(3) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡保護区保護司会	100,000
八幡東区老人クラブ連合会	90,000
八幡東区民生委員児童委員協議会	50,000
母子寡婦福祉会八幡東地区	50,000
八幡東子ども会連絡協議会	100,000
八幡東区青少年育成会協議会	100,000
「小さな親切」運動八幡東区支部	30,000
八幡東防犯協会連合会	50,000
八幡東区子どもまつり実行委員会	50,000
皿倉山健康ウォーク実行委員会	100,000
市民センター (11館)	545,271
八幡東区ボランティア連絡協議会	40,000
IOV 国際交流折り紙ボランティア	8,800
みずかみかずよ顕彰会	45,000
ファビュラス北九州	45,000
枝光北まちづくり協議会	50,000
計 (26 団体)	1,454,071

(4) 女性応援事業「ひるまの星」

実施日	人員・会場	内容
毎月 第3月曜日	延べ175人 八幡東区社会福祉センター	ひきこもり・生きづらさを感じている女性の居場所サロンを12回開催
R7.7.22	16人 八幡東区社会福祉センター	「健康講座」 北九州八幡東病院 理学療法士 河野 義則 作業療法士 岩佐 泰世 戸畑リハビリテーション病院 理学療法士 志田 啓太郎
R8.1.19	21人 八幡東区社会福祉センター	「わからないけど、わかろうとしたい私が今、伝えたいこと歌いたい歌」 上野 正

(5) 男性のためのふれあい料理教室

実施日	人員・会場	内容
R8. 1. 24	17人 高見 市民センター	料理を通じて、男性の地域活動のきっかけとする講座を食生活改善推進員協議会、槻田第二地区社協と共同で実施

3 研修事業

(1) 福祉協力員等研修

区分	実施日	人員・会場	内容
合同 (新任・現任)	R7. 6. 30	16人 八幡東区社会 福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉協議会の活動、ふれあいネットワークについて」 ・「いのちをつなぐネットワーク・地域包括支援センターについて」
合同 (新任・現任)	R7. 12. 11	19人 八幡東区社会 福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「気づく力を高めよう～地域が『丸ごと』つながり互いに助け合う地域共生社会を目指して～」 <p style="text-align: right;">九州大谷短期大学 教授 中村 秀一</p>

4 収益事業

内容	金額	備考
健康増進機器設置	485,500	延べ利用者 6,020人
自動販売機設置	55,423	1台

5 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・定例会の開催 10回、イベント参加 3回、主催事業の実施支援 3回

(2) ボランティアまつりの開催

実施日	人員・会場	内容
R7. 8. 1 ～ R7. 8. 2	延べ 1,113人 (内、協力ボランティア 71人) 八幡東区社会 福祉センター	<p>「第 20 回八幡東区ボランティアまつり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物保護活動を行う NPO の協力のもと、講座とアニマルセラピーを実施 ・環境学習サポーターや手話、点訳など様々なボランティアグループがブースを設置し、イベントを実施

(3) ボランティア団体、企業等との連携事業

実施日	人員・会場	内容
R7. 4. 27	4,100人 (内、協力ボランティア 21人) 八幡中央区商店街	「第 76 回八幡東区子どもまつり」への参画 (わなげ・読み聞かせ・バザー)
R7. 8. 7	29人 (内、児童 8人) 大蔵市民センター	大蔵ウェルクラブでの福祉教育 ① 車いす体験 ② 高齢者疑似体験 ③ 認知症に付いて (読み聞かせ)
R7. 11. 11	29人 八幡東区社会 福祉センター	健康増進講座「座ってできる脳トレ体操」 フィットネスインストラクター 白石 由美

実施日	人員・会場	内容
R7. 12. 16	100人 (内、協力ボランティア19人) 八幡東区社会福祉センター	「クリスマスプチマルシェ」事業 *ボランティア団体による賑わいづくり
R8. 3. 3	100人 (内、協力ボランティア17人) 八幡東区社会福祉センター	「おひなマルシェ」事業 *ボランティア団体による賑わいづくり



八幡東区ボランティアまつり
「アニマルセラピー」



腕自慢おまかせサービス

◇八幡西区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 5. 22	4人 八幡西区役所	・令和6年度事業報告について ・令和6年度収支決算について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 5. 29	13人 八幡西区役所	・令和6年度事業報告について ・令和6年度収支決算について
R8. 3. 4	14人 八幡西区役所	・令和8年度事業計画について ・令和8年度収支予算について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 4. 22	36人 八幡西区役所	・令和7年度八幡西区事務所事務分掌について ・令和7年度北九州市社会福祉協議会会長表彰について 他
R7. 6. 23	33人 八幡西区役所	・令和7年度FNW助成金決定及び交付について ・ココロ・ツナグ作品展について 他
R7. 9. 29	34人 八幡西区役所	・賛助会員及び赤い羽根共同募金への協力について ・小地域福祉活動計画策定状況について 他
R8. 1. 19	35人 八幡西区役所	・令和7年度報告及び令和8年度申請について ・校(地)区社協活動状況自己点検シートについて 他

(4) 区社協だよりの発行

年4回 68,500部/回 年間 274,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
100	1,030,000	1,362	1,501,000	1,462	2,531,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	28	334,500
篤志寄付金	22	1,421,203
計	50	1,755,703

(7) 年長者・障害(児)者作品展 (ココロ・ツナグ・作品展)

開催期間	会場	出展数	来場者数
R7. 9. 8～R7. 9. 13	北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー	222	995
R7. 9. 15～R7. 9. 30	イオンタウン黒崎 タウンホール	30 (受賞作品)	—

(8) 無料又は低額診療券発行 0件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 1,822枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
八幡西区シニアクラブ連合会	70,000
八幡西区青少年育成会協議会	12,500
八幡西地区学校警察連絡協議会	25,000
八幡西子ども会育成連絡協議会	170,000
北九州市母子寡婦福祉会八幡西地区	50,000
八幡西区愛の献血推進協議会	10,000
北九州市八幡西区遺族連合会	18,000
八幡保護区保護司会	100,000
八幡西区子どもまつり実行委員会	110,000
計(9団体)	565,500

3 収益事業

内容	金額
オリジナルポロシャツ・ジャンパーの販売	13,100

4 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R7.6.24	43人 八幡西生涯 学習センター	「社会福祉活動の活動とふれあいネットワーク活動」
			「福祉協力員としての心がまえ」 折尾西校区社協 福祉協力員(民生委員) 山地 朋子 永濱 智恵子
現任	R7.11.10	40人 八幡西生涯 学習センター	「あなたといると安心する ～認知症があっても地域で安心して暮らせるには～」 認知症デイサービス ふらっとハウス 代表 勅使河原 航

(2) ふくしのまちづくり講座

実施日	人員・会場	内容
R8.3.30	43人 上津役 市民センター	「地域社会における実践活動を通して見えてきたこと」 「ふくしのまちづくり計画を策定する意味とは」 北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 森 京花

5 その他事業

(1) ボランティア連絡協議会への支援

- ・総会の開催 1回
- ・役員会の開催 1回

- ・定例会の開催 10回
- ・ボランティア講座 2回
- ・バス研修 1回



ふれあいネットワーク活動「見守り活動」
 福祉協力員が「お元気ですか？」チラシを持参して訪問



年長者・障害（児）者作品展



年長者・障害（児）者作品展 表彰式



八幡西区社協オリジナルポロシャツ・ジャンパーの販売

◇戸畑区事務所運営事業

1 区事務所運営事業

(1) 正副会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 5. 26	9人 戸畑区役所	・第1回戸畑区社協運営委員会の議案について ・次期運営委員会に係る準備委員会の議案について
R8. 2. 4	10人 戸畑区役所	・第2回戸畑区社協運営委員会の議案について

(2) 運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 6. 12	22人 戸畑区役所	・参与・副参与の委嘱について ・運営委員会委員の交代による新委員の委嘱について ・令和6年度事業報告について ・令和6年度収支決算について
R8. 2. 12	24人 戸畑区役所	・令和8年度事業計画(案)について ・令和8年度収支予算(案)について

(3) 校(地)区社協会長会議

実施日	人員・会場	内容
R7. 4. 17	25人 戸畑区役所	・新任校(地)区社協会長紹介 ・行政職員・戸畑区事務所職員紹介 ・令和7年度区社協の体制変更について ・令和7年度ウェルクラブ活動について(活動保険のご案内) ・令和6年度小地域福祉活動計画策定報告 ・令和7年度賛助会員加入のお願いについて 他
R7. 6. 19	15人 戸畑区役所	・校(地)区社協の活動報告 ・小地域福祉活動計画の推進について ・新任福祉協力員等研修について ・令和7年度北九州市社会福祉大会のご案内 他
R7. 9. 11	17人 戸畑区役所	・実習生の紹介・活動発表 ・赤い羽根共同募金 街頭募金の協力について ・赤い羽根共同募金 物品購入について ・地域歳末事業助成金申請書等の提出について ・令和7年度北九州市社会福祉大会のご案内 他
R7. 11. 27	28人 戸畑区役所	・ひまわり送迎サービス料金改定等について ・自己点検シートの作成について ・現任福祉協力員研修のご案内 ・各校(地)区社協活動について(テーマ:サロン) 他
R8. 2. 19	28人 戸畑区役所	・令和8年度新規事業について ・ふれあいネットワーク活動助成金 令和7年度報告書兼令和8年度申請書の提出について ・住民主体による生きがい・健康づくりの場推進事業(サロン)について ・令和8年度ボランティア活動保険等について 他

(4) 区社協だよりの発行

年2回 18,000部/回 年間 36,000部発行

(5) 賛助会員加入状況

法人・団体会員		個人会員		計	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	70,000	168	177,000	175	247,000

(6) 寄付金受領状況

区分	件数	金額
香典返し寄付金	1	30,000
篤志寄付金	10	92,216
計	11	122,216

(7) 無料又は低額診療券発行 1件

2 共同募金配分金事業

(1) 新入学児童へのランドセルカバー贈呈 411枚

(2) 福祉団体等助成

団体名	助成金額
戸畑区老人クラブ連合会	54,000
戸畑区子ども会連合会	64,000
戸畑区社会を明るくする運動推進委員会	50,000
戸畑区青少年育成会協議会	21,000
北九州市母子寡婦福祉会戸畑地区	57,000
戸畑区民生委員児童委員協議会	90,000
戸畑保護区保護司会	21,000
年長者いこいの家運営委員会(14団体)	140,000
計(21団体)	497,000

(3) 校(地)区社協活動助成金

校(地)区数	助成金額
14校(地)区	695,000

3 研修事業

(1) 福祉協力員研修

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R7.4.22	21人 大谷 市民センター	・社協の成り立ち ・福祉協力員とは ・ふれあいネットワーク活動について
新任	R7.4.26	21人 沢見 市民センター	・社協の成り立ち ・福祉協力員とは ・ふれあいネットワーク活動について
新任	R7.5.14	29人 牧山東 市民センター	・社協の成り立ち ・福祉協力員とは ・ふれあいネットワーク活動について

区分	実施日	人員・会場	内容
新任	R7. 10. 29	17人 浅生 市民センター	・社協の成り立ち ・福祉協力員とは ・ふれあいネットワーク活動について
現任	R8. 1. 19	37人 戸畑区役所	・小地域福祉活動計画の意義と関係団体との協働について

(2) ふくしのまちづくり講座

実施日	人員・会場	内容
R7. 9. 12	26人 天籟寺 市民センター	・「モノとココロの整理 ～人生を豊かにする断捨離®」 ・「天籟寺地区社協について」
R8. 1. 16	19人 天籟寺 市民センター	・「睡眠と栄養でカラダのバランスを整えよう」 ・「自分らしくよりよく生きるために ～人とのつながりづくり・ボランティアのすすめ～」

4 収益事業

内容	金額
駐車場賃借料	993, 197
自動販売機設置 (2台)	13, 186

5 その他事業

(1) 区事務所運営事業

- ・とばた菖蒲まつり 2025 福祉バザー出展

(2) ボランティア連絡協議会への支援

- ・定例役員会の開催 6回 参加者 38人
- ・総会 参加者 32人



ふくしのまちづくり講座



とばた菖蒲まつり 2025 福祉バザー

◇常設委員会

1 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内容
R5. 7. 28	4人 ウエルとばた	1 被表彰候補者の審査・答申について

2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会

・申請0件のため開催なし

3 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 12. 2	9人 ウエルとばた	1 令和6年度事業報告について 2 令和8年度事業計画(案)について

4 総合企画委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 8. 1	11人 ウエルとばた	1 正副委員長の選任について 2 地域福祉活動計画の概要及び総合企画委員会の取組みについて 3 第六次計画の点検・評価について 4 第7次計画の位置づけについて 5 第7次計画策定に向けた地域福祉の現状と課題について
R7. 9. 29	13人 (学生ゲスト 1人含む) ウエルとばた	1 令和7年度第1回総合企画委員会の振返りについて 2 第7次計画の基本計画(体系図)について 3 第7次計画の評価方法について 4 第7次計画に関する委員への意見聴取について
R7. 12. 22	11人 ウエルとばた	1 第7次計画に関する委員への意見聴取の結果について 2 第7次計画素案について 3 今後の策定の進め方について
R8. 2. 17	11人 ウエルとばた	1 パブリックコメント及び理事・評議員等からの意見について 2 北九州市地域福祉活動第7次計画最終案について 3 今後の配布計画について 4 北九州市社会福祉協議会令和8年度の事業計画(案)について

5 権利擁護・市民後見センター運用委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 4. 16	7人 オンライン	・正副委員長の選任について ・令和6年度事業監査について ・令和6年度事業実施状況について ・令和7年度会計監査について(会計監査員選出)
R7. 7. 2	7人 オンライン	・法人後見事業 受任検討 ・第2回井筒屋健活・悠活・終活フェアへの参加について
R7. 7. 16	7人 オンライン	・法人後見事業 受任検討 ・令和7年度会計監査について(実施報告) ・「令和7年度市民後見人を目指す人のための公開講座」について
R7. 10. 15	8人 オンライン	・法人後見事業 受任検討 ・令和7年度上半期の事業実施状況について ・法人後見事業 受任案件進捗状況について

実施日	人員・会場	内容
R7. 10. 15	8人 オンライン	・終活あんしんセンターについて
R7. 11. 19	8人 オンライン	・法人後見事業 受任検討 ・「令和7年度市民後見人を目指す人のための公開講座」アンケート結果について
R8. 2. 4	7人 オンライン	・法人後見事業 受任検討 ・運用委員会の文書審議の導入について ・第12期北九州市社会貢献型市民後見人養成事業【基礎研修】について ・北九州市社会貢献型市民後見人養成研修修了者フォローアップ研修について
R8. 2. 18	6人 オンライン	・法人後見事業 受任検討 ・運用委員会の文書審議の導入について ・令和8年度事業計画について ・令和8年度運用委員会について
計7回	法人後見受任審査人数 7人 (内訳) ・認知症高齢者 2人 (後見2人、保佐0人、補助0人) ・知的障害者 1人 (後見1人、保佐0人、補助0人) ・精神障害者 4人 (後見4人、保佐0人、補助0人)	

6 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内容
R7. 8. 29	8人 穴生学舎	・第4期指定管理における運営状況について (令和6年度事業報告及び収支決算) ・第5期指定管理における運営状況について (令和7年度事業の進捗状況) ・穴生学舎及び北九州穴生ドーム改修工事について



社会福祉法人北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8F
TEL(093)882-4401 FAX(093)882-3579

LINE



市社協 HP



Instagram



YouTube

